

重層的支援体制整備事業のための福祉事業等  
意向調査及び第3次鳩山町地域福祉推進プラン  
策定のためのアンケート調査  
調査結果報告書(概要版)

令和5年2月

鳩山町・鳩山町社会福祉協議会



## 目 次

I 調査の概要.....	1
II 調査結果.....	2
1. あなたご自身について.....	2
2. 隣近所との関わりについて .....	7
3. 日常生活の課題について.....	11
4. 重層的支援体制整備事業について.....	14
5. 災害時のことについて .....	23
6. 地域活動・ボランティア活動について.....	27
7. 福祉サービスについて.....	35
8. 住民による見守り活動について.....	53
9. 現在の生活状況等について.....	56
10. 自由記述.....	59
資料 調査票.....	68



## I 調査の概要

### I 調査の概要

#### 1)目的

本調査は、困りごとがある場合にすべての人が気軽に相談でき、複合化・複雑化した相談を受け止める重層的支援体制の充実と「第3次鳩山町地域福祉推進プラン」を策定するため、町民の福祉に対する意識などの実態把握と計画策定の基礎資料として活用するためにアンケート調査を実施しました。

#### 2)調査の対象及び調査方法

対象者	調査方法	調査期間
鳩山町内に住所を有する 18 歳以上の町民 1,000 人を無作為で抽出	郵送による配布、回収及び WEB アンケート	令和4年11月14日 ～11月30日

#### 3)回収率等

対象者	対象者数	有効回収数	有効回収率
町民調査	1,000 人	302 通	30.2%

#### 4)報告書の見方

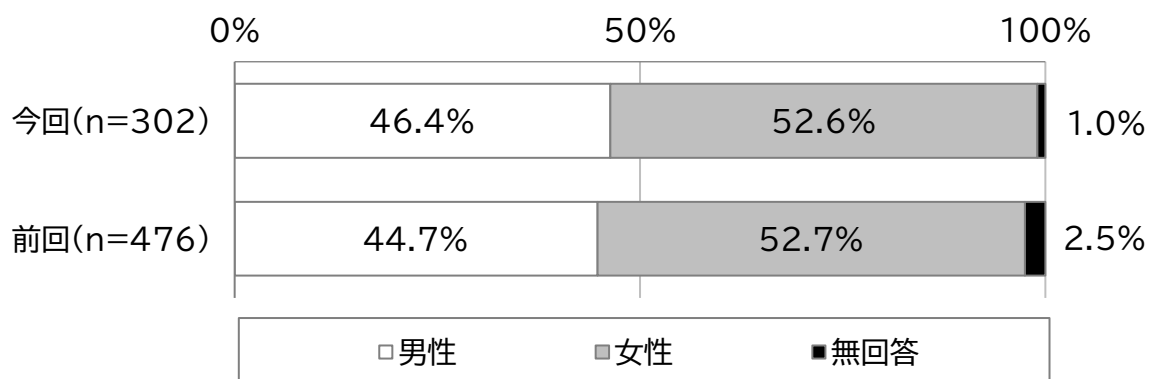
- ①単数回答の設問における各選択肢の回答割合（構成比）は、非該当者を除いた回答者数「n」（当該設問での該当者数）を基数とした百分率（%）で示しています。  
各数値は、小数点以下第二位を四捨五入して算出しているため、構成比の合計は 100% にならないことがあります。
- ②複数回答の設問における各選択肢の回答割合（比率）は、非該当者を除いた回答者数「n」（当該設問での該当者数）を基数とした百分率（%）で示しています。したがって、比率の合計値は 100%にならない場合もあります。
- ③図や表、本文では、選択肢の一部や数値の一部を省略している場合があります。
- ④記述式回答および「その他」に記述されていた文章については、誤字等の軽微な修正にとどめ、内容面の修正は加えていません。

## II 調査結果

### 1. あなたご自身について

#### 問1 あなたの性別はどちらですか。(どちらかに○)

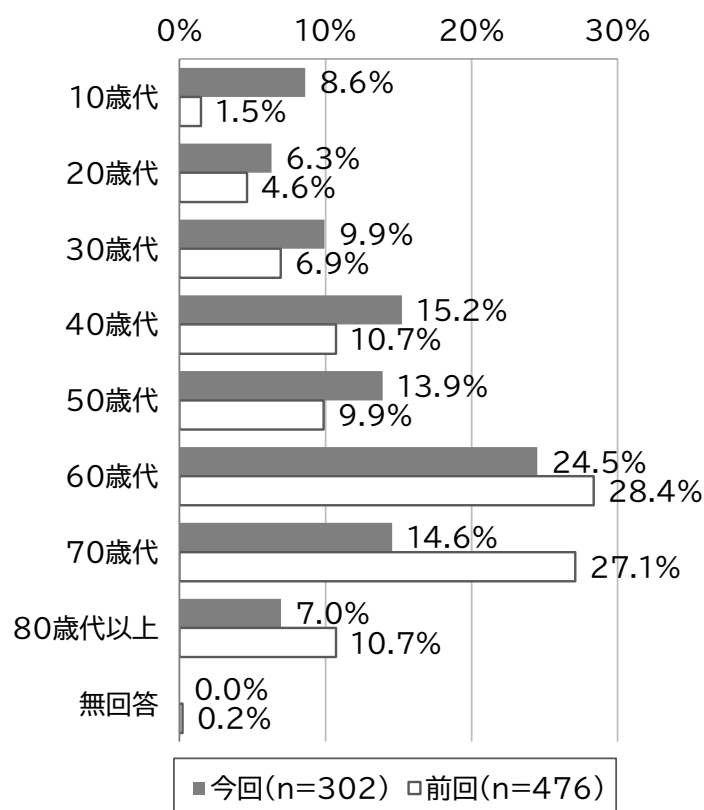
性別については、「男性」が46.4%、「女性」が52.6%となっています。  
前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっています。



#### 問2 あなたの年代はどれですか。(ひとつだけ○)

年代については、「60歳代」が24.5%で最も多く、ついで「40歳代」が15.2%、「70歳代」が14.6%となっています。

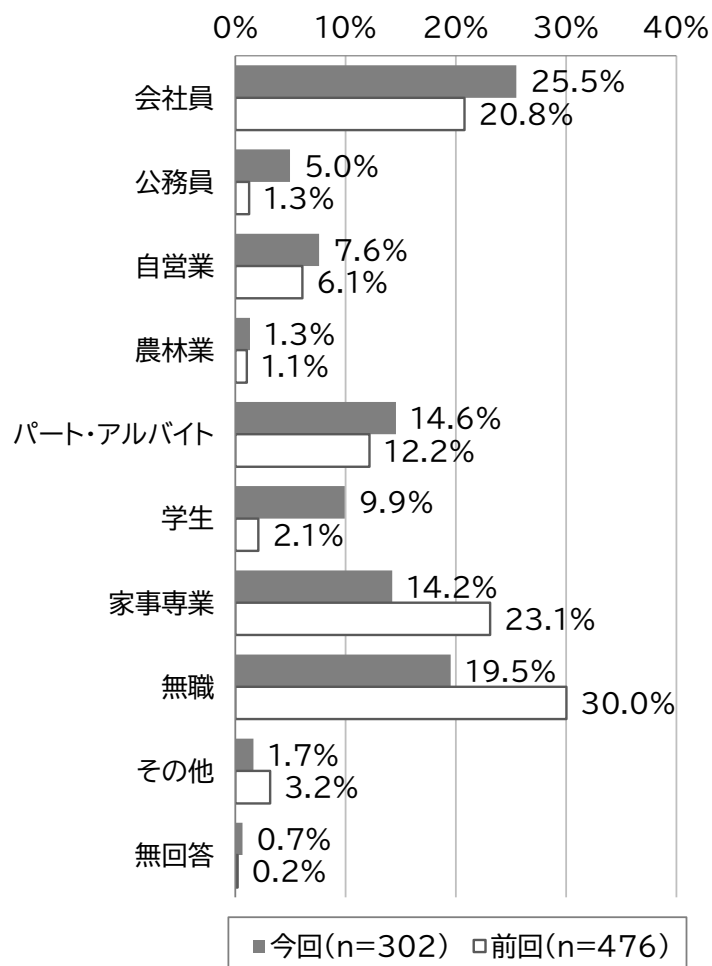
前回調査と比較すると、「70歳代」が前回より12.5ポイント少なく、「10歳代」が前回より7.1ポイント多くなっています。



### 問3 あなたの主な職業は何ですか。(ひとつだけ○)

主な職業については、「会社員」が 25.5%で最も多く、ついで「無職」が 19.5%、「パート・アルバイト」が 14.6%となっています。

前回調査と比較すると、「無職」が 10.5 ポイント前回より少なくなっています。



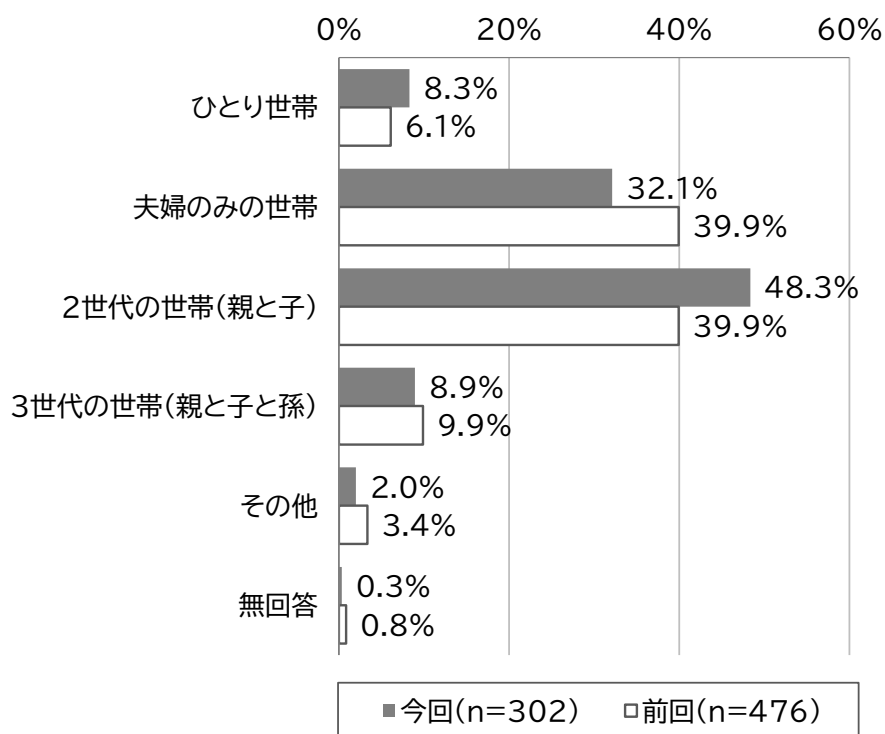
#### 【問3 その他の記述】

- 医療関係
- 畑の草取りの手伝い
- 団体職員

**問4 あなたの家族構成はどのようになっていますか。(ひとつだけ○)**

家族構成については、「2世代の世帯（親と子）」が 48.3%で最も多く、ついで「夫婦のみの世帯」が 32.1%となっています。

前回調査と比較すると、「2世代の世帯（親と子）」が前回より 8.4ポイント多くなっています。



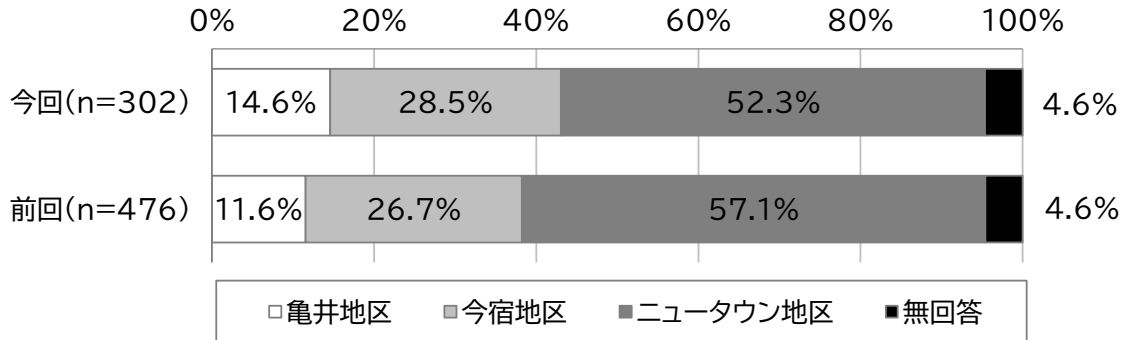
**【問4 その他の記述】**

- 親と子
- 四人家族 ×2
- 親、兄弟、祖父母



**問5 あなたは、現在どの地域にお住まいですか。**

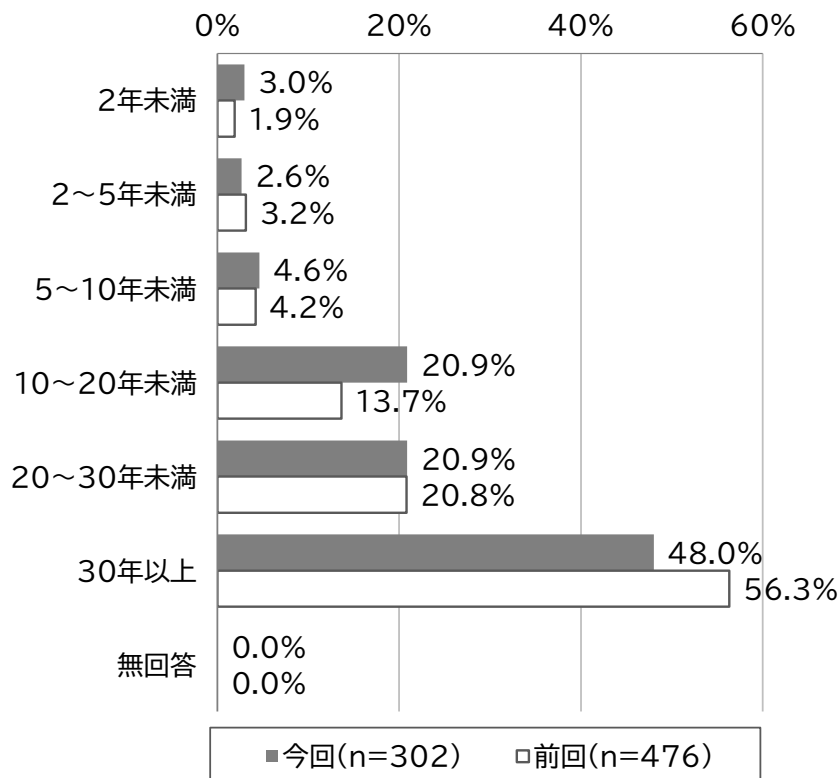
住まいの地域については、「ニュータウン地区」が52.3%、「今宿地区」が28.5%、「亀井地区」が14.6%とになります。



**問6 あなたは、鳩山町に何年住んでいますか。(ひとつだけ○)**

鳩山町の居住年数については、「30年以上」が48.0%で最も多く、ついで「10～20年未満」「20～30年未満」がそれぞれ20.9%となっています。

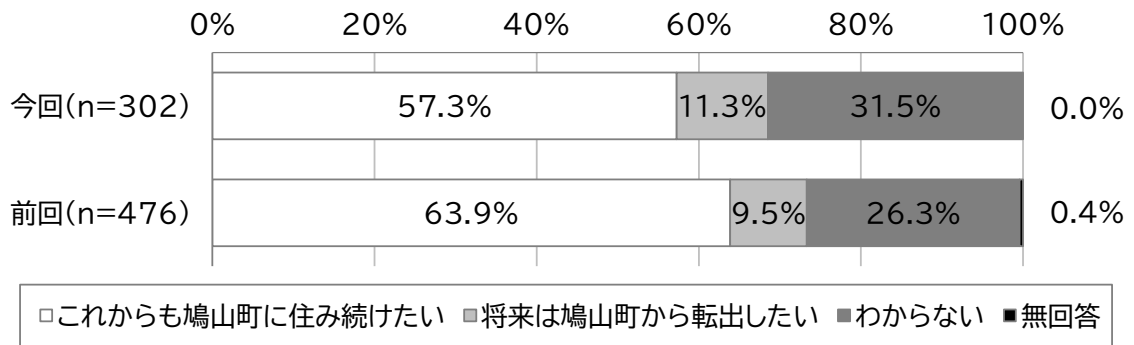
前回調査と比較すると、「30年以上」が前回より8.3ポイント少なくなっています。



**問7 あなたは、これからも鳩山町に住み続けたいと思いますか。(ひとつだけ○)**

鳩山町に住み続けたいかについては、「これからも鳩山町に住み続けたい」が 57.3%、「将来は鳩山町から転出したい」が 11.3%、「わからない」が 31.5%となっています。

前回調査と比較すると、「これからも鳩山町に住み続けたい」が前回より 6.6 ポイント少なくなっています。

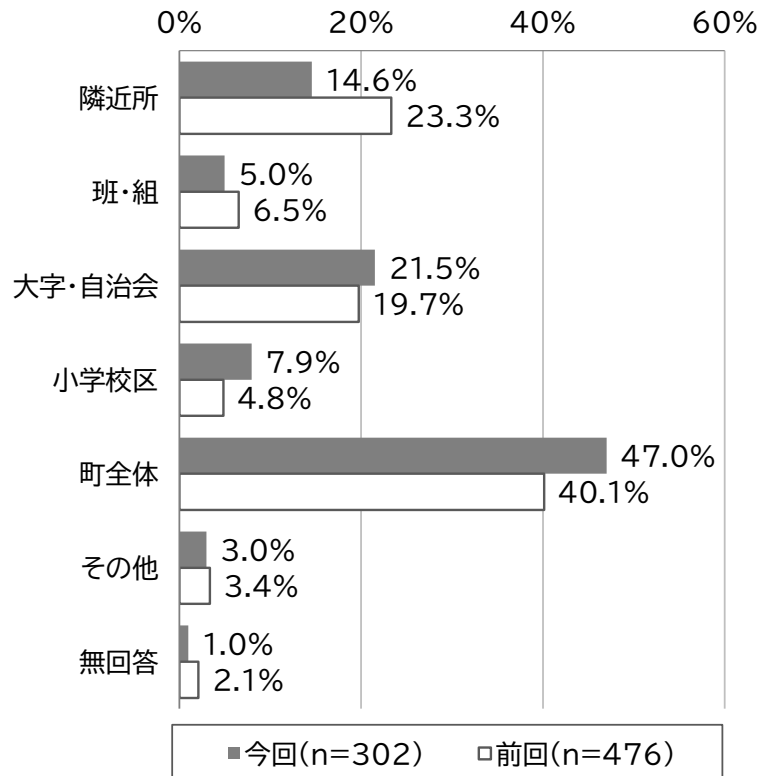


## 2. 隣近所との関わりについて

### 問8 あなたにとって地域とは、どのような範囲のことだと思いますか。(ひとつだけ〇)

地域の範囲については、「町全体」が47.0%で最も多く、ついで「大字・自治会」が21.5%、「隣近所」が14.6%となっています。

前回調査と比較すると、「町全体」が前回より6.9ポイント多く、「隣近所」が8.7ポイント少なくなっています。



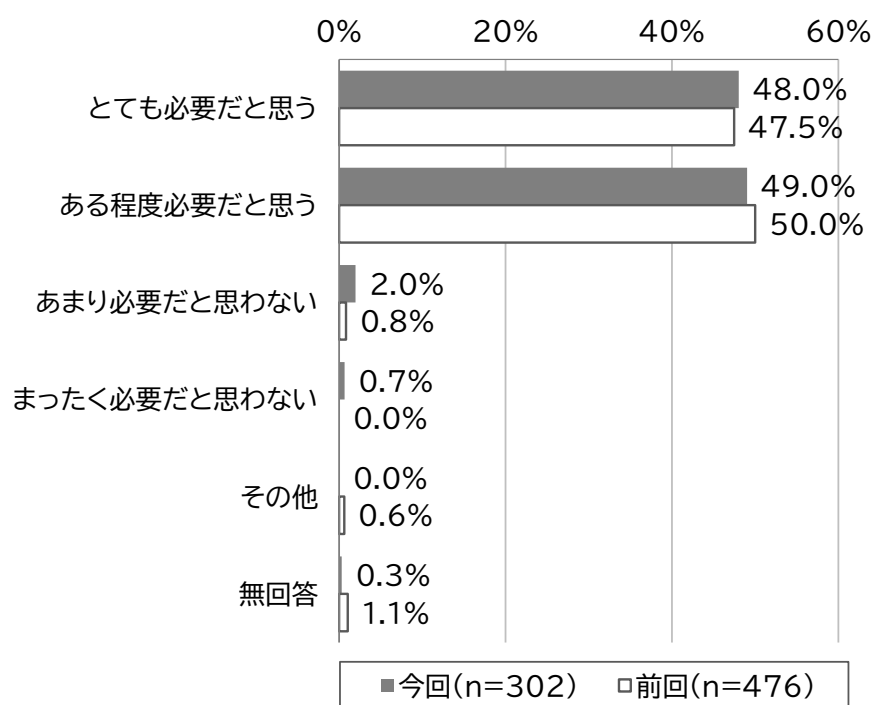
#### 【問8 その他の記述】

- 鳩山ニュータウン ×6
- 町内友人
- 周りの市町村含む

問9 あなたは、地域の福祉課題(ひとり暮らし高齢者の見守り、子どもへの虐待、孤立死など)に対し、地域の人たちの支え合い・助け合いの必要性についてどう思いますか。(もっとも近いものにひとつだけ○)

地域の人たちの支え合い・助け合いの必要性については、「とても必要だと思う」が48.0%、「ある程度必要だと思う」が49.0%となり、この2つを合わせると『必要だと思う』が97.0%となっています。

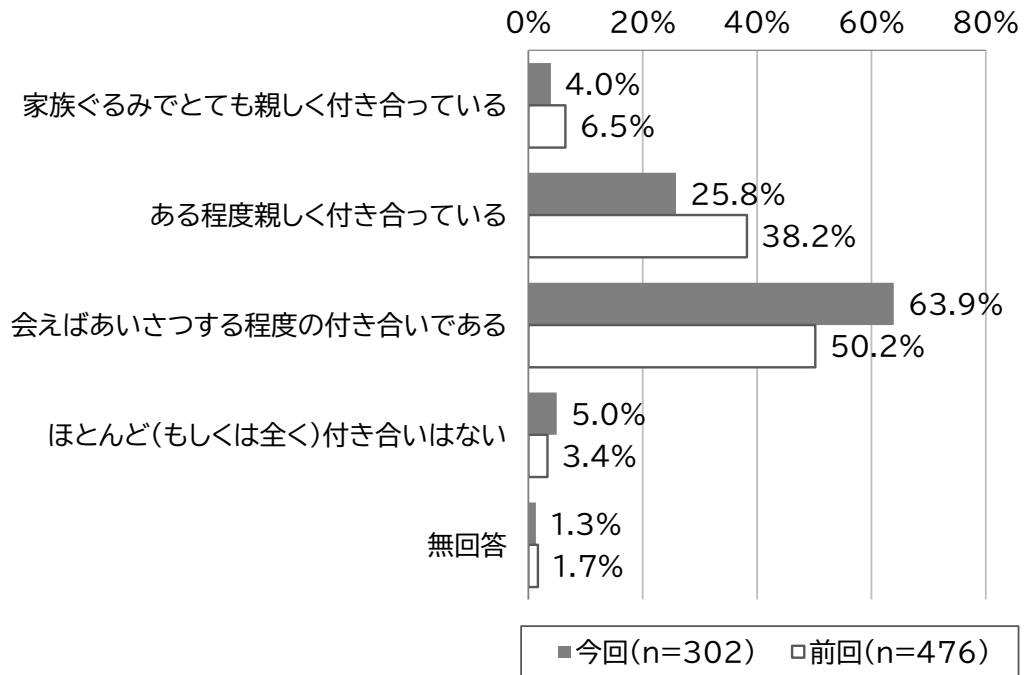
前回調査と比較すると、同様の結果となっています。



**問10 あなたは、ふだん近所の人とどの程度の付き合いをされていますか。(ひとつだけ○)**

近所の人との付き合いについては、「会えばあいさつする程度の付き合いである」が63.9%で最も多く、ついで「ある程度親しく付き合っている」が25.8%となっています。

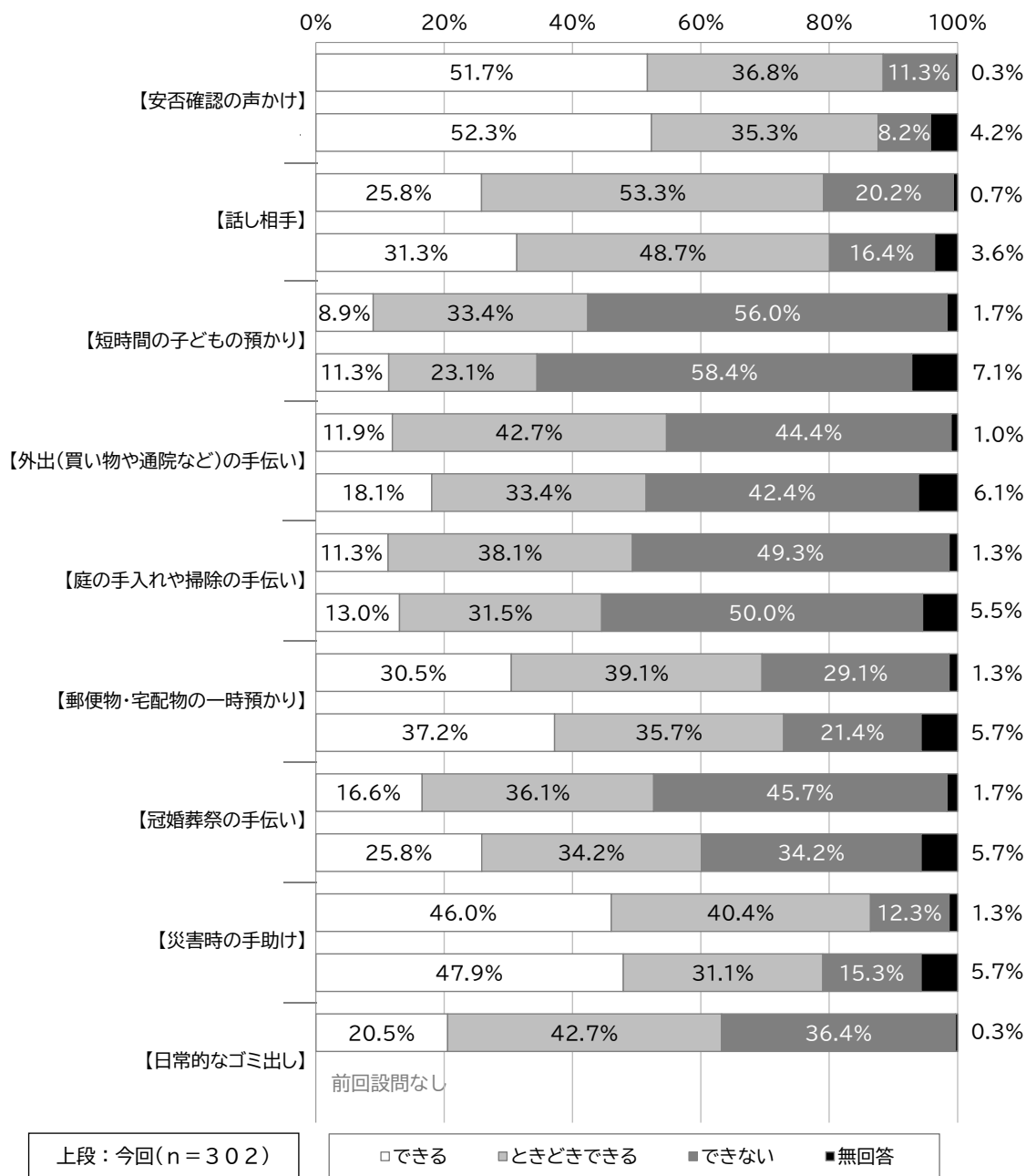
前回調査と比較すると、「会えばあいさつする程度の付き合いである」が前回より13.7ポイント多くなっています。



**問11 あなたは、近所の人から頼まれた場合、どのようなことができると思いますか。**  
**(各項目の番号にひとつだけ○)**

近所の人からの頼まれごとについては、「できる」が多い項目は「安否確認の声掛け」(51.7%)、「災害時の助け」(46.0%)となっています。

前回調査と比較すると、「できる」が少なくなっている項目は、「冠婚葬祭の手伝い」「郵便物・宅配物の一時預かり」となっています。

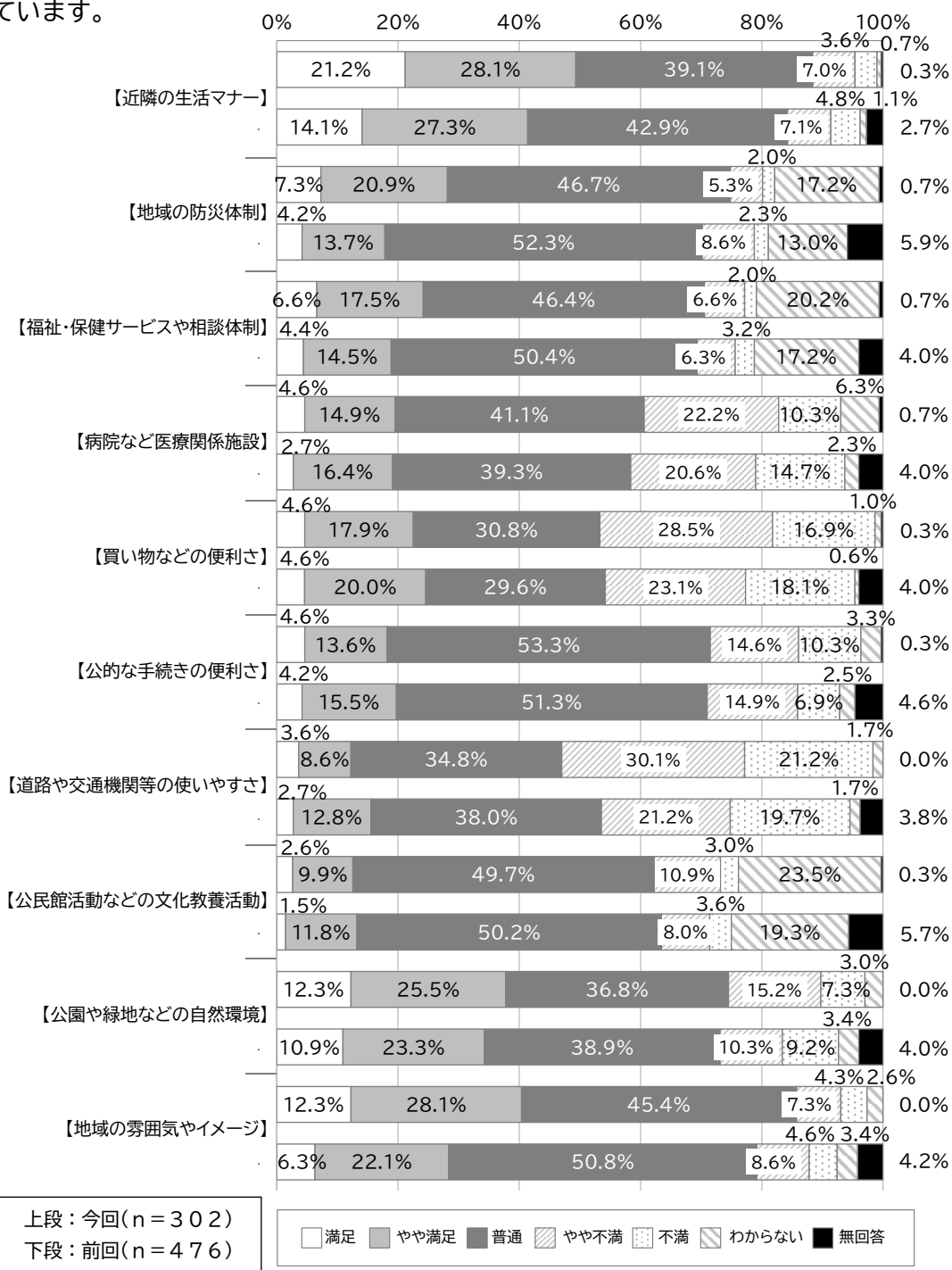


### 3. 日常生活の課題について

問12 あなたが現在住んでいる地区の暮らしやすさはいかがですか。(各項目の番号にひとつだけ○)

住んでいる地区の暮らしやすさについては、『満足（「満足」と「まあ満足」を合わせて）』が多い項目は、「近隣の生活マナー」（49.3%）、「地域の雰囲気やイメージ」（40.4%）、「公園や緑地などの自然環境」（37.8%）となっています。また、『不満（「不満」と「やや不満」を合わせて）』が多い項目は、「道路や交通機関等の使いやすさ」（51.3%）となっています。

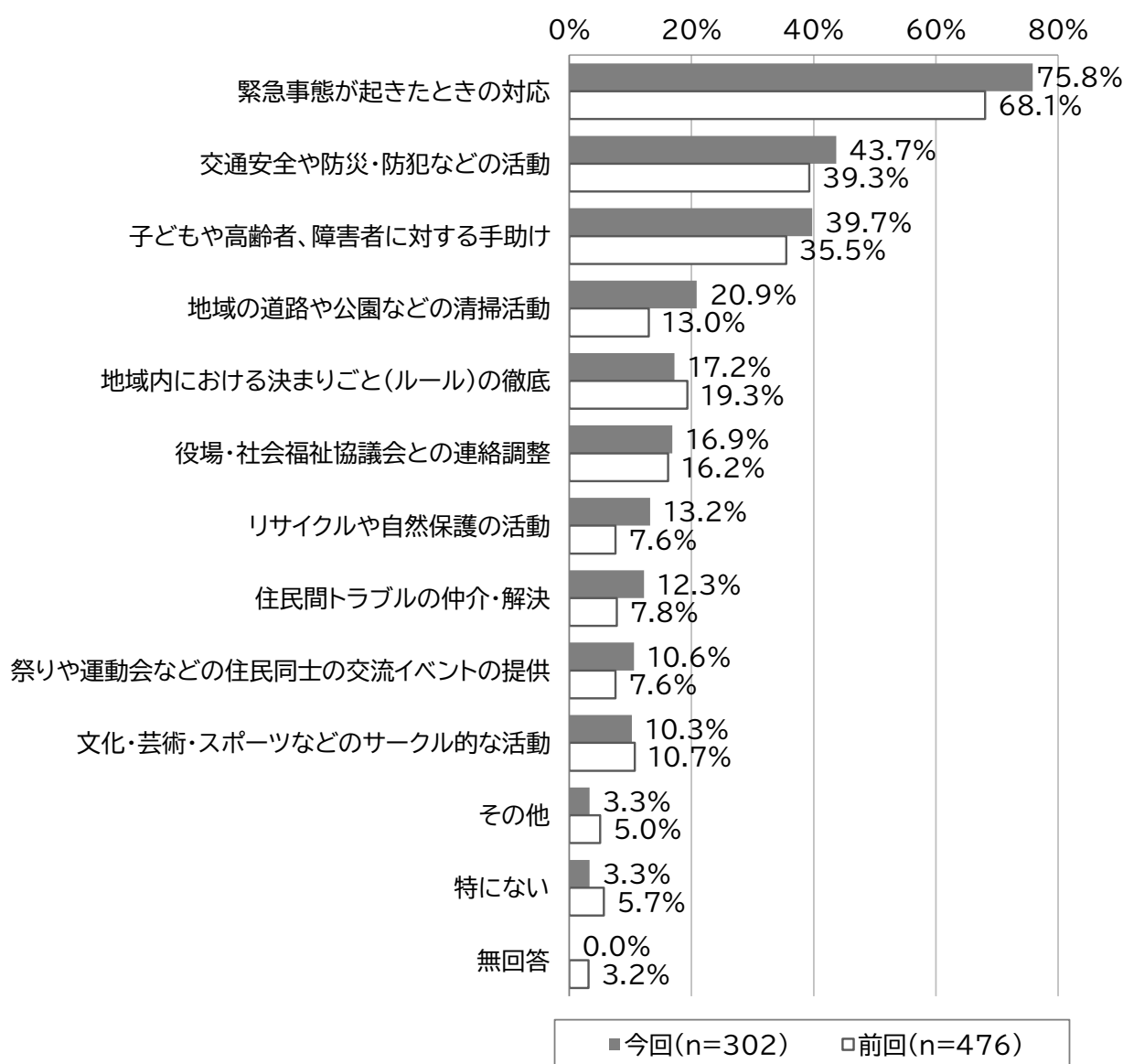
前回調査と比較すると、「地域の雰囲気やイメージ」が前回より『満足』が12ポイント多くなっています。



**問13 あなたが安心して暮らしていくには、地区内においてどのような取り組みが必要だと思いますか。(〇は3つまで)**

地区内において安心して暮らしていく取り組みについては、「緊急事態が起きたときの対応」が75.8%で最も多く、ついで「交通安全や防災・防犯などの活動」が43.7%、「子どもや高齢者、障害者に対する手助け」が39.7%となっています。

前回調査と比較すると、「地域の道路や公園などの清掃活動」が前回より7.9ポイント、「緊急事態が起きたときの対応」が7.7ポイント多くなっています。





**【問 13 その他の記述】**

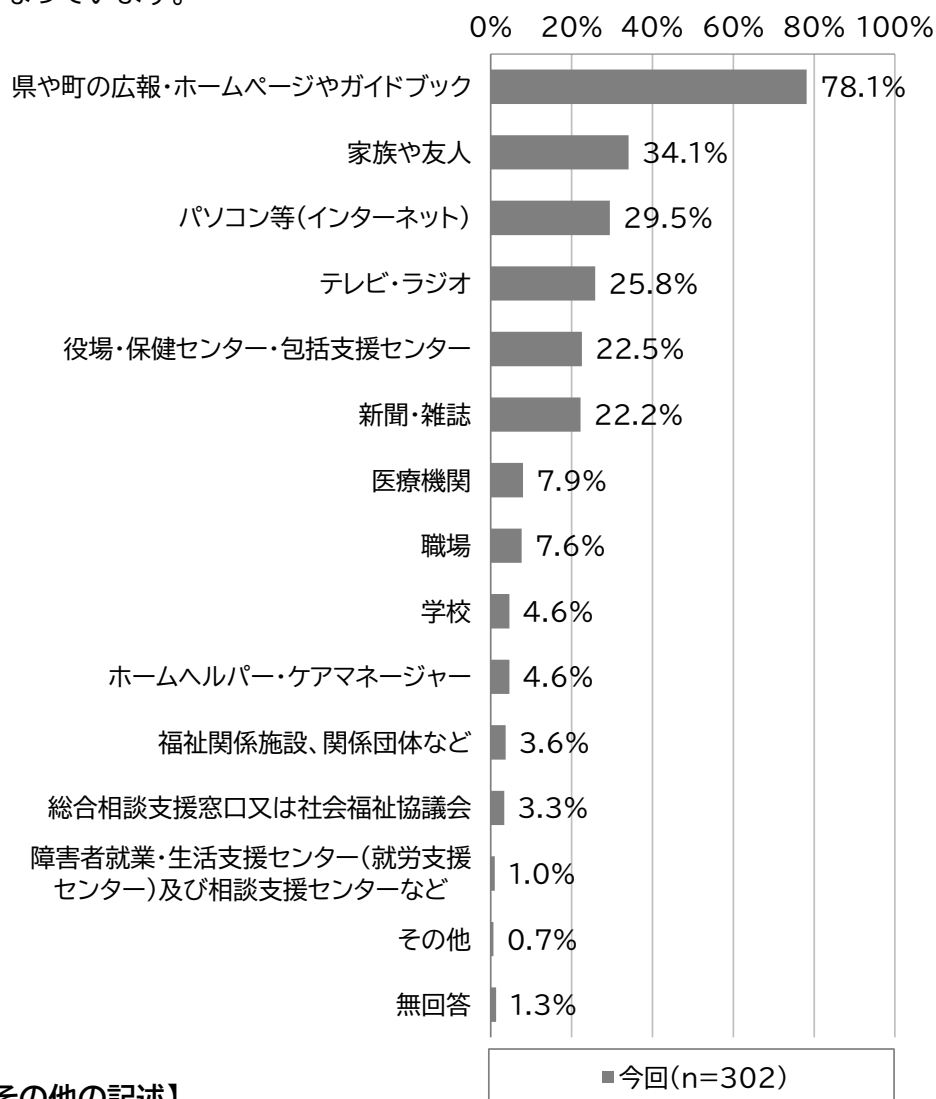
- 町内バスの運行が廃止になり、不便を感じている。
- 詐欺対策。防犯カメラ設置
- 組内で勝手な事をする 秩序と常識を守れない人が居る
- 公園の設備
- 文化施設、スポーツ施設
- 高度なセキュリティ管理を前提とした無料公共 Wi-Fi。環境設備
- ゴミ箱が足りない
- 鉄道(交通機関)の拡大、電車がない
- 普段のルールがあるとかえって面倒
- 人口減少に歯止めをかけること

#### 4. ※重層的支援体制整備事業について

※重層的支援体制整備事業／既存の相談支援や地域づくり支援の取組を活かし、子ども・障害・高齢・生活困窮といった分野別の支援体制では対応しきれないような「地域住民の複雑化・複合化したニーズ」に対応する包括的な支援体制を構築するため、「属性を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する事業

問14 福祉に関する情報について、どこから情報を得ていますか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)

福祉に関する情報の入手先については、「県や町の広報・ホームページやガイドブック」が78.1%で最も多く、ついで「家族や友人」が34.1%、「パソコン等（インターネット）」が29.5%となっています。

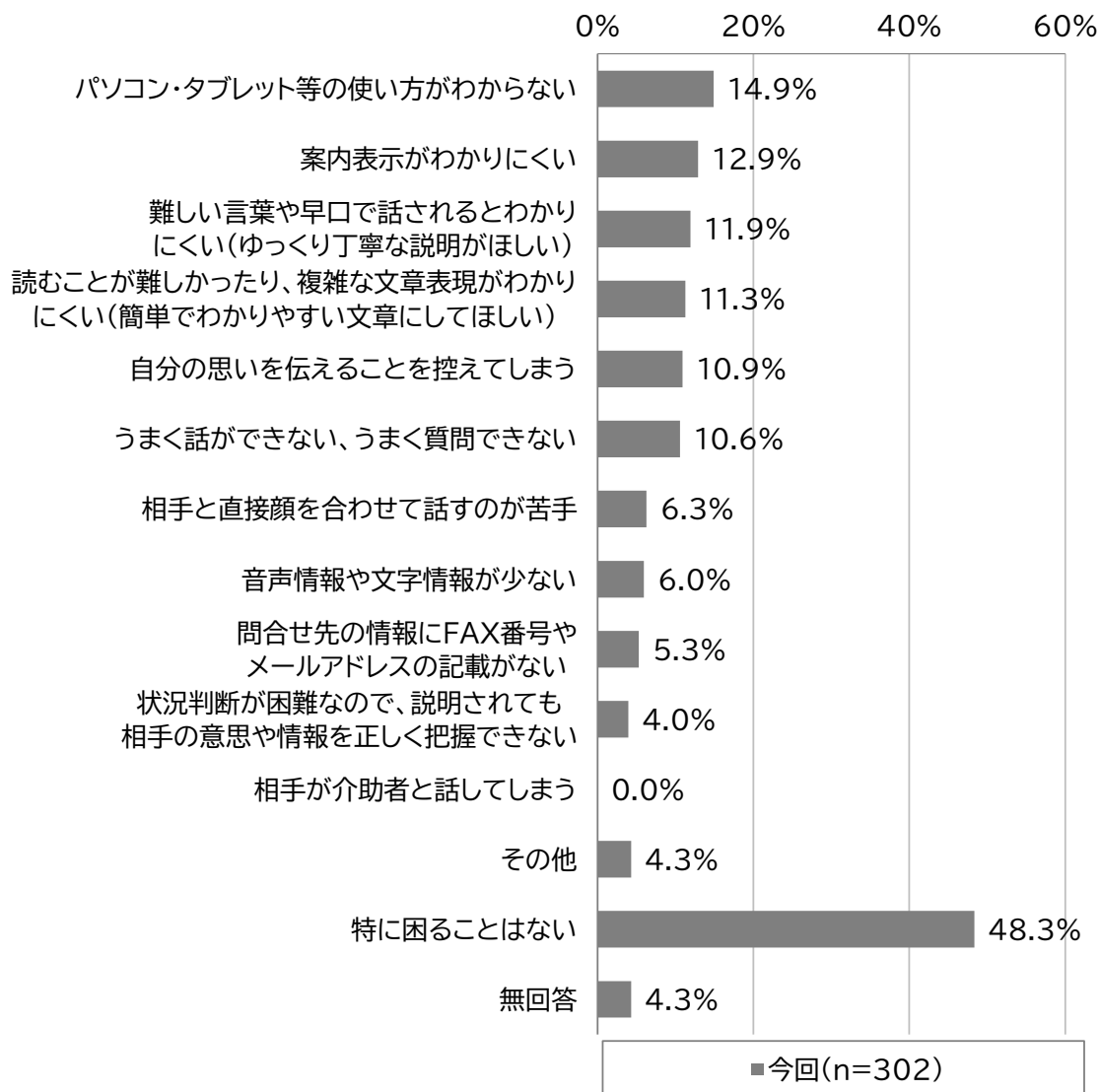


#### 【問 14 その他の記述】

- 今の処、活力がない
- あまり情報がない
- 情報を探したことがない。どこに問い合わせよいかわからない。
- あまり得ていない

**問15 あなたは、情報を入力したり、コミュニケーションをとるうえで困ることはありますか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)**

情報入手やコミュニケーションで困ることについては、「パソコン・タブレット等の使い方がわからない」が14.9%で最も多く、ついで「案内表示がわかりにくい」が12.9%、「難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい(ゆっくり丁寧な説明がほしい)」が11.9%となっています。また、「特に困ることはない」が48.3%となっています。

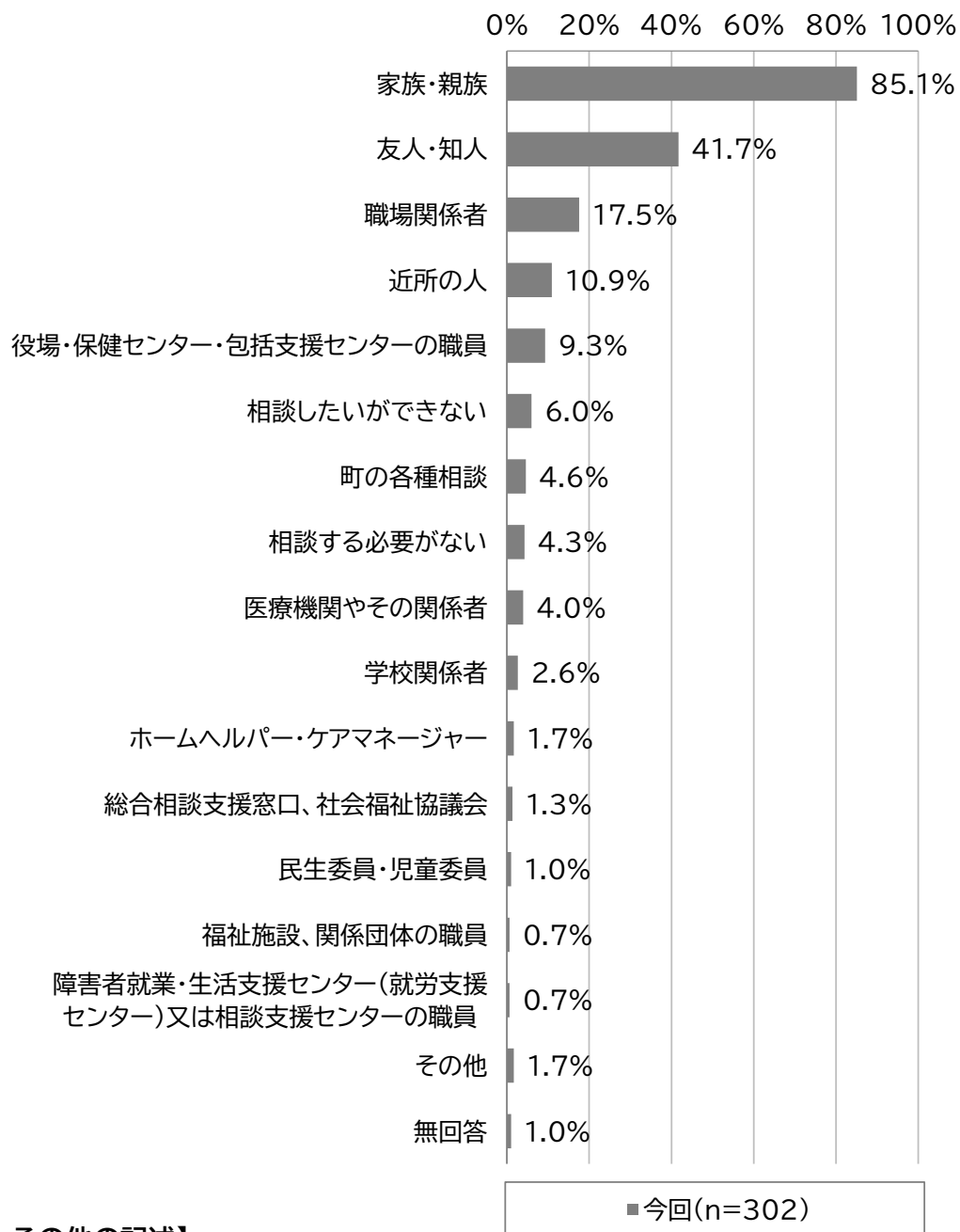


### 【問 15 その他の記述】

- 町からの回答を求められた際、Faxが良い。
- 情報が深掘りされていると良い。
- 町の防災放送がとても聞き取りづらい（特に女性の）異様に語尾が変で聞き取れない。きん急の時にあのような語調で放送されても全くわからない。
- 鳩山 HP を充実して検索を容易に。
- 包括支援センターにどのような相談をしてよいのかわからない。（症状や症状の程度でどの段階で等の具体的な事。福祉なのか、介護なのか等）。
- 特に 9 番の項目。
- 聴覚に障害があり、聞き取りができないときがある。
- 役場から放送される内容が聞こえにくくわからない。
- どこに相談すればいいか不明。飛行機等の騒音など。
- 情報を入手手段が広報だけになり自分が求めている福祉に関しての情報を得ることが少ないので困る。
- 意味がよく分かりません。
- 聞き取りにくい時がある。
- 何かあるのも全くわからない。
- 特に町ホームページで、欲しい情報がまとまらないうところが多く困る。
- 情報がわかりにくい。内容が不十分。
- 今はないが、今後はあると思う。
- 簡単で分かりやすい文章にしてほしい。

**問16 日常生活や職場で困ったことなどを、どなたに相談していますか。**  
**(該当する番号すべてに○をつけてください。)**

日常生活や職場の困ったことの相談先については、「家族・親族」が85.1%で最も多く、ついで「友人・知人」が41.7%、「職場関係者」が17.5%となっています。



**【問16 その他の記述】**

- 全くない
- どの誰に相談するのがよいか調べる。
- 役場
- 警察
- インターネット

問16-1 問16で「14. 相談したいができない」と答えた方にお聞きします。

相談できない理由は何ですか。(該当する番号すべてに○をつけてください)

相談したいができない方の理由については、「相談しても満足がいく回答がもらえない」が11件、「どこ(だれ)に相談したらよいかわからない」が8件となっています。

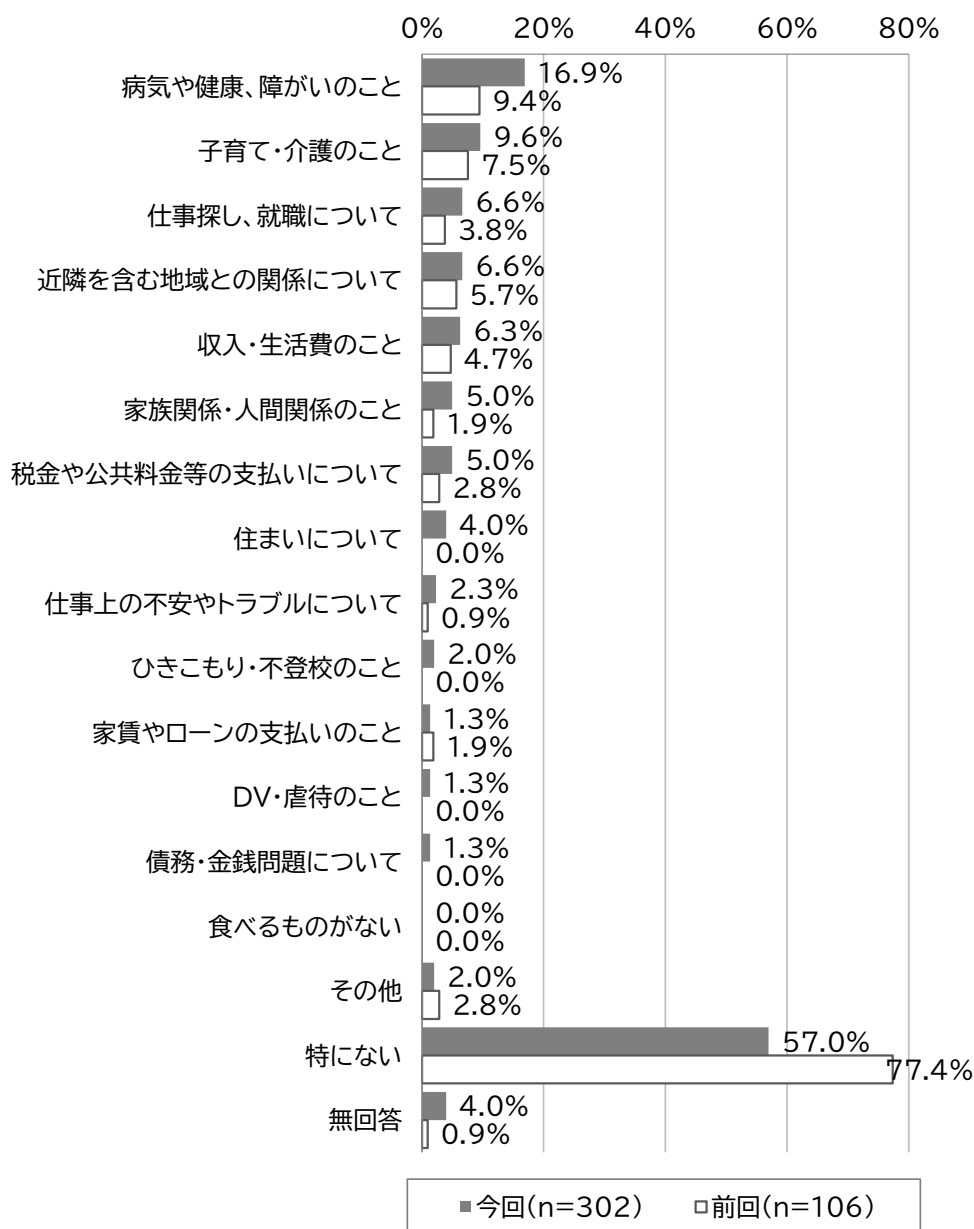
項目	件数	比率
相談しても満足がいく回答がもらえない	11	61.1%
どこ(だれ)に相談したらよいかわからない	8	44.4%
身近なところに相談できるところがない	7	38.9%
夜間や休日などに相談するところがない	7	38.9%
プライバシー保護に不安がある	4	22.2%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	18	-
非該当	284	-
合計	302	-

※回答者数が少ないため、表を掲載(以下同様)

**問17 あなたの福祉にかかわる困りごとで相談したいことはありますか。(該当する番号すべてに○をつけてください)**

あなたの福祉に関わる相談したいことについては、「病気や健康、障がいのこと」が16.9%で最も多く、ついで「子育て・介護のこと」が9.6%となっています。また、「特にない」が57.0%となっています。

前回調査と比較すると、「病気や健康、障がいのこと」が前回より7.5ポイント多くなっています。



**【問17 その他の記述】**

- 隣の空家の樹木等
- 犬、ねこの放置
- もし、そのような状況になればどこの窓口で相談すればいいののかのアナウンスは常に必要だと思います。
- 将来のこと現在はないけど年齢がいった日常生活が困難になったらどうするか等今から

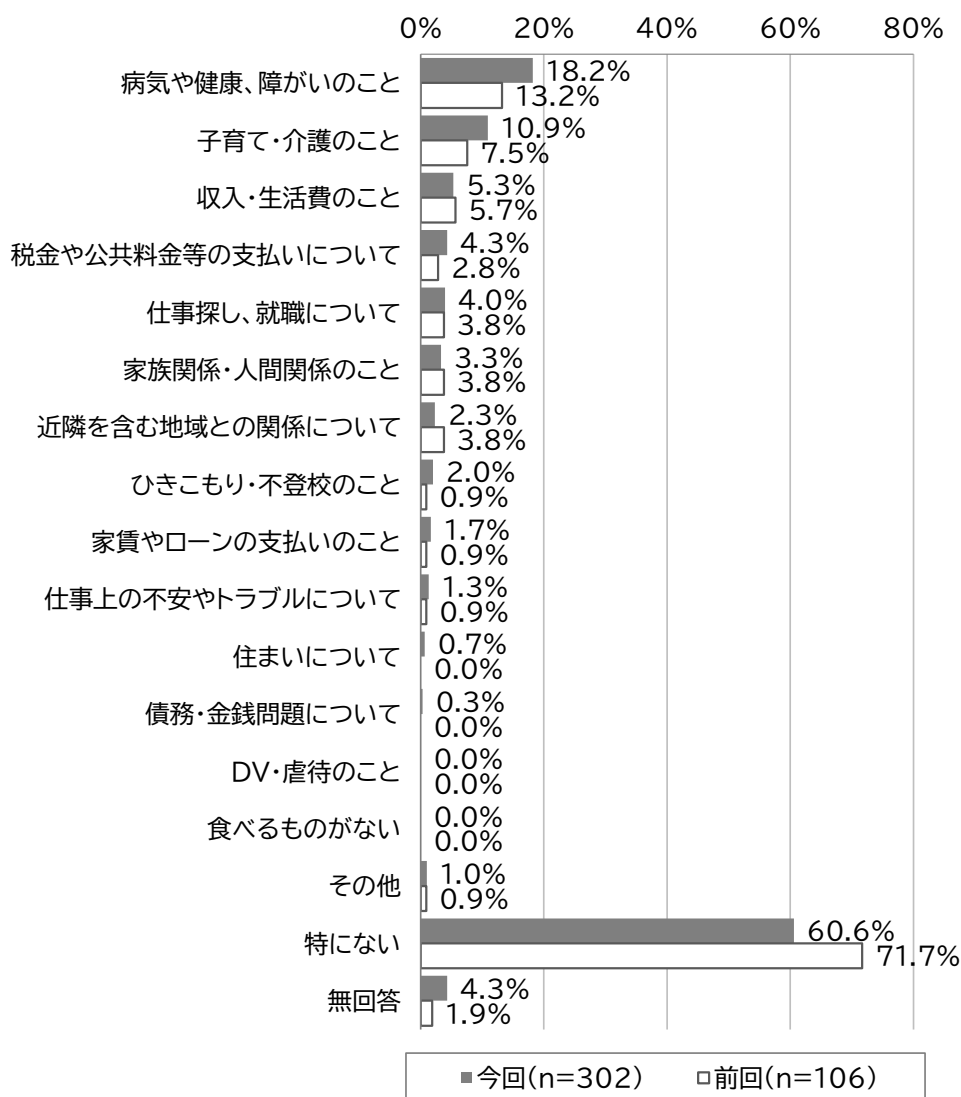
少し心配。

- ごみ捨てるのマナー
- 町の交通手段の改善、保持について
- 将来について

**問18 “あなたの家族”の福祉にかかわる困りごとで相談したいことはありますか。(該当する番号すべてに○をつけてください)**

あなた家族の福祉に関わる相談したいことについては、「病気や健康、障がいのこと」が18.2%で最も多く、ついで「子育て・介護のこと」が10.9%となっています。また、「特にない」が60.6%となっています。

前回調査と比較すると、「病気や健康、障がいのこと」が前回より5.0ポイント多くなっています。



**【問18 その他の記述】**

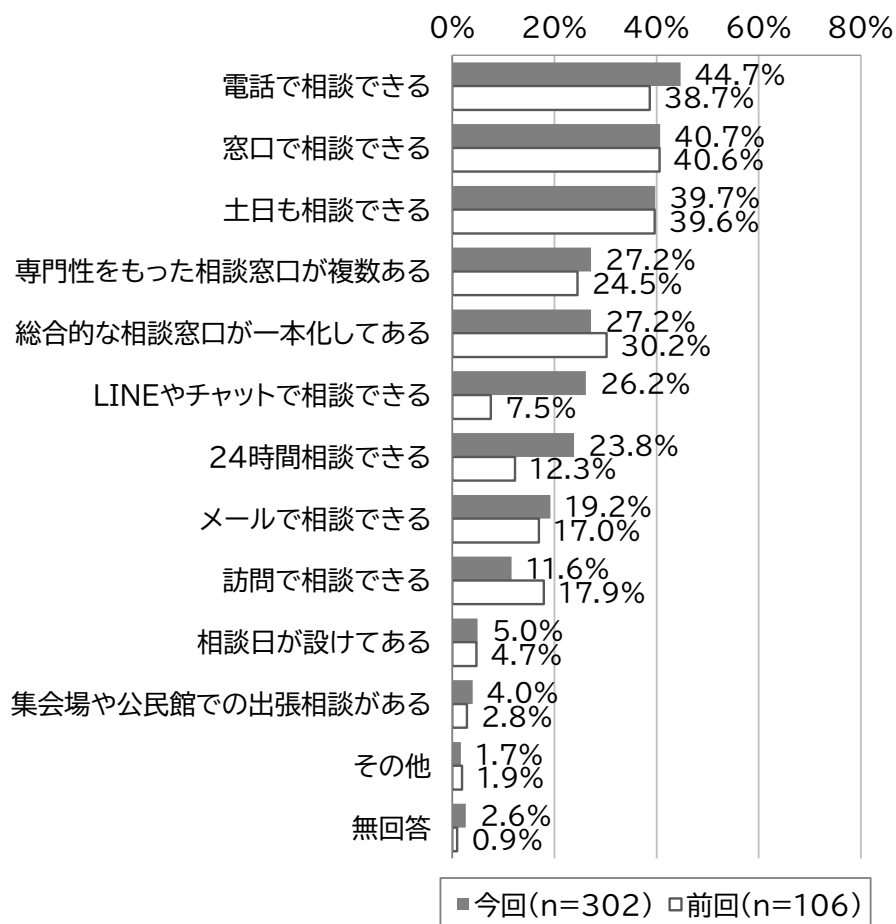
- 空家庭の手入れをしてほしい
- 健康体操



**問19 あなたが考える福祉にかかわる相談しやすい環境とはどのような環境ですか。(該当する番号すべてに○をつけてください)**

福祉にかかわる相談しやすい環境については、「電話で相談できる」が 44.7%で最も多く、ついで「窓口で相談できる」が 40.7%、「土日も相談できる」が 39.7%となっています。

前回調査と比較すると、「LINE やチャットで相談できる」が前回より 18.7 ポイント多くなっています。



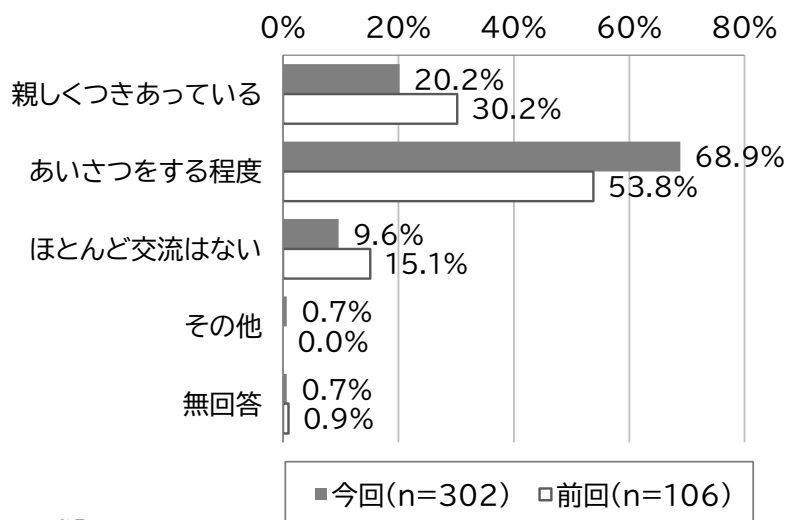
**【問 19 その他の記述】**

- 家族の方でも相談できるようにしてほしい。
- ない。
- すぐに対応してくれる ※他の LINE 相談窓口では、順番待ちがあり、相談したいときにしてくれなかったから。「すぐに対応できるのは、この小さい町ならではの魅力！！」とできればいいと感じます。
- 今の処、活力がない。

**問20 あなたは、近所や地域の人と交流をしていますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)**

近所や地域の人との交流については、「あいさつをする程度」が 68.9%、「親しくつきあっている」が 20.2%、「ほとんど交流はない」が 9.6%となっています。

前回調査と比較すると、「あいさつをする程度」が前回より 15.1 ポイント多くなっています。

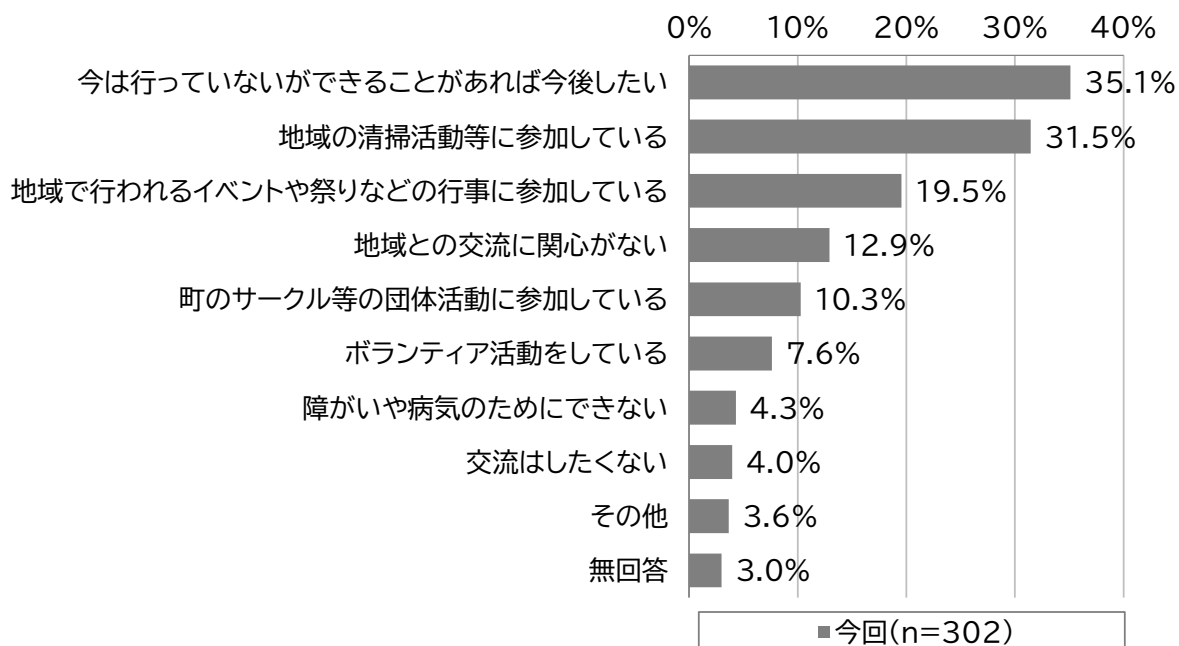


**【問 20 その他の記述】**

- そこそこのつきあい。あいさつ程度。
- コロナ生活になって変わった。

**問21 あなたご自身は、地域との交流を深めるための活動をしていますか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)**

地域との交流を深めるための活動については、「今は行っていないができれば今後したい」が 35.1%で最も多く、ついで「地域の清掃活動等に参加している」が 31.5%、「地域で行われるイベントや祭りなどの行事に参加している」が 19.5%となっています。



### 【問 21 その他の記述】

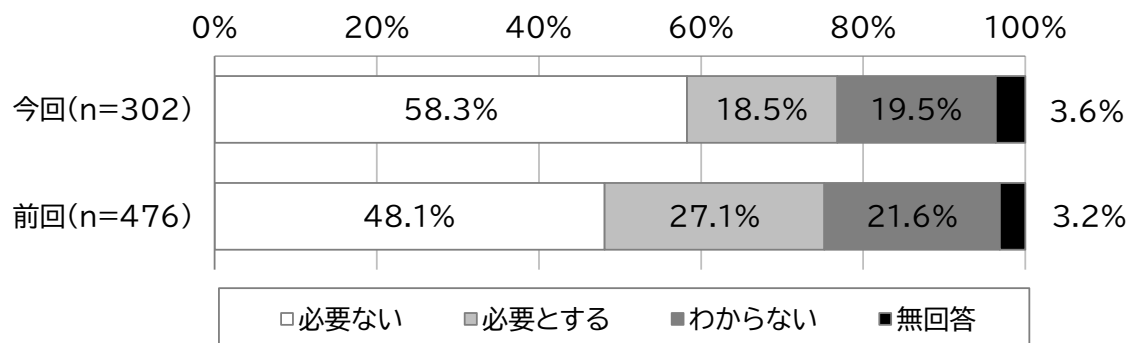
- 機会もないし、自分も忙しいのでなかなか出来ない。
- 小・中学校の行事。
- 時間に余裕が出きたら行いたい。
- 特に活動はしていない。
- 花いっぱい運動ぐらいで地域でかつて行っていた祭りなどもなくなったりイベントもほとんどないので参加がない。
- 夫の介護のためできない。
- 文化活動
- 小学生のお見送りをしている。
- 声かけ程度
- 積極的にはしていないが、したくないとは思っていない。
- 交流はしてもしなくても良いと思っている。
- 忙しくてしている暇がない。

## 5. 災害時のことについて

問22 あなたは、地震などの災害発生時に、避難場所への移動や、災害についての情報の入手等について、誰かの助けを必要としますか。(ひとつだけ○)

地震などの災害時に移動や情報入手で誰かの手助けが必要かについては、「必要ない」が58.3%、「必要とする」が18.5%となっています。

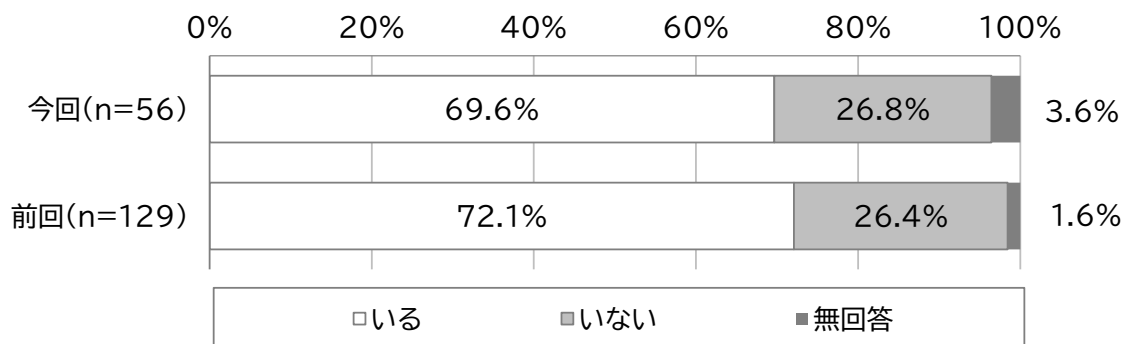
前回調査と比較すると、「必要ない」が前回より10.2ポイント多くなっています。



**問22-(1) 問22で「必要とする」を選ばれた方におたずねします。あなたは、災害発生時に助けてもらえる人がいますか。(ひとつだけ○)**

災害時に助けてもらえる人がいるかについては、「いる」が 69.6%、「いない」が 26.8%となっています。

前回調査と比較すると、「いる」が前回より 2.5 ポイント少なくなっています。



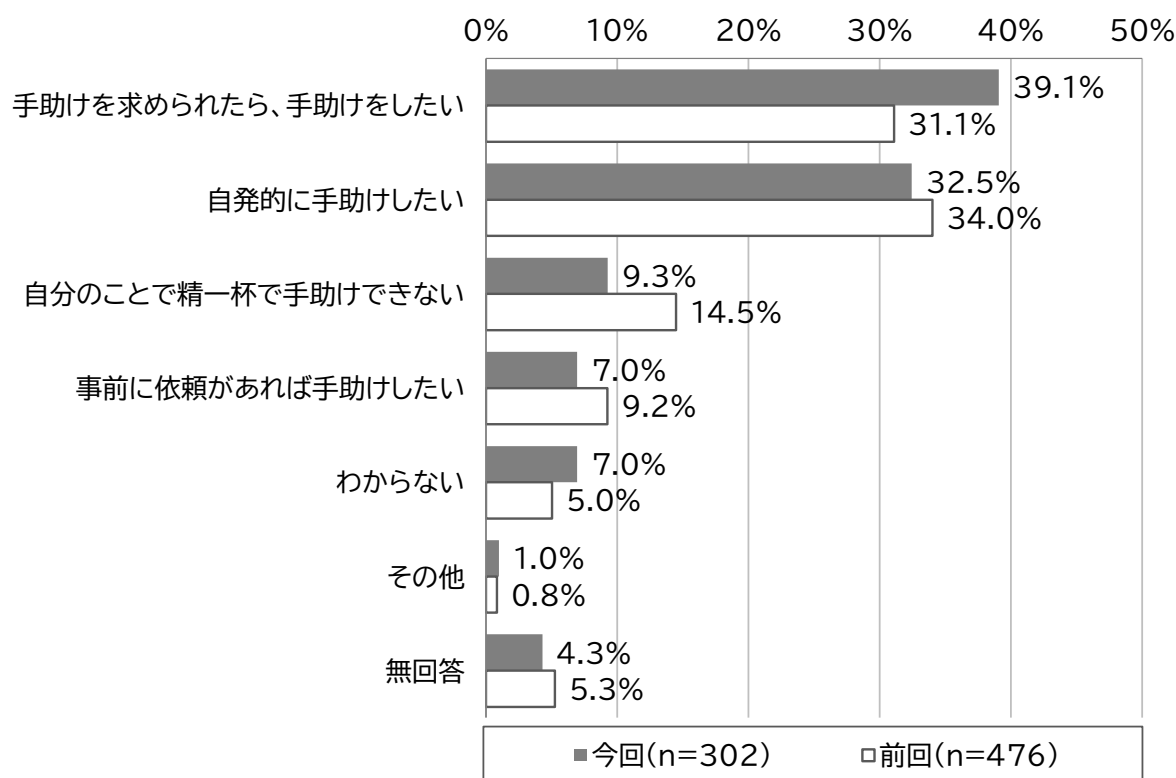
**【問 22-1 その他の記述】**

- 家族 ×14
- 家族 母と子
- 家族、友人
- 近隣の人
- 近所の人 ×5
- 子
- 職場の同僚
- 知人、家族
- 夫
- 友人 ×2

**問23 あなたは、災害等の緊急事態が発生したときに、隣近所に自力で避難できない人や安否不明な人がいたら、どう対応したいと思いますか。(ひとつだけ○)**

災害時や緊急事態の時に隣近所に自力で避難できない人や安否不明な人がいた場合の対応については、「手助けを求められたら、手助けをしたい」が 39.1%で最も多く、ついで「自発的に手助けしたい」が 32.5%となっています。

前回調査と比較すると、「手助けを求められたら、手助けをしたい」が前回より 8.0 ポイント多くなっています。



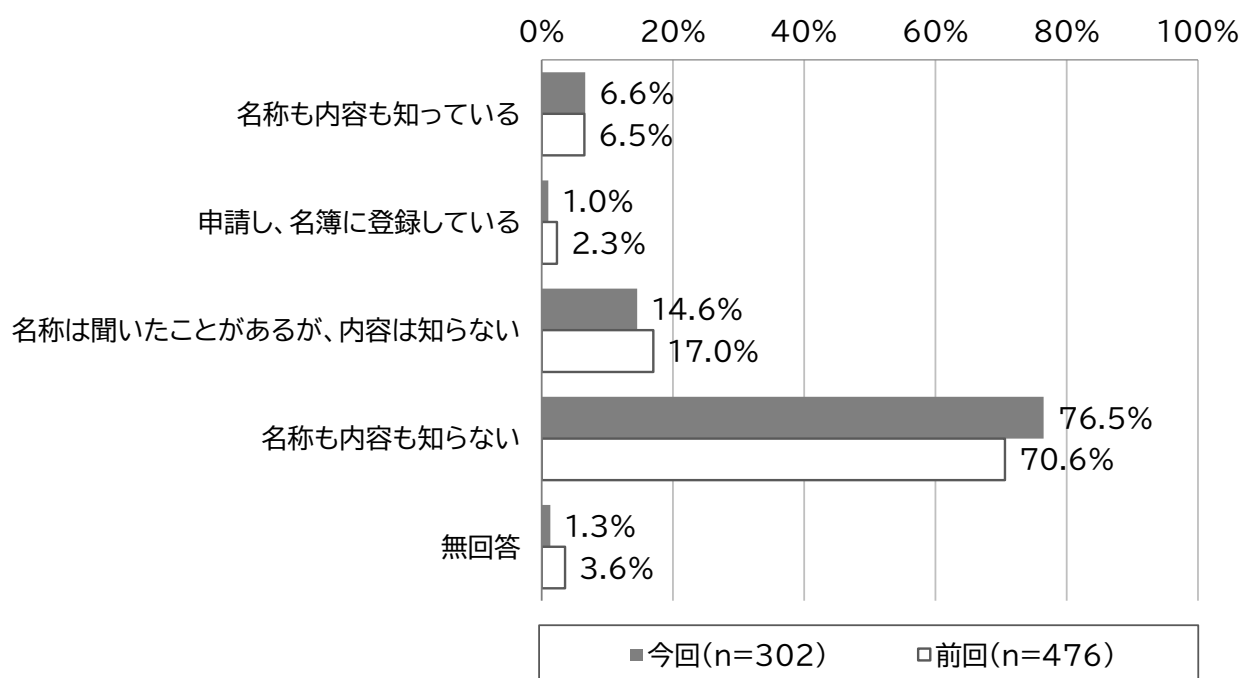
**【問 23 その他の記述】**

- 自分が動ける状態ならば。
- 夫の介護で難しい。
- こわいから無理。でも助けたい、自分の手で。
- 自身の状況による。
- 足腰が悪いため助けられない。
- まず高齢の父母の安全を確保した後の対応となる。

問24 町では、災害時に一人で避難できない方を対象に、災害時の安否確認や避難支援を行う「避難行動要支援者支援制度」を実施し、名簿への登録を勧めています。あなたは、この制度について知っていますか。(ひとつだけ○)

避難行動要支援者支援制度の認知度については、「名称も内容も知らない」が76.5%、「名称は聞いたことがあるが、内容は知らない」が14.6%となっています。

前回調査と比較すると、「名称も内容も知らない」が前回より5.9ポイント多くなっています。

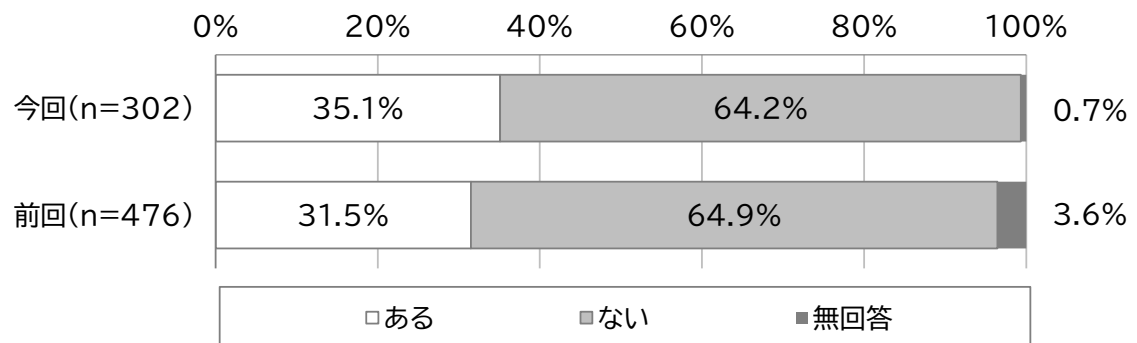


## 6. 地域活動・ボランティア活動について

問25 あなたはここ5年間に地域活動やボランティア活動をしたことがありますか。(ひとつだけ○)

ここ5年間の地域活動やボランティア活動については、「ある」が35.1%、「ない」が64.2%となっています。

前回調査と比較すると、「ある」が前回より3.6ポイント多くなっています。

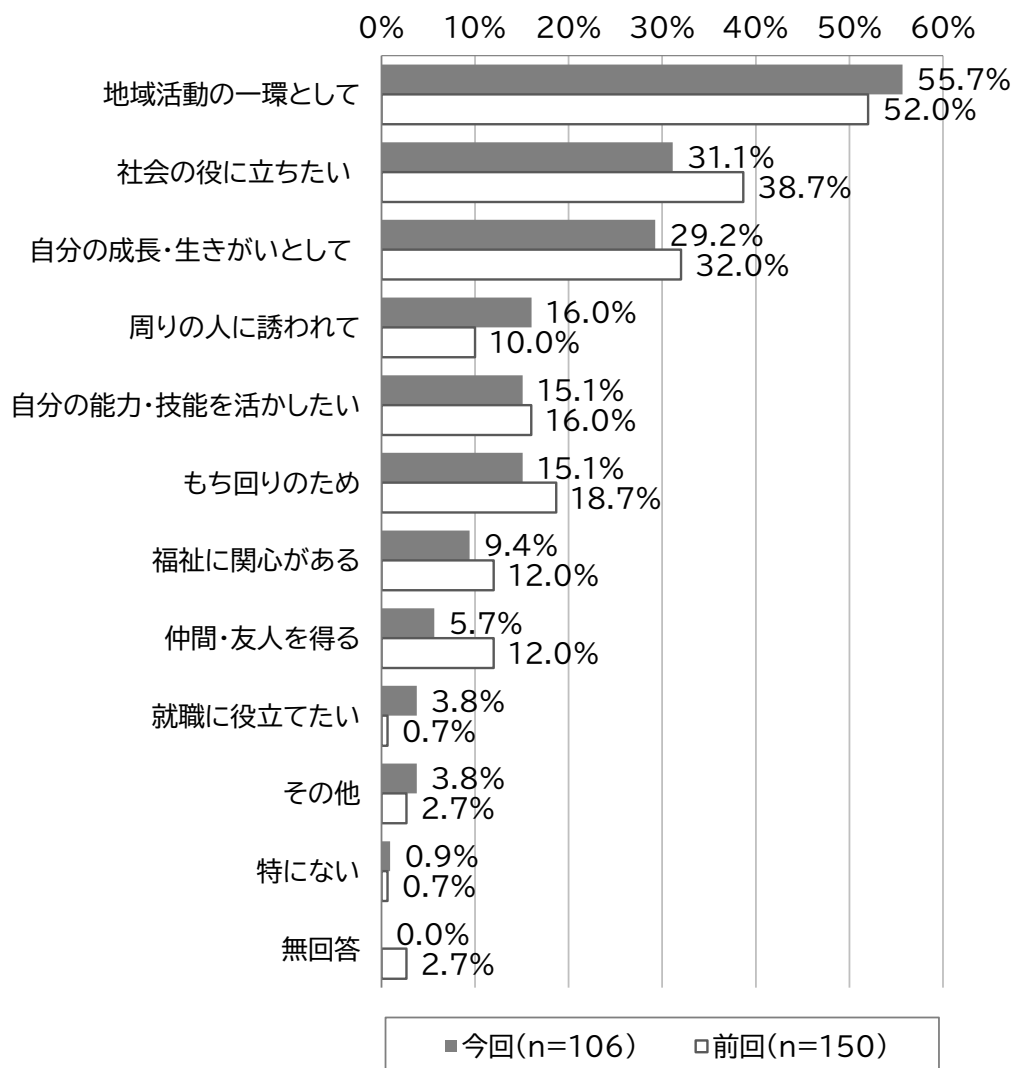


問 25-(1) 問 25 で「ある」を選ばれた方におたずねします。

地域・ボランティア活動をした(している)動機はどのようなことですか。(〇は3つまで)

地域・ボランティア活動をした動機については、「地域活動の一環として」が 55.7%で最も多く、ついで「社会の役に立ちたい」が 31.1%、「自分の成長・生きがいとして」が 29.2%となっています。

前回調査と比較すると、「周りの人に誘われて」が前回より 6.0 ポイント多くなっています。



【問 25-1 その他の記述】

- ゴミステ
- 青年期よりの継続、人生観
- 喜んでいただける事
- 人として

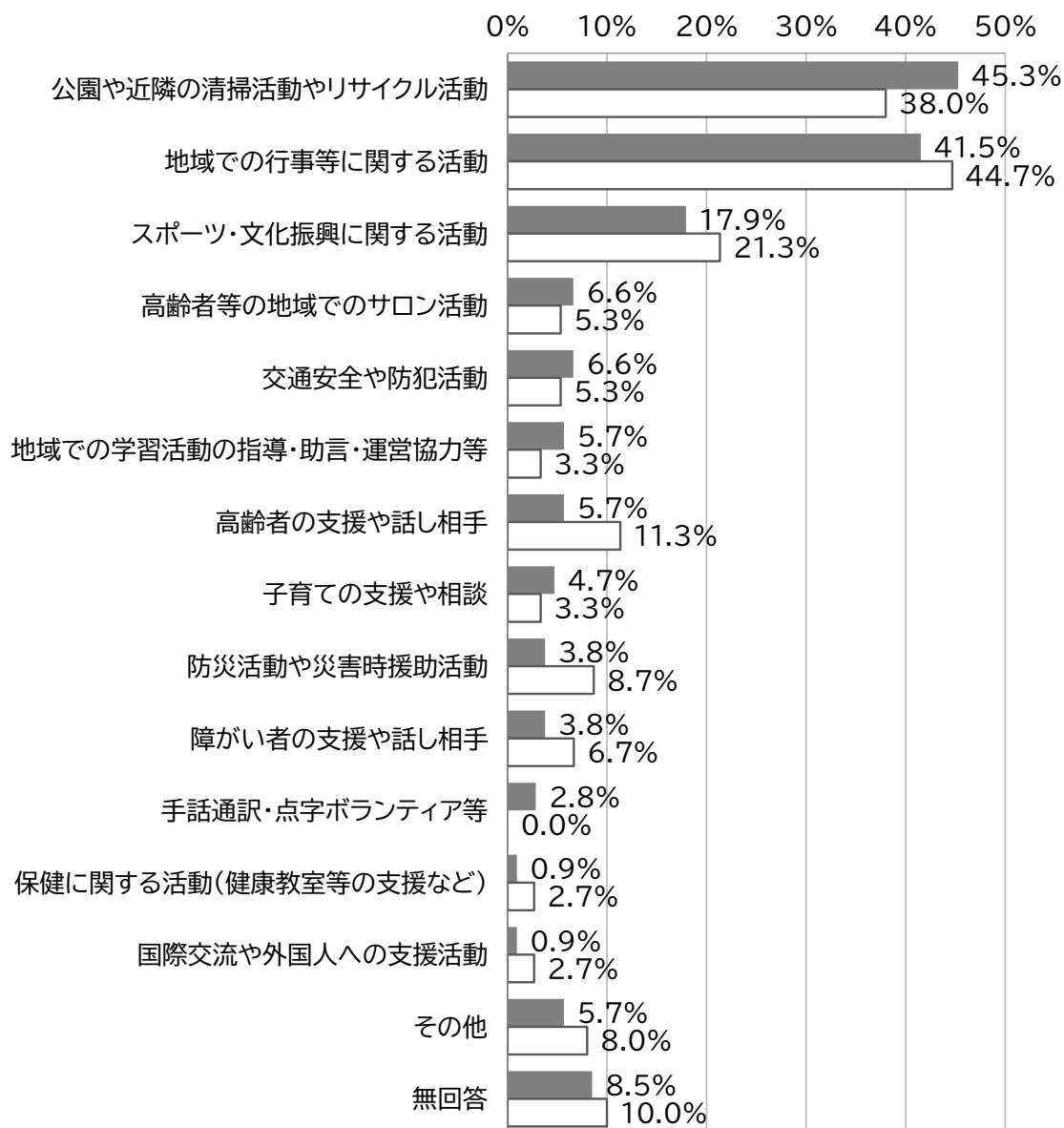


問 25-(2) 問25で「ある」を選ばれた方におたずねします。

主にどのような活動をされました(しています)か。(〇は3つまで)

どのような活動しているかについては、「公園や近隣の清掃活動やリサイクル活動」が45.3%で最も多く、ついで「地域での行事等に関する活動」が41.5%となっています。

前回調査と比較すると、「公園や近隣の清掃活動やリサイクル活動」が前回より7.3ポイント多くなっています。



■今回(n=106) □前回(n=150)

【問 25-2 その他の記述】

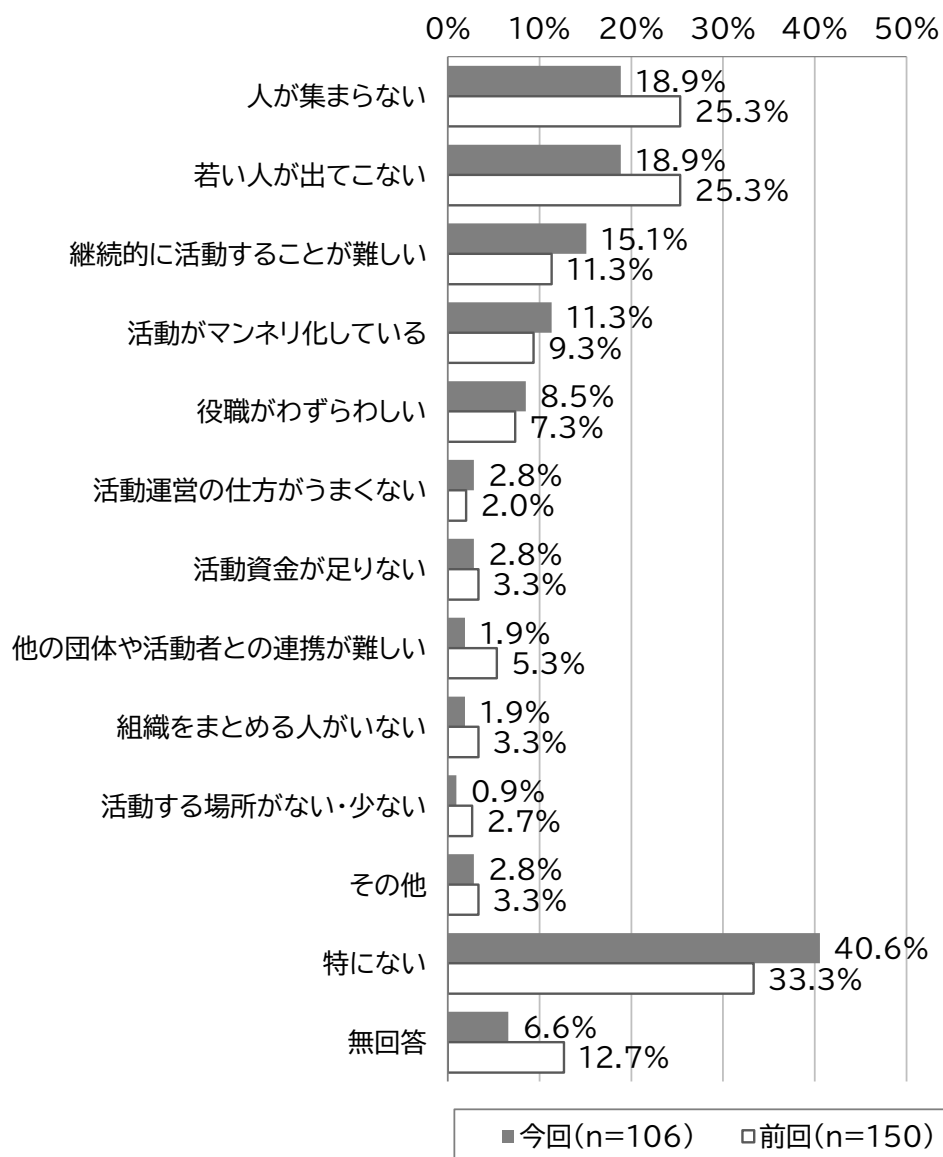
- 弁当くばり等
- 社協
- 地域の清掃
- 社協の体験ボランティア
- 小学校での読み聞かせ
- 自然保護活動

問25-(3) 問25で「ある」を選ばれた方におたずねします。

活動の中で困ったこと、苦勞したことがありますか。(〇は3つまで)

活動中に困ったこと、苦勞したことについては、「人が集まらない」「若い人が出てこない」がそれぞれ18.9%で多くなっています。

前回調査と比較すると、「人が集まらない」「若い人が出てこない」がそれぞれ前回より6.4ポイント少なくなっています。



【問 25-3 その他の記述】

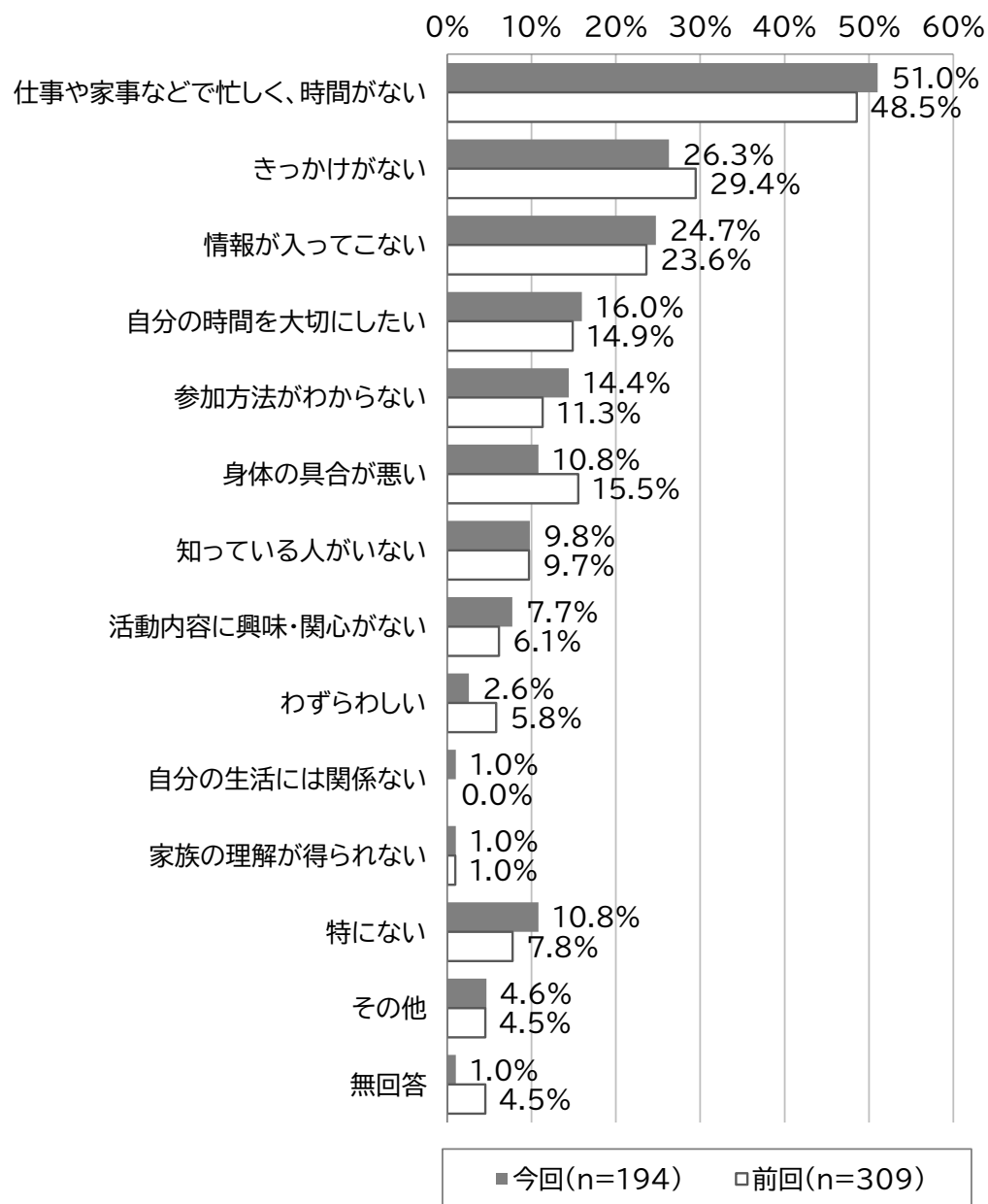
- 計画をしらない
- 活動はしたいが体力がない

問25-(4) 問25で「ない」を選ばれた方におたずねします。

活動したことがない理由は何ですか。(〇は3つまで)

活動したことがない理由については、「仕事や家事などで忙しく、時間がない」が51.0%で最も多く、ついで「きっかけがない」が26.3%、「情報が入ってこない」が24.7%となっています。

前回調査と比較すると、あまり大きな差はありませんが、「身体の具合が悪い」が前回より4.7ポイント少なくなっています。



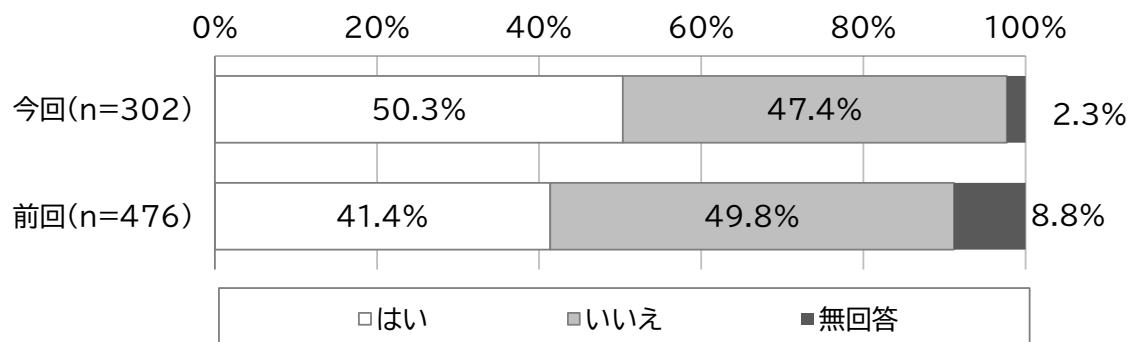
#### 【問 25-4 その他の記述】

- 家庭内に動物がいた為
- 一緒にやる人がいない。
- 休みが不規則
- 問 52 に書きました。
- 親の介護
- 出来そうなことがない。
- 学生時代は募集もあったのでしていたが、社会人になってからはできていない。
- 学校、部活がある。
- 学校生活、勉強に忙しい。

#### 問26 今後、あなたは地域活動・ボランティア活動をしたい(続けたい)と思いますか。(ひとつだけ○)

今後の地域活動・ボランティア活動をしたいについては、「はい」が 50.3%、「いいえ」が 47.4%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が前回より 8.9 ポイント多くなっています。

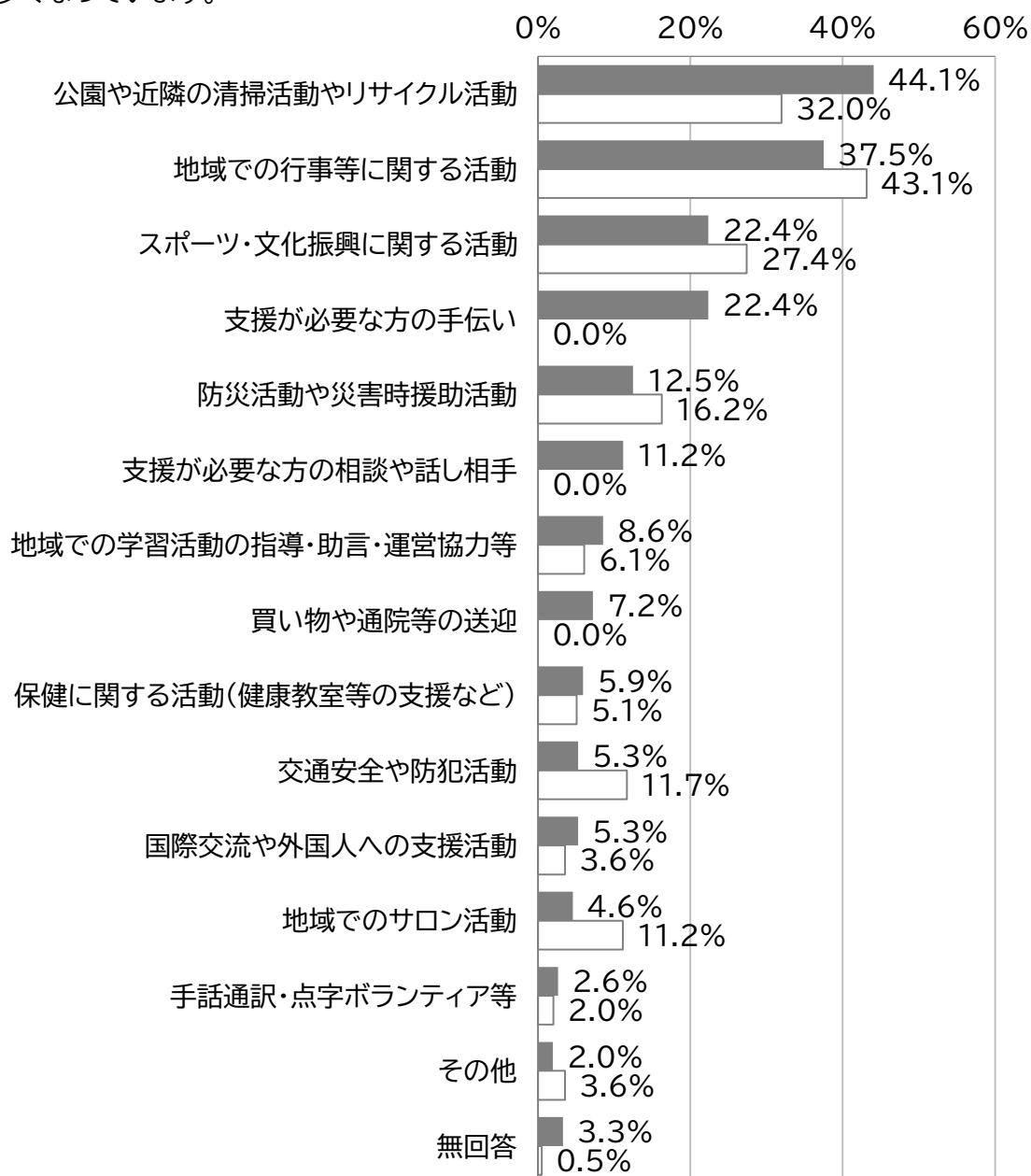


問 26-(1) 問26 で「はい」を選ばれた方におたずねします。

今後、地域活動・ボランティア活動を行う(行っている)としたら、どんな内容の活動をしたいですか。(〇は3つまで)

今後の活動内容については、「公園や近隣の清掃活動やリサイクル活動」が 44.1%で最も多く、ついで「地域での行事等に関する活動」が 37.5%、「スポーツ・文化振興に関する活動」「支援が必要な方の手伝い」がそれぞれ 22.4%となっています。

前回調査と比較すると、「公園や近隣の清掃活動やリサイクル活動」が前回より 12.1ポイント多くなっています。



【問 26-1 その他の記述】

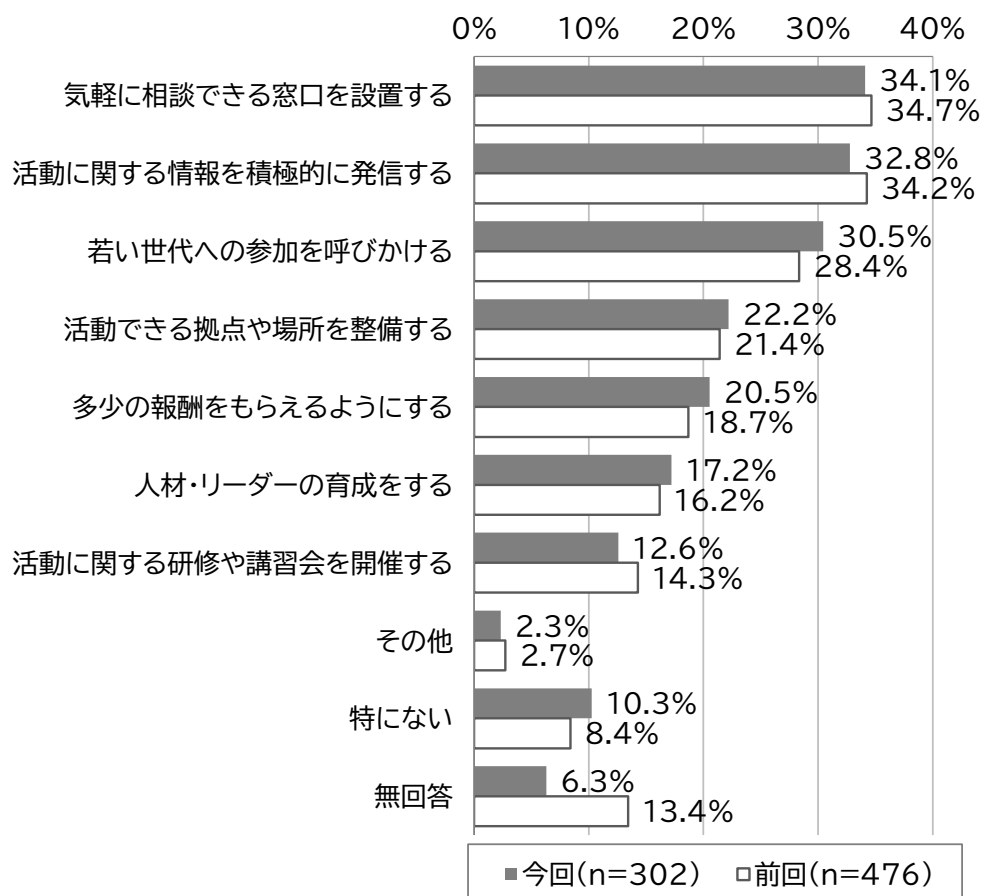
- いま行政で求めていることは？
- 小学校での読み聞かせ
- 自然保護活動

■ 今回(n=152) □ 前回(n=197)

**問27 今後、新たな地域活動や新たなボランティア活動の輪を広げていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)**

今後新たな活動の輪を広げるために必要なことについては、「気軽に相談できる窓口を設置する」が34.1%で最も多く、ついで「活動に関する情報を積極的に発信する」が32.8%、「若い世代への参加を呼びかける」が30.5%となっています。

前回調査と比較は、大きな差は見られませんでした。



**【問 27 その他の記述】**

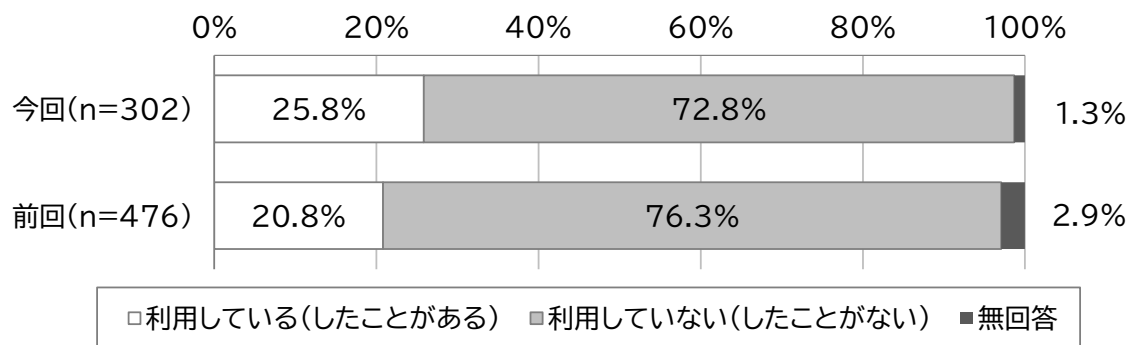
- 学校の授業で生徒指導
- 高齢化している地域、人口減地域なので難しいかな。
- 近隣の人との良好な人間関係
- 現在の活動を文書や写真、HP でオープンに。
- 役場の職員が積極的になるべき。
- 情報発信を行う必要がある。認知なしでは行動なし。
- 参加してよかったとおもえるよう対価が必要
- 人間関係が基本と思う

## 7. 福祉サービスについて

問28 あなたやあなたの家族のうちで、福祉サービスを利用していますか(したことがありますか)。(ひとつだけ○)

福祉サービスの利用については、「利用している(したことがある)」が25.8%、「利用していない(したことがない)」が72.8%となっています。

前回調査と比較すると、「利用している(したことがある)」が前回より5.0ポイント多くなっています。



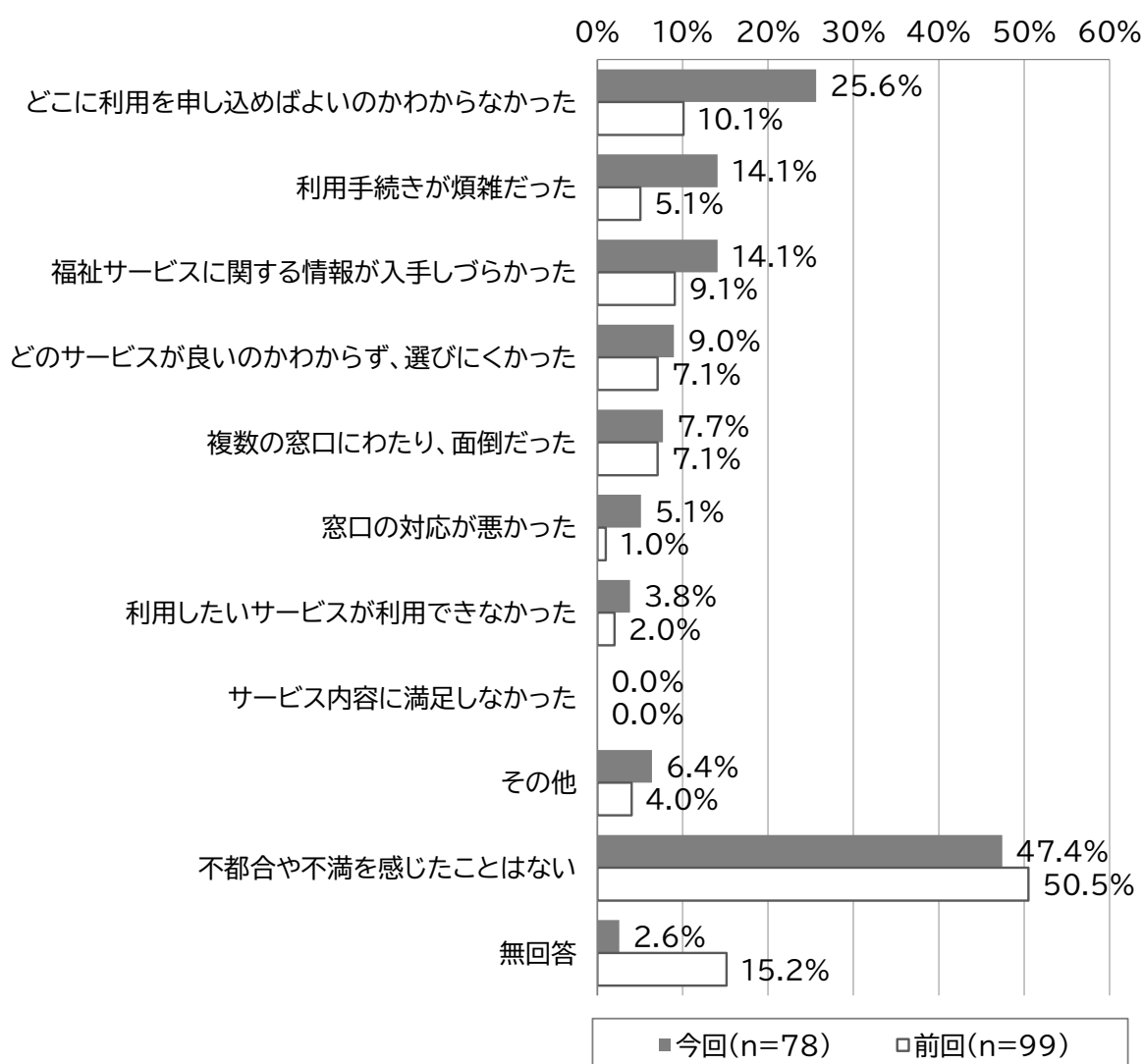
問28-(1) 問28で「利用している(したことがある)」を選ばれた方におたずねします。

あなたやあなたの家族のなかで、福祉サービスの利用に関して、これまでに不都合を感じたり不満に思ったりしたことはありますか。ある場合には、どのようなことですか。

(〇は3つまで)

福祉サービスの利用に関して不都合や不満については、「どこに利用を申し込めばよいのかわからなかった」が25.6%で最も多く、ついで「利用手続きが煩雑だった」「福祉サービスに関する情報が入手しづらかった」がそれぞれ14.1%となっています。また「不都合や不満を感じたことはない」が47.4%となっています。

前回調査と比較すると、「どこに利用を申し込めばよいのかわからなかった」が前回より15.5ポイント多くなっています。





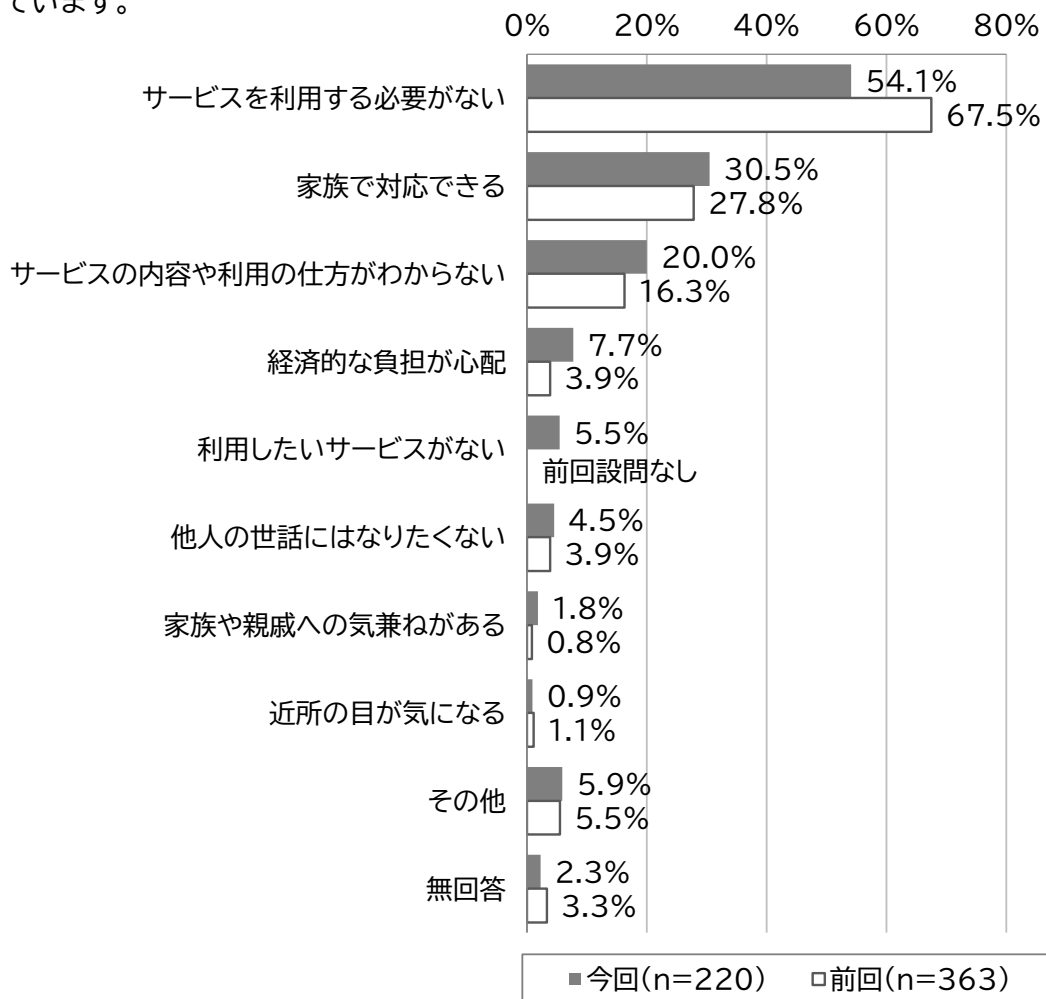
**【問 28-1 その他の記述】**

- 車イスを利用したとき、本人（高齢者の祖母（足がわるい）をつれていくのが大変だった。
- 車両の乗降時 手だすげがない。
- 利用しているが内容は知らない。
- 認知症の人に対するサービスがなかった。
- 窓口は複数ありましたがどこも親切でした。

問28-(2) 問28で「利用していない(したことがない)」を選ばれた方におたずねします。  
 あなたが福祉サービスを利用しない理由は何ですか。(〇は3つまで)

福祉サービスを利用していない理由については、「サービスを利用する必要がない」が54.1%で最も多く、ついで「家族で対応できる」が30.5%、「サービスの内容や利用の仕方がわからない」が20.0%となっています。

前回調査と比較すると、「サービスを利用する必要がない」が前回より13.4ポイント少なくなっています。



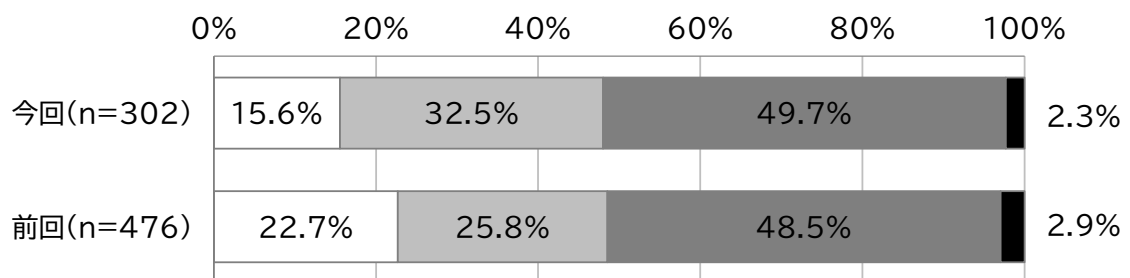
**【問 28-2 その他の記述】**

- 要介護認定申請中、福祉サービス利用予定
- 福祉サービス？
- 今現在、必要としていない。
- 現在必要ない。
- コロナ過でサービス内容が難しいと保留になった。
- 今のところ必要ない。
- どのようなものか知らない。
- 今は必要ない。
- 福祉サービス自体がいまいちわからない。
- まだ健康であるため。
- 必要性がない。
- 今は不要。

**問29 あなたは、あなたが住んでいる地区を担当している民生委員・児童委員を知っていますか。(ひとつだけ○)**

地区を担当している民生委員・児童委員の認知度については、「名前も活動内容も知っている」が 15.6%、「名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」が 32.5%、「名前も活動内容も知らない」が 49.7%となっています。

前回調査と比較すると、「名前も活動内容も知っている」が前回より 7.1 ポイント少なく、「名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」が前回より 6.7ポイント多くなっています。

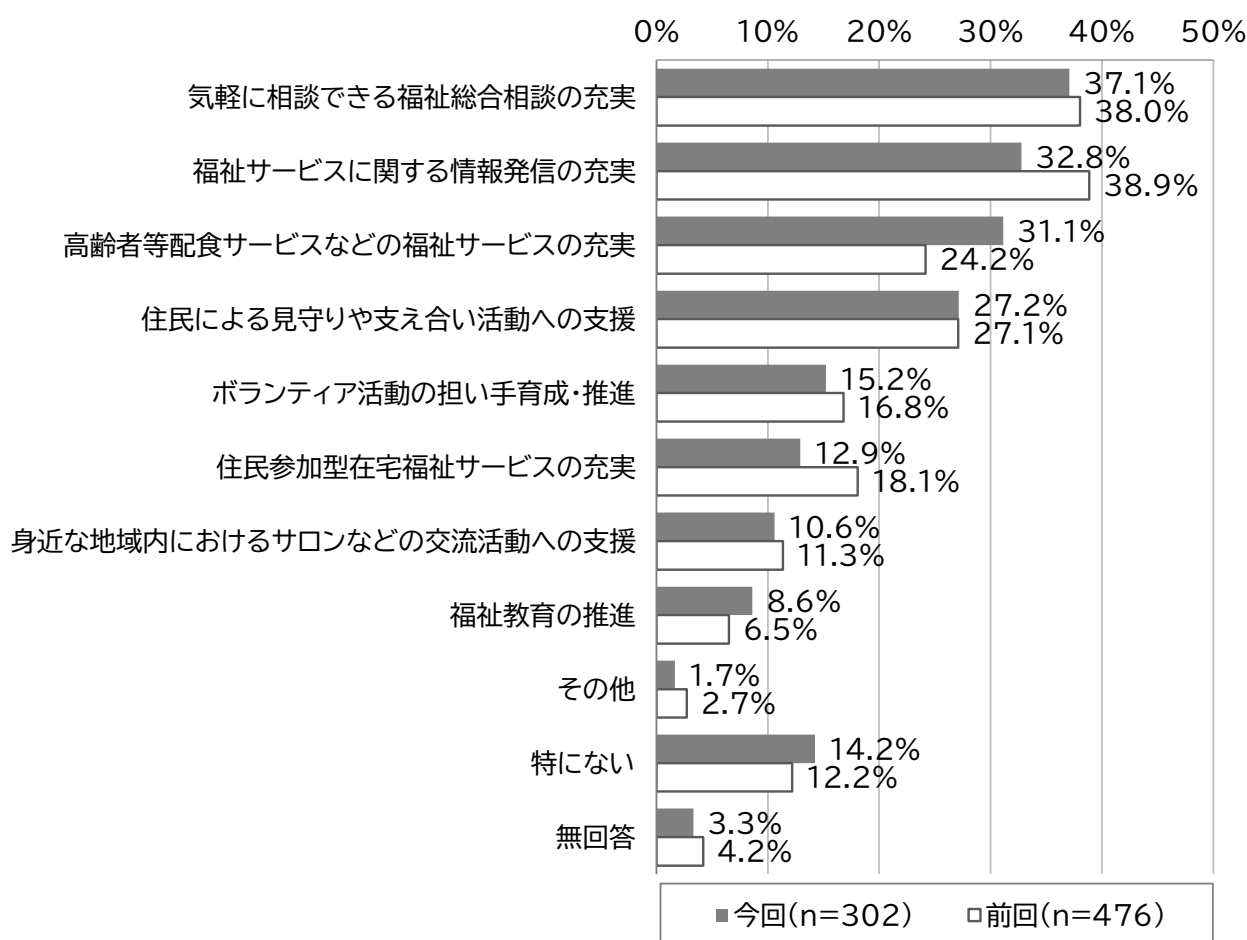


- 名前も活動内容も知っている
- 名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない
- 名前も活動内容も知らない
- 無回答

問30 地域の福祉推進を図るために諸活動を行っている社会福祉協議会という組織があります。社会福祉協議会が行う活動・支援として、今後、充実してほしいものはどれですか。(〇は3つまで)

社会福祉協議会の今後充実してほしい活動・支援については、「気軽に相談できる福祉総合相談の充実」が 37.1%で最も多く、ついで「福祉サービスに関する情報発信の充実」が 32.8%、「高齢者等配食サービスなどの福祉サービスの充実」が 31.1%となっています。

前回調査と比較すると、「高齢者等配食サービスなどの福祉サービスの充実」が前回より 6.9 ポイント多くなっています。



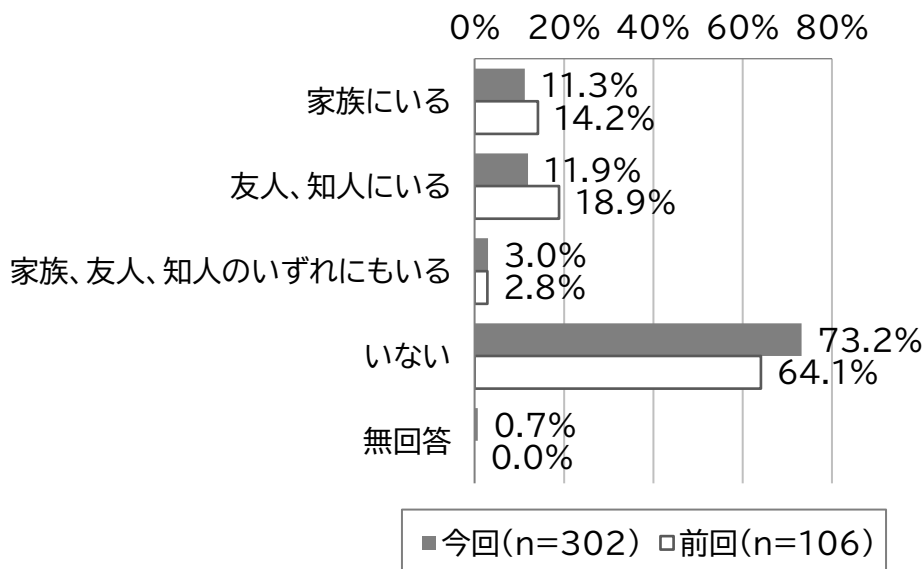
#### 【問 30 その他の記述】

- 何を行っている所なのか、全然わからないので・・・。
- 居食住全般
- 児童館、保育所の新設を通して待機児童ゼロをアピールしていく。
- 何をしているのかを知る方法は？
- 文化、スポーツ活動。
- 事業・サービスの広報・周知
- 全く分からない。現状

**問31 あなたのご家族や友人、知人に、障がいがある方がいますか。(1つに○)**

ご家族や友人、知人に、障がいがある方がいるかについては、「いない」が73.2%「家族に  
いる」が11.3%、「友人、知人にいる」が11.9%となっています。

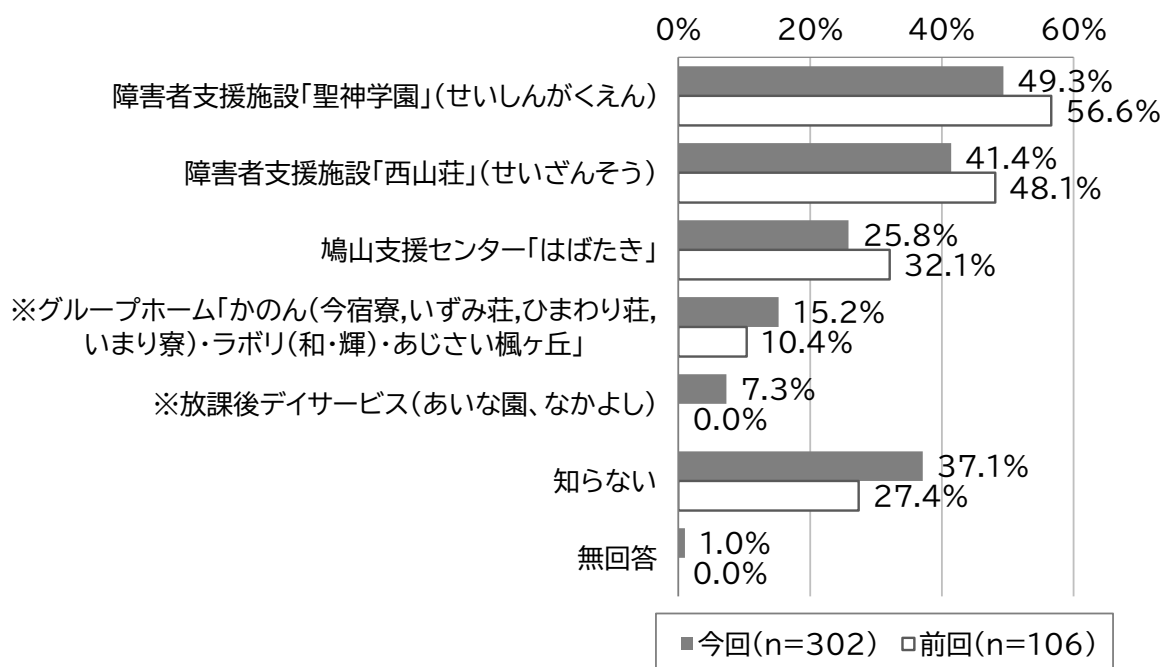
前回調査と比較すると、「いない」が前回より9.0ポイント多くなっています。



**問32 あなたは、鳩山町内にある障がい者関係施設をご存知ですか。(知っているものすべてに○)**

町内にある障がい者関係施設の認知度については、「障害者支援施設「聖神学園」(せいしんがくえん)」が49.3%で最も多く、ついで「障害者支援施設「西山荘」(せいざんそう)」が41.4%、「鳩山支援センター「はばたき」」が25.8%となっています。また、「知らない」が37.1%となっています。

前回調査と比較すると、「知らない」が前回より9.7ポイント多くなっています。



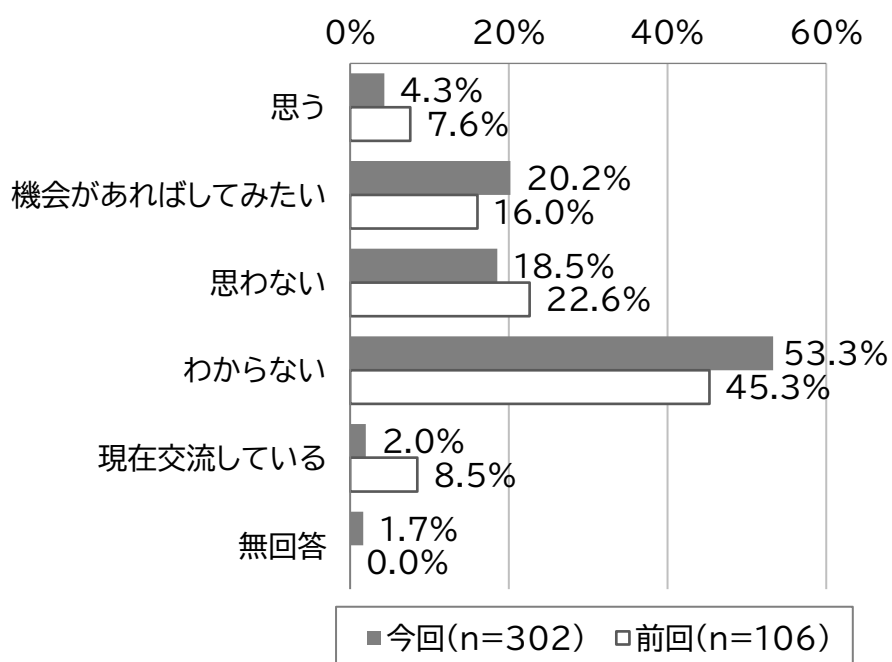
※グループホーム／地域において共同生活を営むのに支障のない知的障がい者や精神障がい者が、日常生活における援助等を受けながら自立して生活する施設。

※放課後等デイサービス／学校に就学している障がい児に、授業の終了後又は休業日に児童発達支援センター等で、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進等の支援を行います。

**問33 あなたは今後、障がいがある方と交流したいと思いますか。(1つに○)**

今後、障がいがある方と交流したいかについては、「わからない」が 53.3%、「機会があればしてみたい」が 20.2%となっています。

前回調査と比較すると、「わからない」が前回より 8.0 ポイント多くなっています。



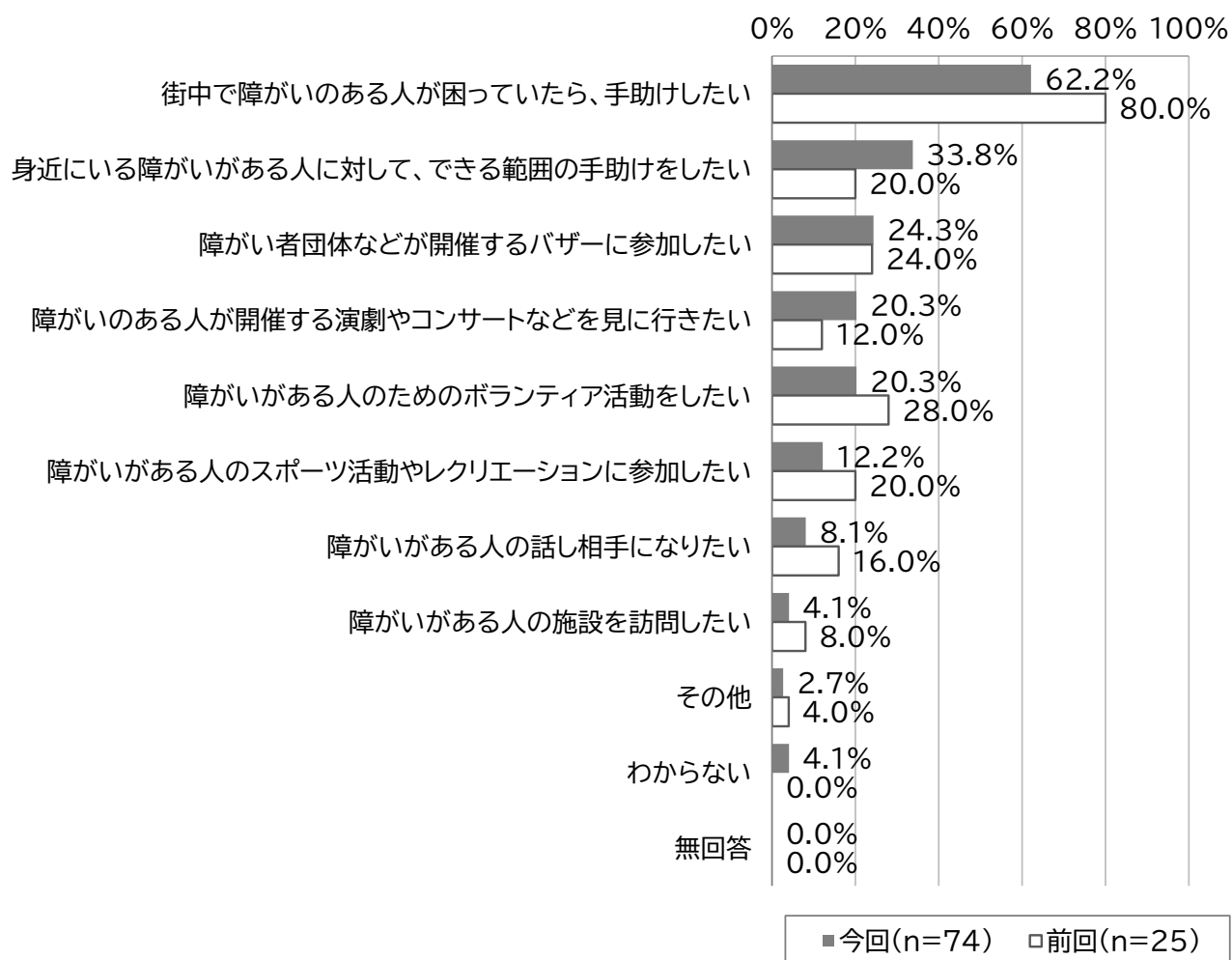
**【問 33 その他の記述】**

- 農産物無人販売所に出品する仲間
- 障害者入所施設で働いている。
- 仕事上のやり取り(病院に)
- 施設職員
- サークル活動

**問33-1 問33で「思う」または「機会があればしてみたい」とお答えの方へお聞きします。  
どのような交流をしたいと思いますか。(3つまでに○)**

どのような交流をしたいかについては、「街中で障がいのある人が困っていたら、手助けしたい」が 62.2%で最も多く、ついで「身近にいる障がいがある人に対して、できる範囲の手助けをしたい」が 33.8%、「障がい者団体などが開催するバザーに参加したい」が 24.3%となっています。

前回調査と比較すると、「身近にいる障がいがある人に対して、できる範囲の手助けをしたい」が前回より 13.8 ポイント多くなっています。



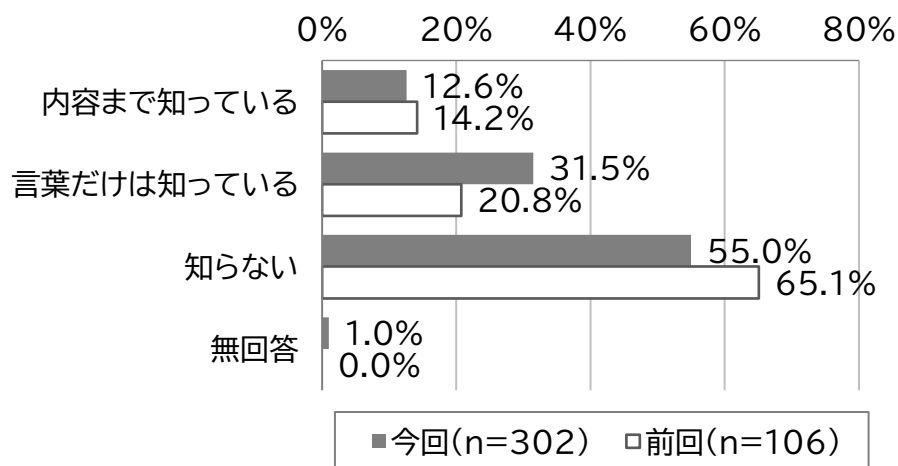
**【問 33-1 その他の記述】**

- アートを見てみたい

問34 障がいがある人が、障がいがない人と同じように、ともに地域の中で普通の生活をしていくことができる社会にすべきという考え方を「ノーマライゼーション」といいますが、あなたはこの言葉を知っていますか。(1つに○)

ノーマライゼーションの認知度については、「知らない」が 55.0%、「言葉だけは知っている」が 31.5%、「内容まで知っている」が 12.6%となっています。

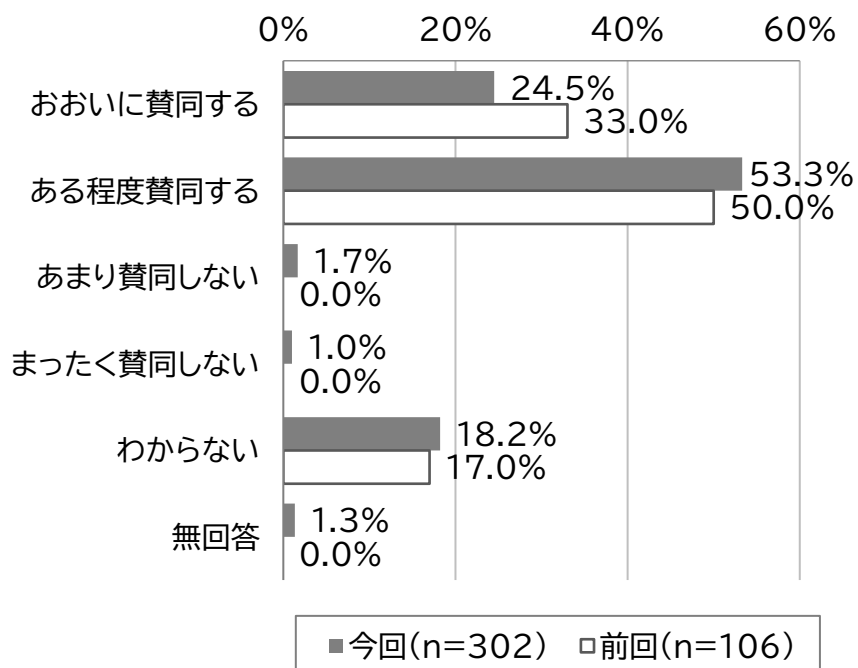
前回調査と比較すると、「言葉だけは知っている」が前回より 10.7ポイント多くなっています。



問35 あなたは、この「ノーマライゼーション」という考え方について、どのように思いますか。(1つに○)

ノーマライゼーションという考え方については、「おおいに賛同する」と「ある程度賛同する」を合わせて『賛同する』が 77.8%となっています。

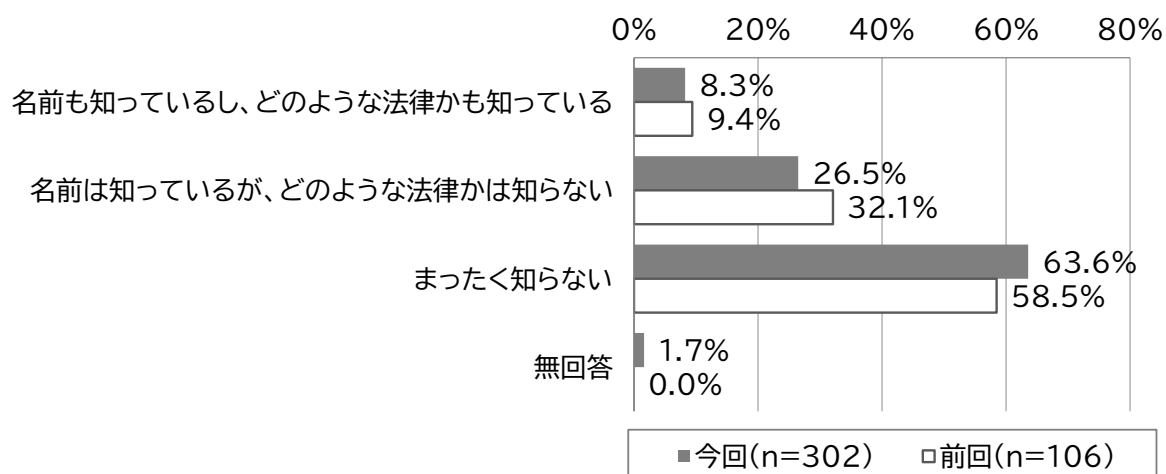
前回調査と比較すると、「ある程度賛同する」が前回より 3.3ポイント多くなっています。



**問36 障がいがある人に対する不当な差別的取扱い及び合理的配慮の不提供を差別と規定する「障害者差別解消法」が平成 28 年4月(令和3年5月改正)に施行されました。あなたは、このことについて知っていますか。(1つに○)**

障害者差別解消法の認知度については、「まったく知らない」が 63.6%、「名前は知っているが、どのような法律かは知らない」が 26.5%、「名前も知っているし、どのような法律かも知っている」が 8.3%となっています。

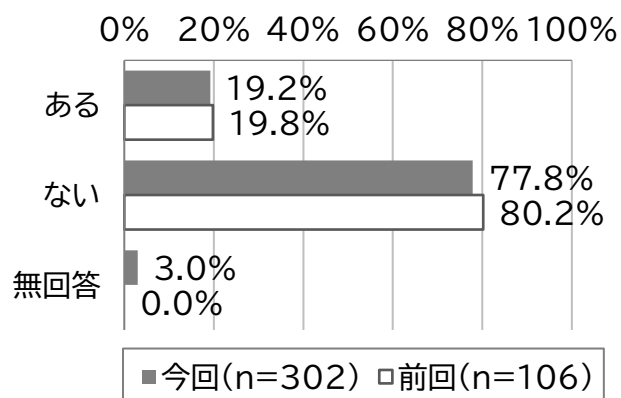
前回調査と比較すると、「まったく知らない」が前回より 5.1 ポイント多くなっています。



**問37 あなたは、障がいのある人が差別や嫌な思いをする(した)場面に遭遇したことがありますか。**

障がいのある人が差別や嫌な思いをする(した)場面に遭遇したことがあるかについては、「ない」が 77.8%、「ある」が 19.2%となっています。

前回調査と比較すると、同様の結果となっています。



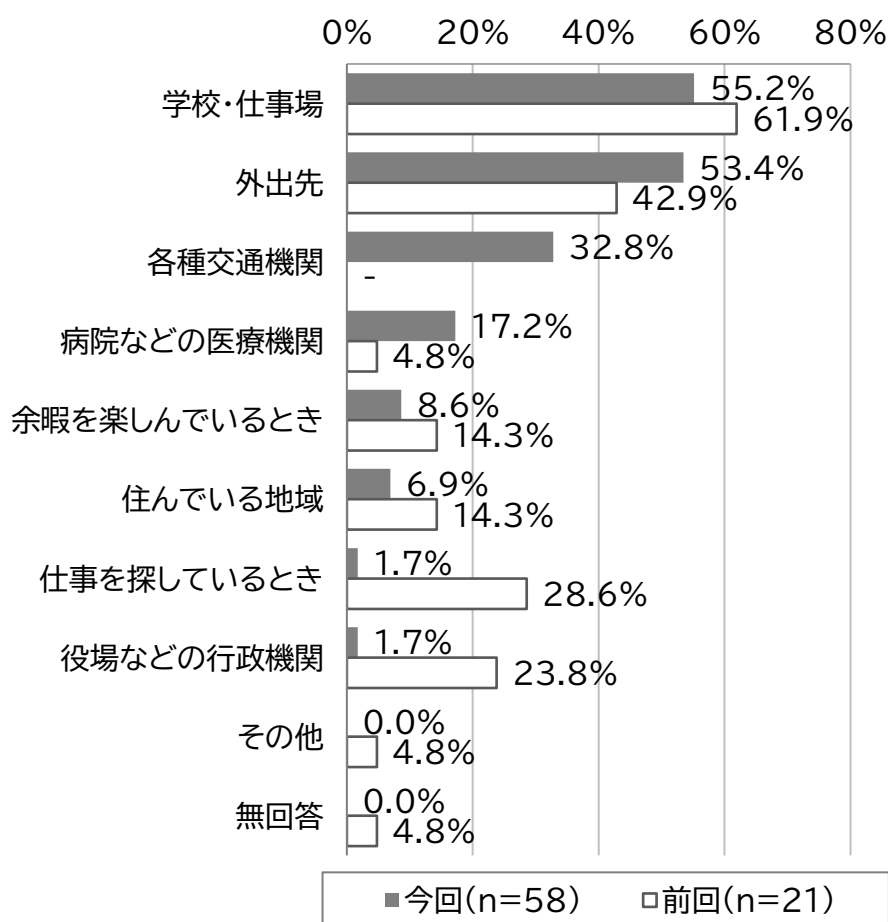


問37-1 問37で、「ある」と回答された方にお聞きします。

どのような場所で、障がいのある人が差別を受けた場面に遭遇しましたか。(該当する番号すべてに○をつけてください)

どのような場所で、障がいのある人が差別を受けた場面に遭遇したかについては、「学校・仕事場」が55.2%で最も多く、ついで「外出先」が53.4%、「各種交通機関」が32.8%となっています。

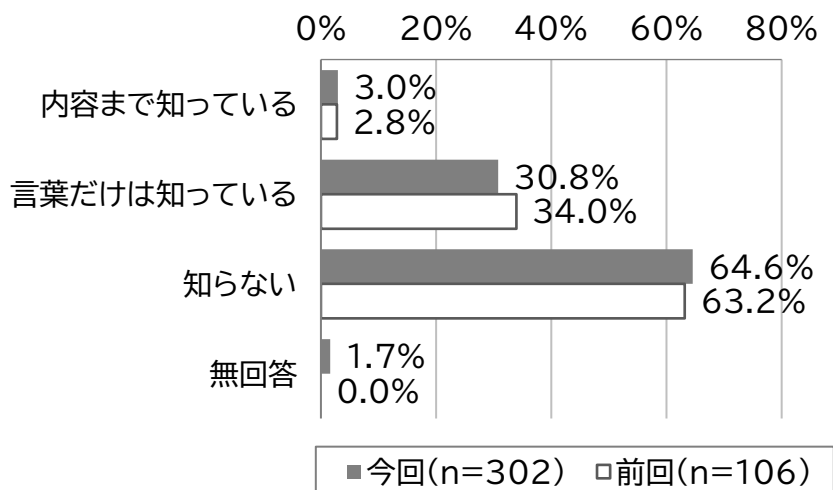
前回調査と比較すると、「外出先」「病院などの医療機関」が前回より多くなっています。



**問38 障害者総合支援法(平成24年度以前の障害者自立支援法)をご存知ですか。**  
(1つに○)

障害者総合支援法の認知度については、「知らない」が 64.6%、「言葉だけは知っている」が 30.8%、「内容まで知っている」が 3.0%となっています。

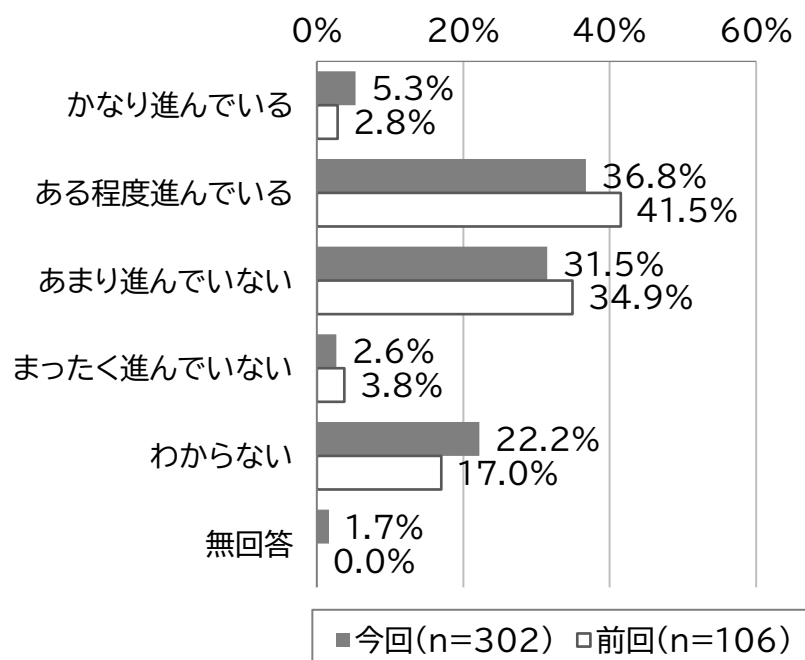
前回調査と比較すると、同様の結果となっています。



**問39 ここ数年、社会の中で障がい者に対する理解・協力は進んでいると思いますか。**  
(1つに○)

障がい者に対する理解・協力は進んでいるかについては、「かなり進んでいる」と「ある程度進んでいる」を合わせて『進んでいる』が 42.1%、「まったく進んでいない」と「あまり進んでいない」を合わせて『進んでいない』が 34.1%となっており、やや『進んでいる』が多くなっています。

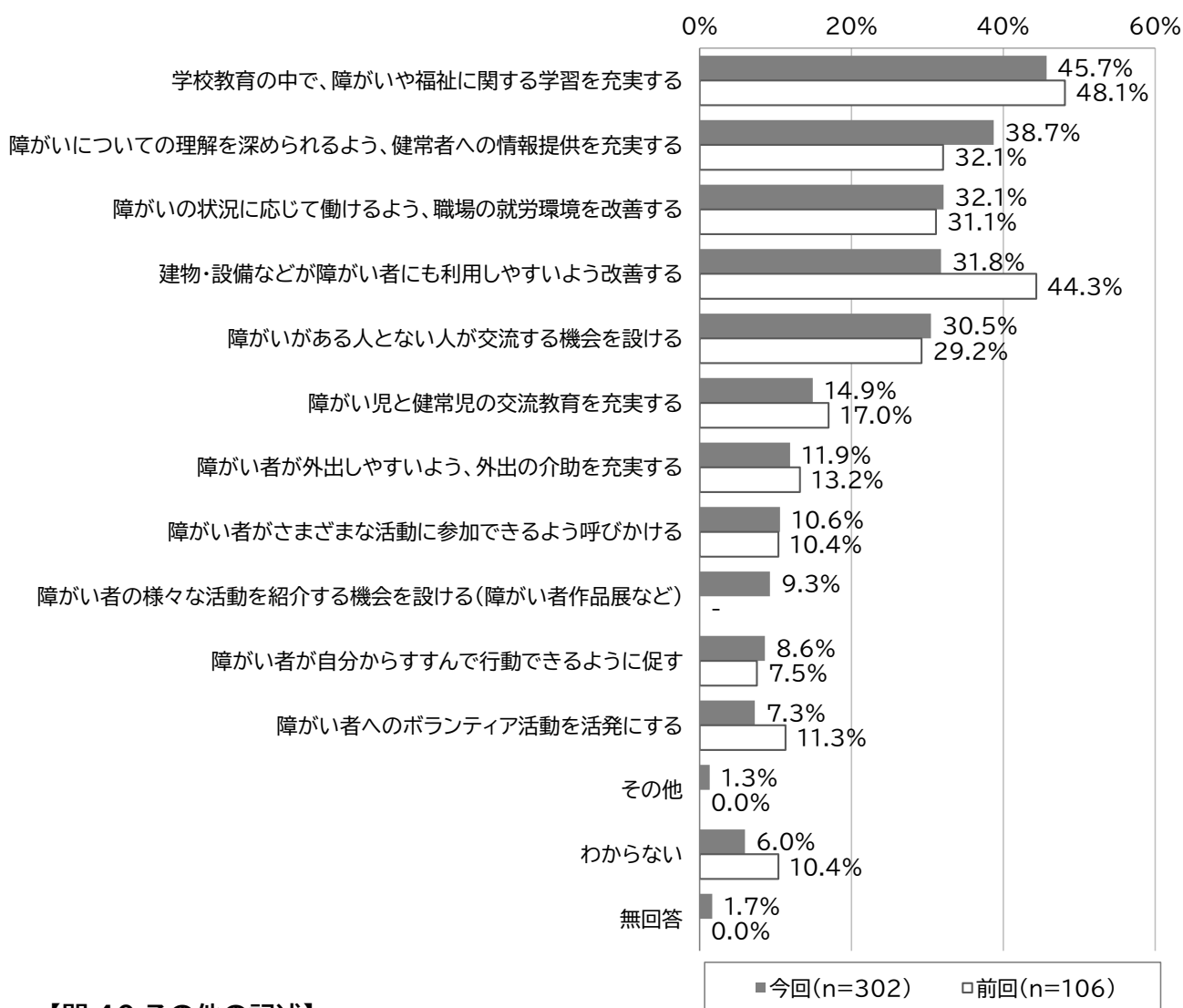
前回調査と比較すると、「わからない」が前回より 5.2 ポイント多くなっています。



**問40 障がいがある人とない人がお互いに理解し合い、共に生きる社会をつくっていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまでに○)**

お互いに理解し合い、共に生きる社会をつくるために必要なことについては、「学校教育の中で、障がいや福祉に関する学習を充実する」が 45.7%で最も多く、ついで「障がいについての理解を深められるよう、健常者への情報提供を充実する」が 38.7%、「障がいの状況に応じて働けるよう、職場の就労環境を改善する」が 32.1%となっています。

前回調査と比較すると、「障がいについての理解を深められるよう、健常者への情報提供を充実する」が前回より 6.6 ポイント多くなっています。



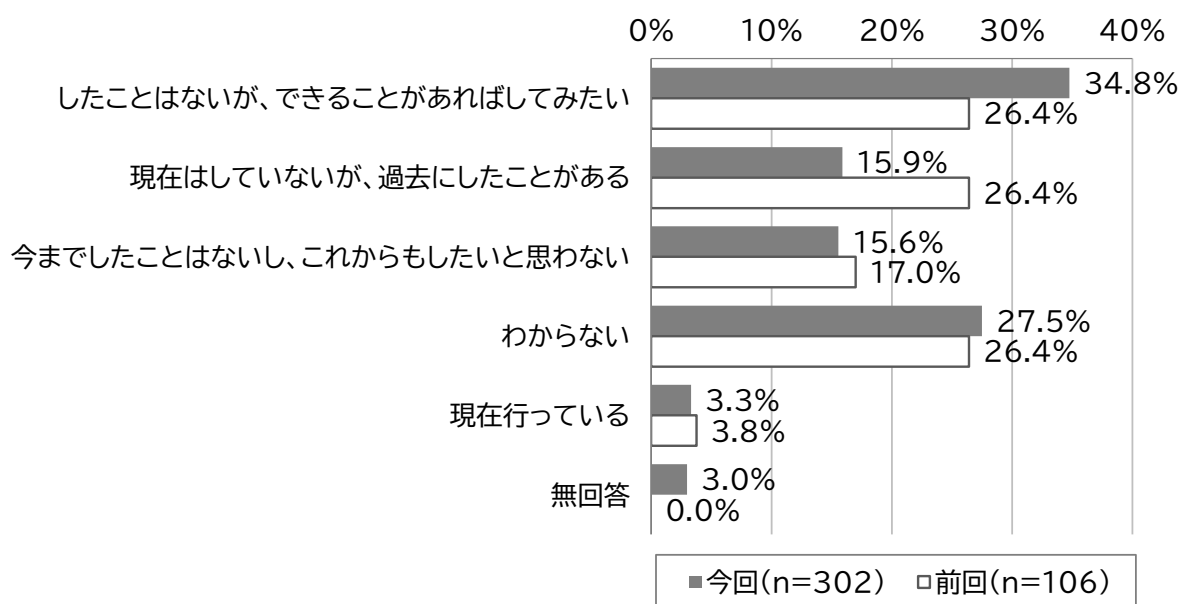
**【問 40 その他の記述】**

- 相互型
- 障がい（いろいろあると思いますが）者自身の希望や積極的な参加も必要で大切なのは。
- 障害者は特別扱いを求めない。
- インターナショナルな勉強をする。（英語やインド語など）日本人以外を接する機会を設ける。

**問41 あなたは現在、障がい者や高齢者の手助けなどのボランティア活動を行っていますか。(1つに○)**

あなたはボランティア活動をしているかについては、「したことはないが、できることがあればしてみたい」が 34.8%で最も多く、ついで「現在はしていないが、過去にしたことがある」が 15.9%、「今までしたことはないし、これからはしたいと思わない」が 15.6%となっています。また、「現在行っている」は 3.3%となっています。

前回調査と比較すると、「したことはないが、できることがあればしてみたい」が前回より 8.4 ポイント多くなっています。



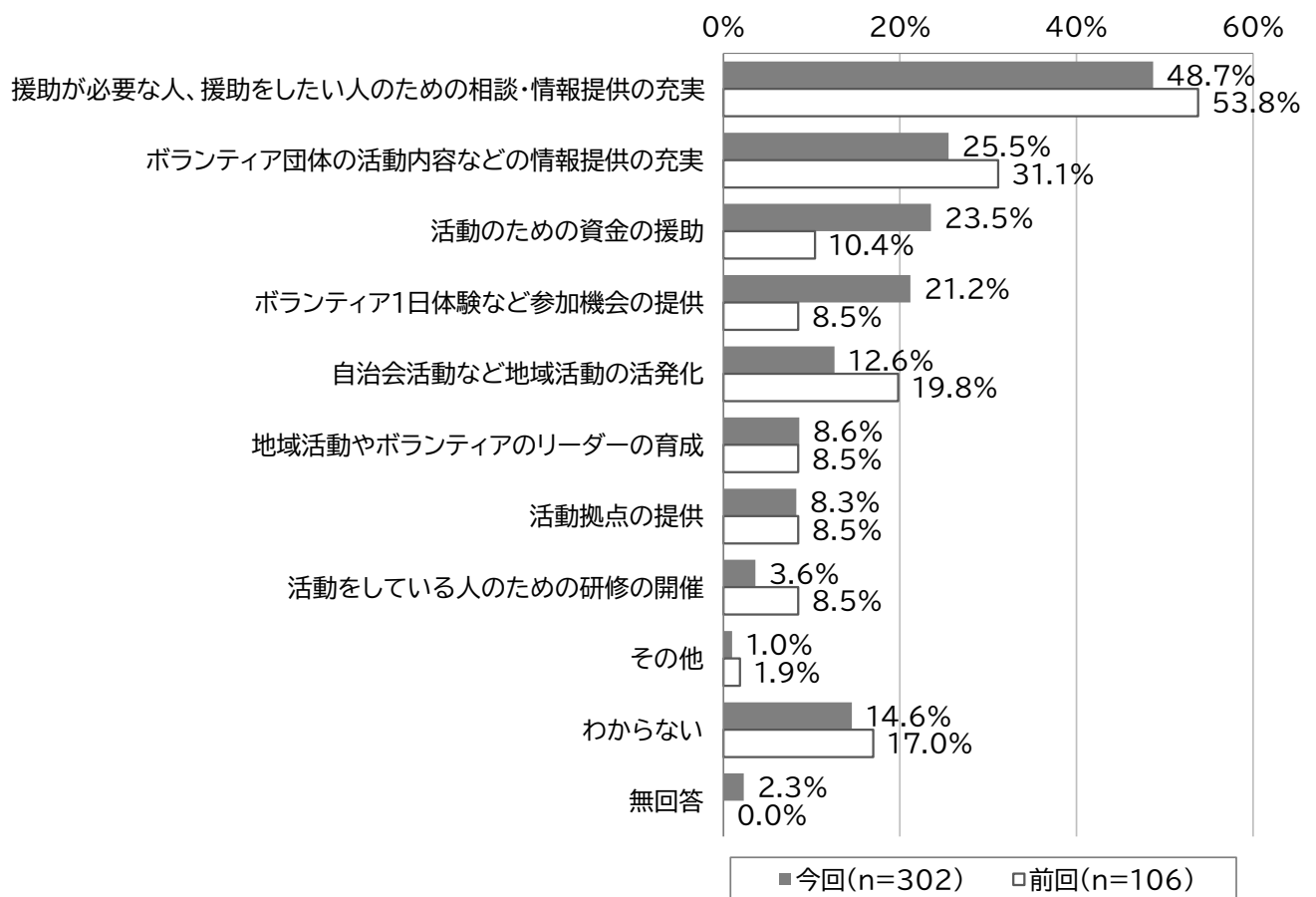
**【問 41 その他の記述】**

- 自分の親の介護で手いっぱいです。
- 近所のゴミ出し
- 高齢者の方への通院、買物等の外出支援や各種家事支援活動
- 介護
- 体操教室、お話相手、お掃除
- 夫の介護支援をしている。
- 近くに住む母(97歳)の生活全般の支援
- ゴミ出し
- 場内で要望があれば(宿泊、映画、買い物等)
- 近所の認知症の方、見守りや話し相手になっている。
- 高齢者の見守り、声掛け

**問42 地域での助け合いやボランティア活動を今後活性化していくためには、どのようなことが大切だと思いますか。(2つまでに○)**

地域での助け合いやボランティア活動を今後活性化するために大切なことについては、「援助が必要な人、援助をしたい人のための相談・情報提供の充実」が 48.7%で最も多く、ついで「ボランティア団体の活動内容などの情報提供の充実」が 25.5%、「活動のための資金の援助」が 23.5%となっています。

前回調査と比較すると、「活動のための資金の援助」が前回より 13.1 ポイント、「ボランティア1日体験など参加機会の提供」が 12.7 ポイント多くなっています。



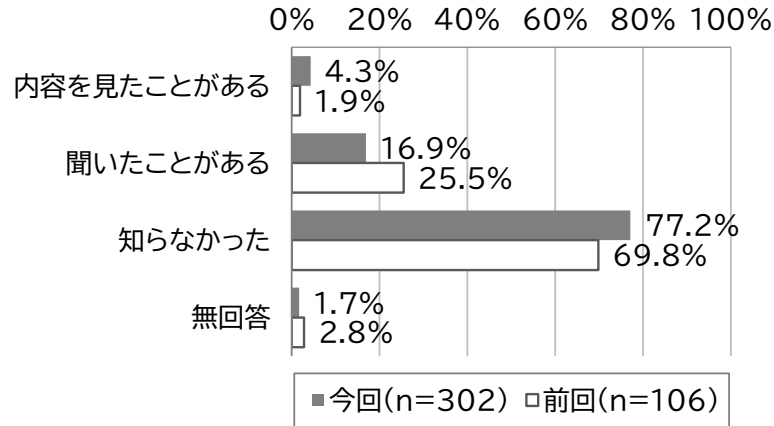
**【問 42 その他の記述】**

- ボランティアの基本原則があったと思う。それに従うべきだと思う。
- 情報発信
- 地域内で人同士が仲良くなれば活動は活発化できる。親しく付き合ってる知り合いがいないと参加しようという気にはならないと思う。

**問43 あなたは、「鳩山町障がい者福祉計画」を知っていますか。(1つに○)**

鳩山町障がい者福祉計画の認知度については、「知らなかった」が 77.2%、「聞いたことがある」が 16.9%、「内容を見たことがある」が 4.3%となっています。

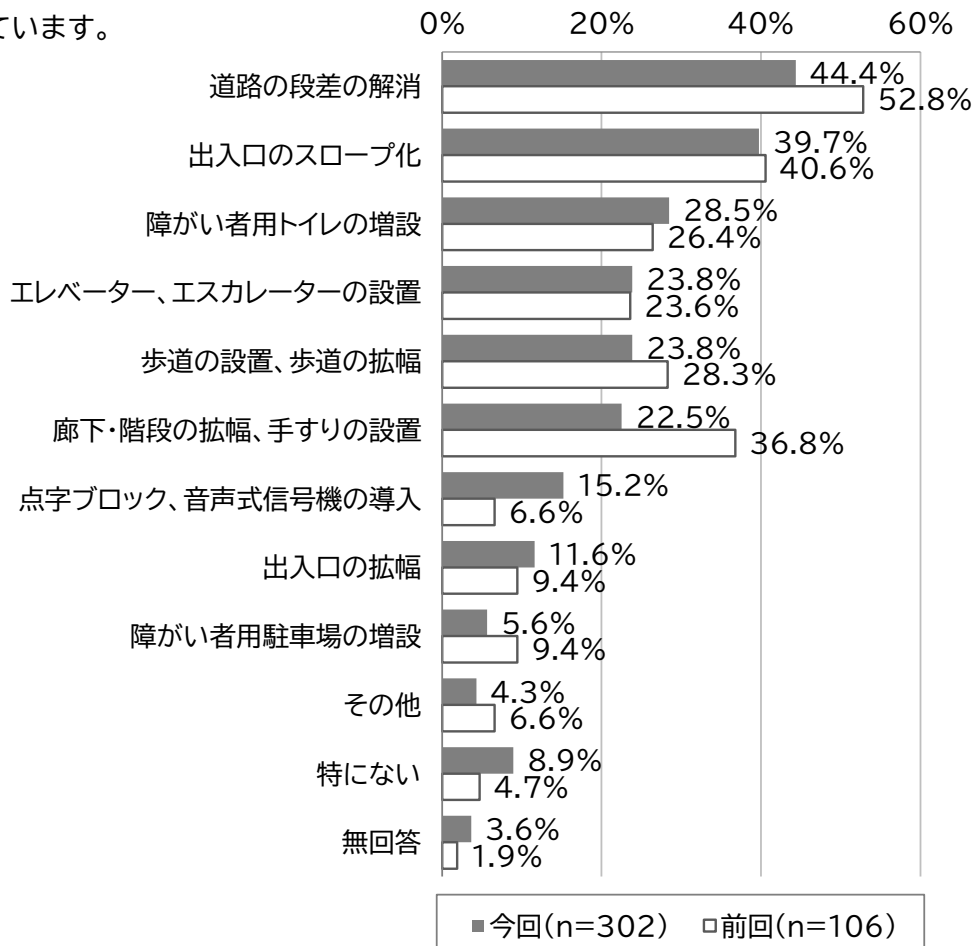
前回調査と比較すると、「知らなかった」が前回より 7.4 ポイント多くなっています。



**問44 障がい者や高齢者が利用しやすいようにするために、町内の公共施設で特に改善すべきだと思うのはどのようなことですか。(3つまでに○)**

障がい者や高齢者が利用しやすいように町内の公共施設で改善すべき点については、「道路の段差の解消」が 44.4%で最も多く、ついで「出入口のスロープ化」が 39.7%、「障がい者用トイレの増設」が 28.5%となっています。

前回調査と比較すると、「点字ブロック、音声式信号機の導入」が前回より 8.6 ポイント多くなっています。



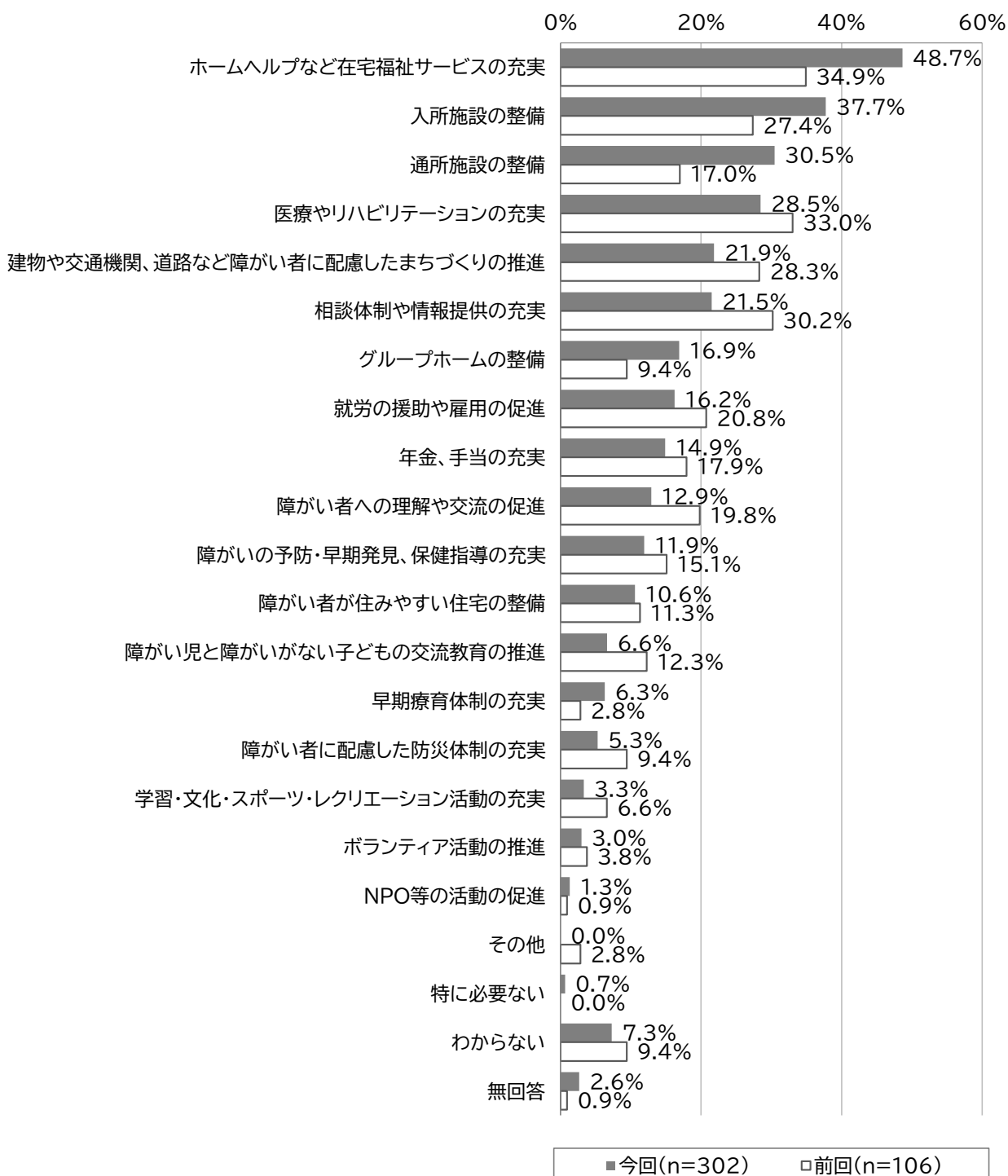
#### 【問 44 その他の記述】

- 受付案内
- 中央公民館の大ホールの大ホール座席の通りのスペースがせまい。(車いすなど) また、階段が多いから、一部をスロープ化できないか。
- 職員の対応
- 案内係の人の設置。対応する人の教育、育成
- 必要なことは総じて実施
- 障害者の意見を聞くのが1番だと思います。
- 歩道が狭く木や草で通れなくなっているところが多いのをまずどうにかするべきだと思う
- 電車を通す。(インフラ)誰でも使用しやすい
- 分からない×2
- 休憩場所の充実
- 障害とか関係なく誰がいても声をかけたり話しやすい環境作りが必要。
- 基本的に上記のすべてが必要では？
- 誰もがわかりやすい標識や、明るい色彩の雰囲気作り

問45 鳩山町で、障がいがある方のためにこれから特に力を入れるべきだと思う施策はどのようなことですか。(4つまでに○)

町で、障がいがある方のために特に力を入れるべきだと思う施策については、「ホームヘルプなど在宅福祉サービスの充実」が48.7%で最も多く、ついで「入所施設の整備」が37.7%、「通所施設の整備」が30.5%となっています。

前回調査と比較すると、「ホームヘルプなど在宅福祉サービスの充実」が前回より13.8ポイント、「通所施設の整備」が13.5ポイント多くなっています。





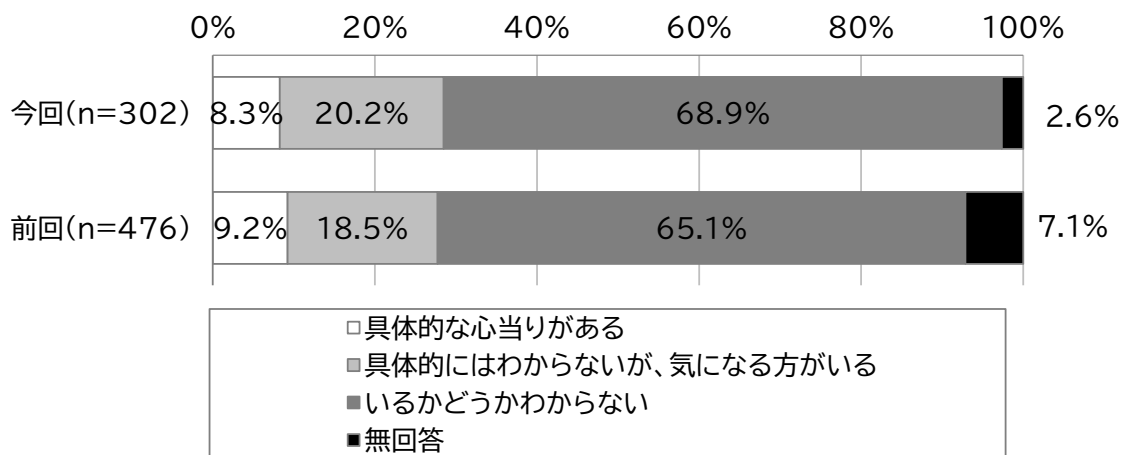
## 8. 住民による見守り活動について

以下の質問にある「日常生活に不安のある方」とは、相談相手や手助けが必要と思われるような高齢者、障がいのある方、子育て中の親子などのことです。

**問46 あなたのご近所で、「日常生活に不安のある方」はいらっしゃいますか。**  
(ひとつだけ○)

ご近所で、日常生活に不安のある方がいるかについては、「いるかどうか分からない」が68.9%、「具体的にはわからないが、気になる方がいる」が20.2%、「具体的な心当たりがある」が8.3%となっています。

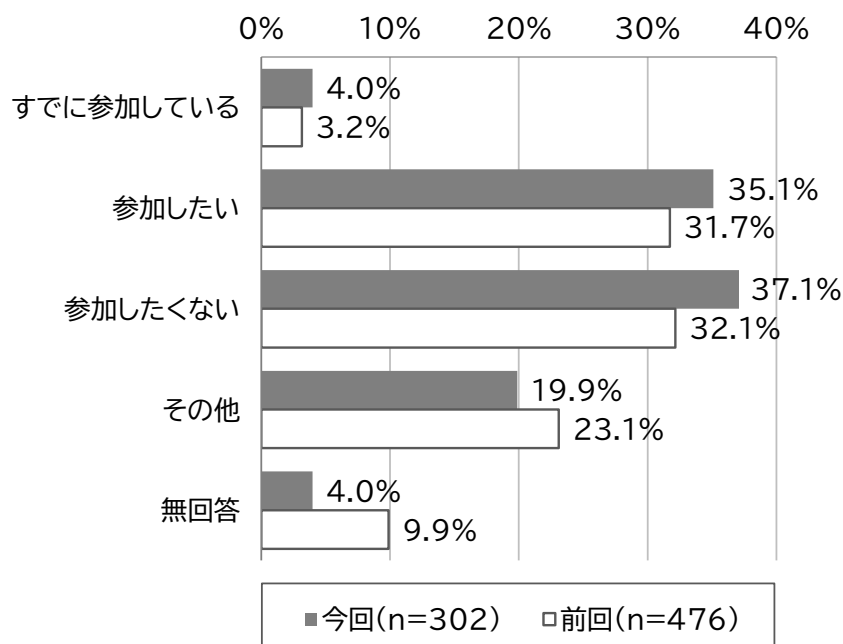
前回調査と比較は、大きな差は見られませんでした。



**問47 あなたのお住まいの地域での「日常生活に不安のある方」への見守り活動や安否確認、声かけ活動などに、あなたは参加したいと思いますか。**(ひとつだけ○)

見守り活動や安否確認、声かけ活動などに、参加したいかについては、「参加したくない」が37.1%、「参加したい」が35.1%、「すでに参加している」が4.0%となっています。

前回調査と比較すると、「参加したくない」が前回より5.0ポイント、「参加したい」が3.4ポイント多くなっています。



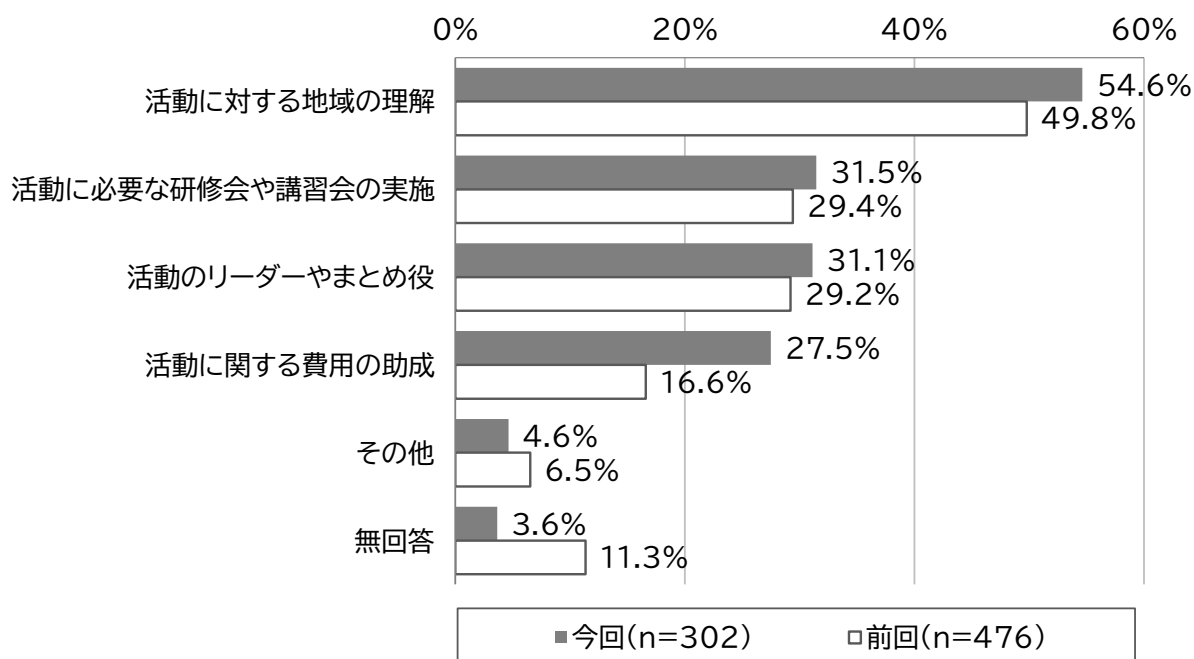
**【問 47 その他の記述】**

- 家族に要介護者がいる。
- 時間がない× 2
- 民生委員に名前は登録している。
- 時間的に難しい。
- 自分に負担にならない程度なら参加してもよい。
- 忙しくて出来ない。
- 家庭の中に入りにくい。
- 今は仕事（パート）で参加できないが仕事をやめたらしたいと思う。）
- わからない× 3
- 要望があればしてもよい
- 今はできない
- 仕事を持っている為
- 時間がある時は参加
- 病気になってしまったので一時休戦です。
- 必要に応じて参加
- していると思う。
- 余裕があれば参加したい。
- 気になれば行こう。
- 自分の生活の時間に余裕がない
- 状況によって
- 参加したいが体力的に自信がない

**問48 日常生活に不安のある方への見守り活動や安否確認、声かけ運動などを参加しやすくするために、必要と思うことは次のうちどれですか。(〇は2つまで)**

見守り活動や安否確認、声かけ運動などを参加しやすくするために、必要と思うことについては、「活動に対する地域の理解」が 54.6%で最も多く、ついで「活動に必要な研修会や講習会の実施」が 31.5%、「活動のリーダーやまとめ役」が 31.1%となっています。

前回調査と比較すると、「活動に関する費用の助成」が前回より 10.9 ポイント、「活動に対する地域の理解」が 4.8 ポイント多くなっています。



**【問 48 その他の記述】**

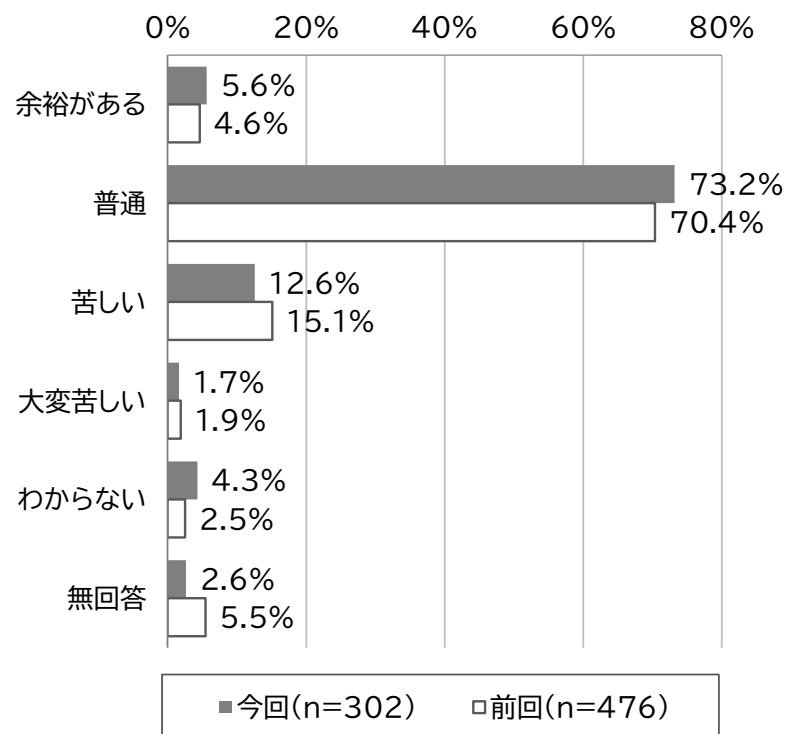
- わからない×3
- 不安のある方が助けて欲しいと手を上げ易いように/オープン化の理解
- 自治会に協力をお願い
- 必要なことは総じて実施
- 不安のあるほうが声を上げやすい。遠慮させない方法を何か？
- いい雰囲気町の作り。マナーが悪い人、迷惑な人がいるようでは難しい。
- 余力が必要でしょうから

## 9. 現在の生活状況等について

### 問49 あなたの現在の生活状況はどのような状況ですか。(ひとつだけ○)

現在の生活状況については、「普通」が73.2%、「苦しい」が12.6%、「余裕がある」が5.6%となっています。

前回調査と比較は、大きな差は見られませんでした。

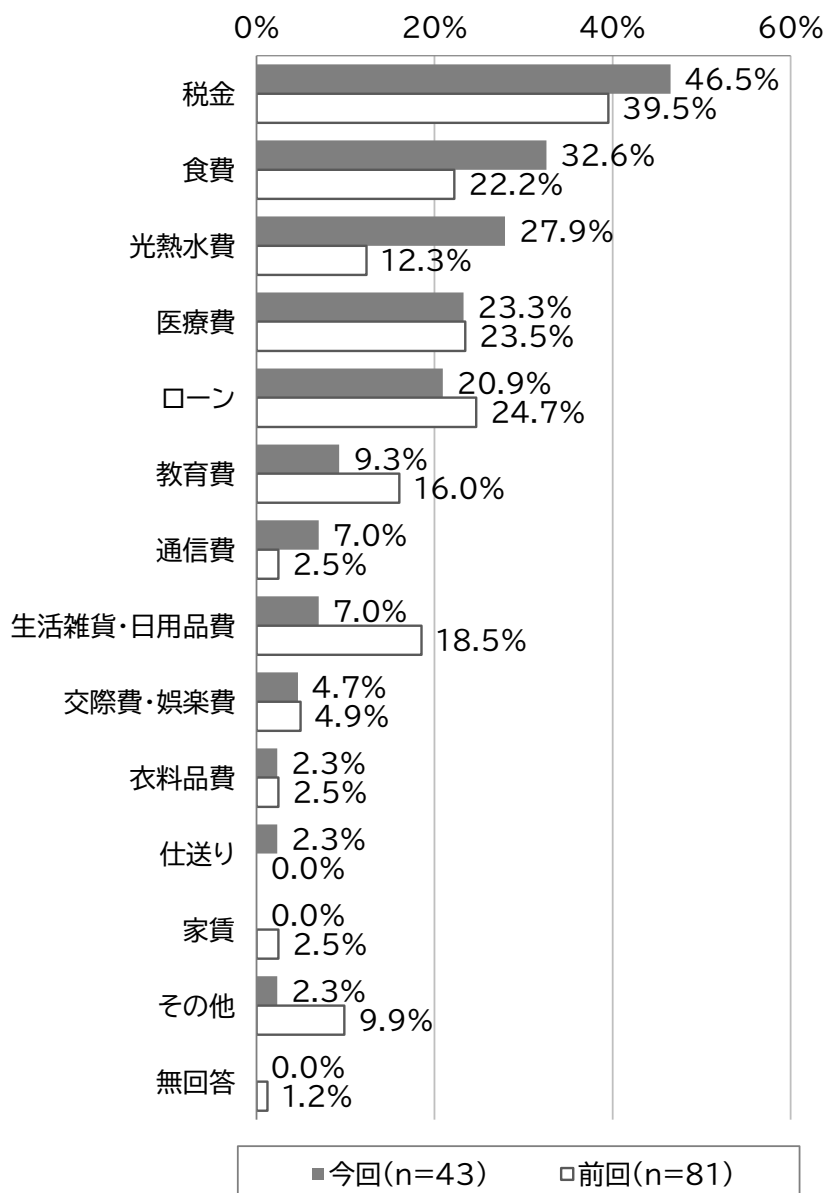


問49-(1) 問49で「苦しい」または「大変苦しい」を選ばれた方におたずねします。

生活費の支出で、あなたが特に困っているのは次のうちどれですか。(○は2つまで)

生活費の支出で、特に困っていることについては、「税金」が46.5%で最も多く、ついで「食費」が32.6%、「光熱水費」が27.9%となっています。

前回調査と比較すると、「光熱水費」が前回より15.6ポイント多くなっています。また、「食費」や「税金」も前回より多くなっています。



【問49-1 その他の記述】

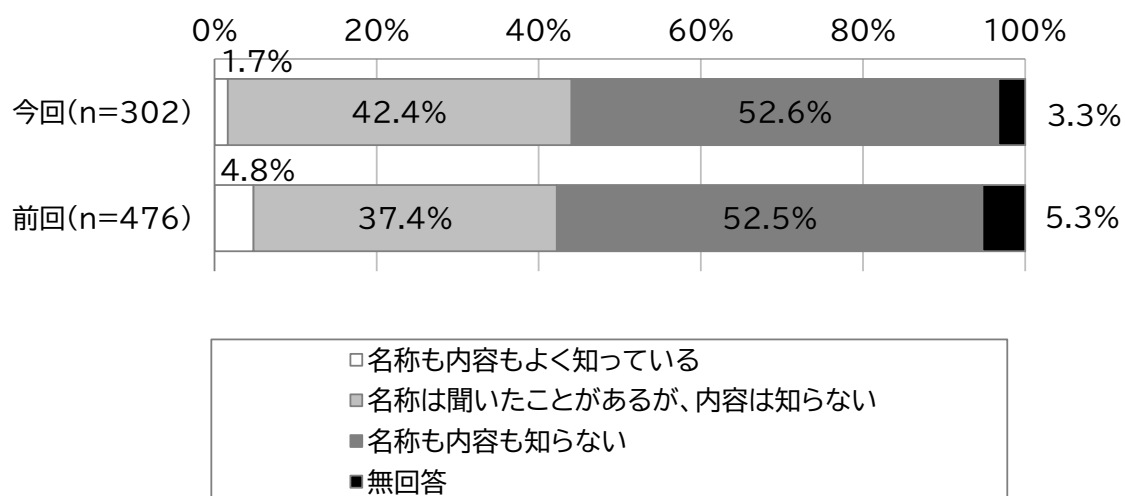
- 奨学金

**問50 あなたは、平成 27 年 4 月 1 日に施行した「生活困窮者自立支援法」を知っていますか。(ひとつだけ○)**

※生活困窮者：現に経済に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなる恐れがある者。(生活困窮者自立支援法より)

生活困窮者自立支援法の認知度については、「名称も内容も知らない」が 52.6%、「名称は聞いたことがあるが、内容は知らない」が 42.4%となっています。

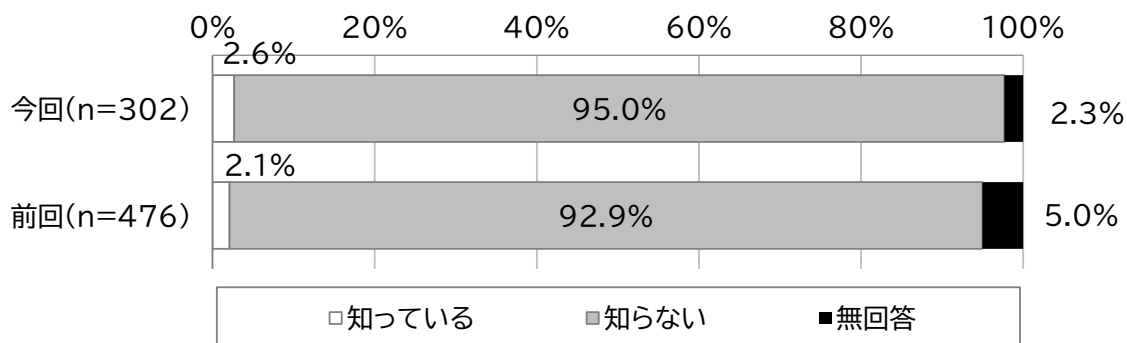
前回調査と比較すると、「名称は聞いたことがあるが、内容は知らない」が前回より 5.0 ポイント多くなっています。



**問51 生活困窮者自立支援法に基づく事業等の実施主体については、町村の場合は県となっております。あなたは、県が設置した相談窓口である、「アスポート相談支援センター埼玉西部毛呂山出張所」を知っていますか。(ひとつだけ○)**

アスポート相談支援センター埼玉西部毛呂山出張所の認知度については、「知らない」が 95.0%、「知っている」が 2.6%となっています。

前回調査と比較は、大きな差は見られませんでした。



## 10. 自由記述

問52 誰もが住みやすいまちづくりを進めていくためのご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

### ◎10 歳代の記述

- デマンドタクシーがあることは素晴らしいことだけど、利用している人が少ないと思う。使ってもらうための宣伝を活発化できないか。また、町の路線バスの利用も少ないし、本数も少ないので、本数を増やして、乗る人の人数を増やした方がいい。高齢者だけではなく、車を運転できない子どもや、妊娠の方なども利用できるような雰囲気になっていけば、乗る人の人数は増えていくと思います。日頃から、町をよくするための工夫や努力をして下さりありがとうございます。これからの町をよくするために真剣に答えたので、反映をよろしくおねがいします。☆家族にも聞いてみましたお店が少ないから、商店街の復活キャンペーンを行いたい（特に西友あたりの）（女性, 10 歳代）
- 鳩川の治水！（男性, 10 歳代）
- 防災アナウンスなど流れる際、流れているのはわかるが声があまり聞こえず何を言っているかわからない時がある。はっきり聞こえる様にしてほしい（スピーカーから距離があると特に）（男性, 10 歳代）
- このフォームについて：例えば「49 で 3 か 4 を答えた方は回答してください」とあるところが他の 2 や 1 などを回答していたとしても必ず入力を求められるのはおかしいと思う。作り込みをしっかりとしたい。（男性, 10 歳代）
- 電車のない鳩山町において、多くの住民の移動方法は自転車や徒歩などだと思うので、夏季等草むしりを頻繁に行って欲しいです。冬季は日の沈む時間が早まるため、街灯を設置して欲しいです。（女性, 10 歳代）
- 子どもの数を増やす。子育てしやすい環境整備（教育、公園、交通）の充実。（女性, 10 歳代）
- 日々町民が健康で安心して暮らせるようご尽力賜り誠にありがとうございます。現在私は、大学生ですが、私のような若年層はどうしても政治に関心になりがちだと思います。実際、私自身も毎月の広報に軽く目を通す程度です。これからの社会を構築するためにも、私たちのような世代が町の現状や問題を知る必要があると思います。その為、「町がどのような政策を行っているか」「どのような問題や課題があるか」等を、今よりも手軽にそして内容を容易に理解できるように発信していただくと有難いです。また、本アンケートを機に自分自身も政治に関心、無責任であることに気付きました。鳩山町民である以上、今後は政策等に目を向け住民自治に参加していく所存です。アンケートに関してです。問 16-1 や問 25-(1)等の回答を記入しなくてよい項目が入力必須項目に設定されており、空欄にすることができませんでした。そのため、「その他」を選択し「入力必須項目のため」と記入いたしました。新型コロナウイルス感染症をはじめ、多方向においてご多忙かと存じ上げますが今後ともよろしくお願い申し上げます。（男性, 10 歳代）

## ◎20 歳代の記述

- 個人的には電車が通っていないことは非常に不便であると感じる。東京へ仕事で行ったときなど飲み会があると終バスにまず間に合いません。人口が少なくバスの本数を増やす事は難しいのであれば何か他の方法がほしいところです。しかしながら、鉄道がないので事故や死亡をまねく事件も少ないとも思います。私は病院勤務ですが、医療機関も少ないと思われます。(男性, 20 歳代)
- ・公園の設備、子供はもちろん高齢者の方も安心して使えるように遊具やベンチの設備、枝木の伐採を進めてほしい。・情報の発信強化、ホームページでの更新の強化やラインを使った発信で若い人にも情報を発信してほしい。・インフルエンザ予防接種の補助、近隣の市町村にならって子供のワクチン接種に費用助成を検討してほしい。 よろしくお願いします。(男性, 20 歳代)
- 被災した時の補償をもっとしっかりとしてほしいです。対応も早めにしていただかないと困ってしまいます。道路の除草を雑草が伸び切る前にしてほしいです。(車が雑草で見えなくて衝突事故を起こすところだったので。)(男性, 20 歳代)
- 町にある空き家や空きテナントを利用し、商業をしたい人を積極的に呼び込むことで、鳩山町の商業を活性化させると良いと考えています。(女性, 20 歳代)

## ◎30 歳代の記述

- 高齢化社会になる為デマンドタクシー補助金支援があれば良い。(男性, 30 歳代)
- ○町内バス復活し、本数を増やして欲しいです。○デマンドタクシーを利用しているとき、予約するさい、でんわで予約している時、祖母と妻が名前が1字ちがいなんです。が、まちがえて、祖母の家(自宅)にデマンドタクシーがきていたみたいだったので、もし、名前が同じ、もしくは、1字ちがいの場合は、ちゃんと確認を、して欲しいです。じゃないと、タクシーの運転手さんもこまらないし、一緒にのっている方にも迷惑にならないと思うので、いい改善策が必要です。○子供用の小児科が少ない。(町内に...) (女性, 30 歳代)
- 高齢者が多い町だから仕方ないが、高齢者向けばかりの政策や町づくりばかりなので、子育て世代にも目を向けてほしい。公園の遊具の老朽化がひどく、使用禁止が多い。子どもの遊ぶ場所がない。そういう所に、お金を回してほしい。(男性, 30 歳代)
- 交通の便をよくする。障害者支援や子育て支援の充実(男性, 30 歳代)
- 街灯が少なく夜や冬になると歩いている人には危険だと思う。暗い道が多すぎ。歩道にもはみ出すほど木や草が生えていることが多く車道を歩かないといけないことが多く危険。障害者が~高齢者が~子育てが~の前にそういうところをどうにかしていかないとこの街にずっと住み続けたいや新しく住みたいと思う人は増えないと思う。歩道も狭かったり片側にしかないところが多いものもこのご時世どうかなとも思う。住みやすい町だなとは思ったことがない(女性, 30 歳代)
- 高齢化社会に伴い福祉に携わっている人たちへの手当の拡充。近隣の住民との地域交流の場をさらなる提供。相談窓口の拡充など。(男性, 30 歳代)
- ・子育てをしています公園が汚く安心してあそばせてあげられません。錆びついた



遊具等のメンテナンス、屋外トイレの撤去(性犯罪のリスクがあり)お願いしたいです。・ 障害者雇用を積極的に行っている企業の誘致・ 農福でオーガニック野菜をブランド化して商品ルートを作る・ 兵庫県明石市の子育て支援を見本にさせていただきたいです。(男性, 30 歳代)

- 今、鳩山町で何が起きていて何が必要とされているのかを明確にわかるような情報をわかりやすく伝えてくれる何かがあれば、少しは関心ができるかもしれない。(男性, 30 歳代)
- まずアンケート入力する際に回答しなくても良いところも入力しないと次へ進まないところを改善した方が良くと思います。鳩山町に去年引っ越ししてきて入籍をしました。わたしが住んでいるところはスーパーもコンビニも近くにあり買い物等も便利だと思えますが住んでいるのがアパートということもあり地元住民の人との会話もないので地域の事はほとんど情報が入ってこないのが現状です。なので、地域、福祉の事はわかりません。現在はアパート暮らしで特に可もなく不可もなく暮らしていますが鳩山町で新築を建てたり家を買ったりして永住するつもりはありません。近隣の市町村では全住民に商品券を配布したり魅力的な政策がたくさんあります。こんなアンケートで回答を求める前にどんな人が住んでいてどんな意見があるのか直接聞きにきたりした方がいいんじゃないでしょうか?(女性, 30 歳代)
- ・ 福祉行政の内容と少し異なるかもしれませんが、鳩山ニュータウン内の公園の樹木の剪定を適宜行うよう希望します。公園内の木々が鬱蒼と茂っており、防犯上の観点からもよろしくないと思われます。また、立ち枯れの樹木も散見され、通行者への安全も憂慮されます。私の住居の近くには「あかみち公園」と「めいろ公園」があり、「あかみち公園」は先日剪定を行っていただいたおかげで、だいぶ見通しもよくなりましたが、「めいろ公園」とその横の緑地には長らく人の手が入っておらず危険と思われる箇所がたくさんあります。適切な樹木の伐採と下草刈りを検討していただきますようお願いいたします。・ 地域の清掃活動「クリーン鳩山」に対して意見があります。私は毎回清掃活動に参加しており、有意義な活動であると考えています。しかし、この活動の様子を見ていると、住民が近くの公園に集合した後、集合場所の公園の清掃している姿が多くみられ、住宅の周りや道路、歩道の清掃をしている人々の姿があまり見られません。「クリーン鳩山」は元来、住宅の周りは本来の趣旨からずれていると考えます。「クリーン鳩山」に対して適切な広報活動が必要であると思われます。なお、公園は鳩山町の管理下にあるため、町が定期的に公園の清掃活動を行うべきものであると考えます。住民は「クリーン鳩山」において補助的に公園の清掃活動を行えば、公園の清掃にかかる人手も少なくなり、住宅の周りや道路を清掃する住民の姿が多くなると期待されます。・ WEB での回答において回答する必要がない項目が入力必須として表示されましたので便宜上、「その他」も欄に「該当なし(入力必須項目ではない)」と回答いたしました。(男性, 30 歳代)
- 質問が多すぎる。同じような質問ばかり。具体例がない。100 円タクシーがほしいとか、宅配サービスの種類はどのくらいあるとか、生活で必要だなと思うイメージがしばらく。地域自治体で強制的にボランティア活動をしろ、と言いたいということでしょう。

うか？実際、近隣住民で見回りや無償で活動をできるのは 60 代以降の年金生活者がほとんどで、他は福祉関係の職員ばかりだと思います。このアンケートで「入力不要項目」なのに「入力不備エラー」が出るのがとてもストレスを感じました。エラー項目もまとめて出てこないのどこが抜けているのかわからないし、エラー項目だけでまとめてほしいです。(男性, 30 歳代)

- 若い世代が町に来たくなるのが 1 番大事だと思います。高齢化は大きな問題であるが高齢者に活動が集中しすぎだと思います。次の世代に何かを残す、託す活動のほうが大事だと思います。(女性, 30 歳代)

#### ◎40 歳代の記述

- 交通の便が悪い。(バスの本数が少ない、駅まで遠い、車がないと買い物が不便)と思うので特に高齢者は買い物や通院等大変だと思います。オンデマンドタクシー等もありますが限定された場所のみなので町民の要望を聞いていただき出来る範囲で拡充して行けるといいと思います。また、町内で空き家、休農地(荒れ地になっている)が目立ってきていると思うので全国アピール(幸福度ランキング1位)をもっといって若い世代に住んでもらったり農業をわかってもらえる人が来てもらえるといいなと思います。もっともっと鳩山町をアピールし映画の撮影場所に町内を貸したり例えば自転車の大会、ラリーカーの大会、テレビにどんどん町内の適応できる場所を提供して鳩山町の知名度をあげて全国から鳩山町にいろいろな人が移住してくれればいいと思います。もっと鳩山のいいところを全国へアピールしてください。自然豊かですごくいい町です！(女性, 40 歳代)
- 思いやりの心(女性, 40 歳代)
- 特になし。アンケートをもとに住みやすい町になってほしいと思います。(男性, 40 歳代)
- ・隣家の迷惑行為がどんどんひどくなり派出所の方に相談したとき「こうした迷惑行為をする人が結構いる」と仰っていました。役場の方は実態を把握していますか？改善するための手立てはしていますか？・犬を飼う人が増えていますがとにかくマナーが悪いがです。特に酷いのが鳴き声です。ニュータウンは住宅密集地なのでうるさいです。何とかしてください。注意を促す、ビラなり、ポスターなりやれるはずです。・住宅密集地なので隣家のテレビの音がうるさいです。特に窓を開ける時期は最悪です。防音壁すらない、何とかしてください。定期的に注意のチラシを配布する等町として手だてをうってください。・騒音の相談窓口を作ってください。海外ではこうした問題は行政等が間に入って対処しています。当事者任せでは事件に発展しますよ。・高齢化が進み落ち葉の掃除が追い付いていません。落葉樹はしっかり剪定してください。・路上駐車も多いです。特に夕方以降や連休等上記のことも含め本当にマナーが多い町になりました。・我が家の周りはマナーの悪い人や迷惑行為を平然とやる人がいるので、町のためにボランティアに参加したいと思えません。町が愛せないの。問7は「将来は転出」を選びました(男性, 40 歳代)
- お金だけではなく障害者の自立を促進するために活動して生きがいを見つけて生活で

きる世の中にしてほしい(男性, 40 歳代)

- コミュニティセンターのサロン等でなんでも気軽に相談できるようにしてもらって対応策をできる範囲で教えてもらいたい。しかるべき機関をできる範囲で紹介してもらいたい。障害がある人への支援やなるべく税金を使わないで自助、共助を充実させる方向で進めてもらいたい。・効果的な自助、共助の方法があったら教えてもらいたい。(女性, 40 歳代)
- 少子高齢化が著しいので、各世代の良さを生かして助けあい、支えあえるような寛容さが大事なのかと思います。有能な人材も多いと感じる地域なので、それを生かし具現化できる方策を見つけられれば、より良い未来が期待できるのではないのでしょうか。(男性, 40 歳代)
- 困っている家族がいる場合ほど、人に言うことでない、と抱え込むことが多いと思います。ボランティアの方には口を開けない。ラインなどから匿名で相談できたり、それぞれに合った、本当に必要な情報を提供してもらえようになったらありがたいです。(女性, 40 歳代)
- バスの本数を多くしてほしい。道路の街路灯をもっとつけてほしい。まっくらで道がこわい。草刈りをもっと頻繁にしてほしい。ニュータウンはいつも綺麗にしているのに今宿や赤沼は草がボーボーで同じ鳩山なのに不平等。ニュータウン以外ももっと整備してほしい(女性, 40 歳代)
- 福祉サービスは必要だが、一律で対応できることではないと思うので、様々なケースに対応できるような仕組みが必要になると思う。(女性, 40 歳代)
- 農村公園に子どもが遊べる遊具を充実させてほしい。(男性, 40 歳代)

## ◎50 歳代の記述

- 人が人として生きていくために人を育てる。人は何んですか？人が人を育てる。人と思っている人でなしがいる。人でなしをなくす事。人で決まる鳩山の将来！！(男性, 50 歳代)
- 私は生活、身体、精神は問題なく生活できていますがこれから高齢化し老化が進みます。アンケートの回答をしながら知らなかったこと。(知ろうとしなかったこと)が多くあることに気づきました。いざ、福祉サービスを知らない難民となっていることが想像できます。・民生委員さんの名前、活動・包括支援センターの役割と利用の仕方・鳩山町障害者福祉計画・生活困窮者自立支援法とアスポーツ相談支援センター毛呂山出張所についても情報を得て理解していきたいと思います。最後に思い出したこと…石今橋の下(鳩山町側)に長い年月路上生活をされている方がいらっっしゃいます。その方に生活困窮者自立支援制度は対応できているのでしょうか。どの市町村が主体となり対応するのでしょうか。きっとその方は支援法はご存知ないと思います。誰かが教えてさしあげたほうがよいのではないのでしょうか(女性, 50 歳代)
- 鳩山町の特色を出すような工夫がほしい。特産品、名物品、全国区の知名度を持つ産業の創出。鳩山町といえば〇〇〇！・地盤が固いことをもっとアピールして活かすべき・日立の基礎研究所がある・JAXA 地球観測センターがある・地震が来てもゆれにく

い震度が低い⇒鳩山町は安全！とアピール。鳩山ニュータウン等高台にあり、水害が及ばない。空き家を活用するアイデアがほしい。人口を増やしてほしい(若い人が魅力的と思う町づくり)(女性, 50 歳代)

- 車の運転できない人、高齢者が西友に行くのも大変。リビングがなくなったことで薬局屋がない。入西までいかないと湿布も買えない。など買い物難民が増え食べ物も買えず、薬も買えずデマンドタクシーの充実を希望致します(男性, 50 歳代)
- ・町民を増やすことを考えて政治をしてほしい。・日本の若者への支援を早急にしてほしい。・普通に働けばきちっとした収入がもらえるような体制になればいい。(男性, 50 歳代)
- 隣組など昔からの意味のない制度は廃止するべきだと思います。そのほかにも昔からの制度や風習など昔のままやっているものも多く住んでいて面倒臭いことが多いです。買い物、病院、福祉などいろいろな面で老後に不安を感じています。(女性, 50 歳代)
- 生活についての要望を記入できるインターネットの窓口を役場のホームページ等に設置してほしい。あるいは、要望等を記載した封書等を提出できるようポストの設置なども。(男性, 50 歳代)
- 安い運動施設やプール、風呂などの提供ができるようにお願いします(女性, 50 歳代)
- コロナ禍となり、地域の行事などもなくなり、顔を合わせる事もなくなりました。黙食などで会話することが悪いイメージになっています。責極的に人との関わりを持ってなくなってしまいました。そういう中でも、近所の方が畑に立てなくなり、今年は、その方の畑の草刈りをボランティアで何度も行ないました。(燃料代はもちろん自腹です) また、一人暮らしの女性の家の電気がつかなければ気にかけて、暗い中で物音(外)が聞こえたら、近づいて様子を見るなどしています。(暗い中で植木仕事をされていたので大丈夫でした)。身近なところで助け合いの気持ちを持って取り組んでいます。また、災害時の道路の石の片付けや、測溝のゴミ払い、大雪時の歩道の雪かきなど行って来ましたが、無関心な人が多く、残念です。一人一人の意識が変わるように働きかけてほしいです。助け合い支え合えたら素晴らしいですね。(男性, 50 歳代)
- ①公共の交通機関への行きやすい環境。バスの本数が少ないとどうしてもマイカーを使用。高齢者の車の運転で事故が多いのに、免許を返納できない人も多いと思う。②高齢者や障がい者が何かあった時に路上、駐車が多いと救急車やパトカーが通行できない。敷地内に駐車するか、駐車場が無くてもマイカーを持っている人が車を止められるスペースを増やしたほうが良いと思う。③買い物になかなか行けない人のために、コモディイダなどでやっている移動販売の車など他のスーパーでもやれば少しは便利になると思う。④金融機関の移動 ATM。振り込め詐欺の被害者が減ると思うし、便利でいいと思う。⑤役場で情報発信を増やす。⑥アンケート調査を集計だけでなく、結果について検討し、情報を活用する。(女性, 50 歳代)
- 高齢者や障害のある方は、自家用車がないと、移動ができない。公共交通機関は、今後、人口が減少していく中でどこまで続けられるのかとても不安です。公共交通機関がなくなれば、人口減少が更に進み、町の存続ができなくなると思います。(男性, 50 歳代)

- 豊かな緑や自然を謳い文句にしておきながら、太陽光発電などの乱開発や道端のゴミ投棄、緑地の不管理が目立ち残念。綺麗な水と森がある町にできれば、と越してきた15年前からずっと思っている。鳩山町には魅力がない。福祉は大事だが、その充実はこの地域であっても当たり前前で魅力とは別だ。 unnecessaryな施設をいくつも建設しておきながら、大事な地域の福祉や自然への配慮がなく進歩がない。新しい住民をどうやって惹きつけるのか、という答えが住みやすさに繋がると思います。(女性, 50 歳代)
- 住民同士の関係性が希薄である。(挨拶を交わす程度) 地域内に飲食店などがなく、深く知り合える機会がない。(男性, 50 歳代)
- 「住民にばねなければ…」という役所の根強い風潮を払拭。大字単位で、行政のサービス(特に目に付く道路整備、交通関係)の格差是正を切望します(女性, 50 歳代)
- 道路、上下水道、高速通信、電機の自給自足(自然エネルギー推進)などのインフラ環境を充実してほしい(女性, 50 歳代)
- 鉄道など公共交通機関の充実(女性, 50 歳代)

#### ◎60 歳代の記述

- 高齢化社会がますます訪れます。お年寄りの方々、障がいのあるの方々などが住みやすい町づくりにぜひ力を入れていていただきたいと考えます。(男性, 60 歳代)
- 水道料金、基本料金、来年2月迄無料とのこと、大変よい事だと考えます。出来れば、もう少し期間の延長を願いたし。(男性, 60 歳代)
- 福祉も困りごととも生活に追われている人(本当に必要な人)には情報が届きにくく感じています。仕事を休んで収入を無くしてまで、役所に相談に出掛けられる人はまだ幸せな方。自分から行動を起こさないと何も手にする事が出来ない。どこまで大変になったら相談対象になるのか、その判断も難しいところです。気軽に話せるところが欲しいです。支離滅裂な文章になってしまいましたが、良いまちづくりをお願いします。(女性, 60 歳代)
- ・高齢者で車を手放し、免許返納した時、親族(町民外)に手伝い(病院つきそい、買物本人同伴)に来てもらった時、デマントが親族も使えるとありがたいと思う。※デマントは住民サービスと熟知していますが)親族は利用料金増額。・医療施設の充実→耳鼻科、外科、皮膚科、眼科※麻見江病院では外来日程が少ないのでは。・このような個人を特定しないアンケート調査は、意見、要望など発言の場がなり町民にとっては「よりよい鳩山町」の町制作りに参加できて良かったと思いました。色々知識を得ました。(女性, 60 歳代)
- 無駄なアンケート調査 御苦勞様です。誰が回答したかわかるような調査、一見無記名ですが、誰かわかるアンケート。ナンセンス。感じたまま記入しましたが、本当は、回答したくなかった。現況や判断基準が示されていない。私の生活信条は、原理原則、一番大切なのは、家族、居食住の確保。世の中、悪くなっていくばかり、経済状況は悪化の道をたどるのは、およそ見当がつく。この先、自分の生活を守るのが精一杯。そんな中での福祉推進プランのアンケート。福祉切り捨てのためのアンケートなのでし

ようか。はなはだ疑問です。金をかけないプラン反対です。おおいに予算を投資し、老若男女を問わず、かつての目標、「ゆりかごから墓場まで」を計画して欲しい。町営墓地 0.K 法令用語の多さが、目立ってわからないものが多い。福祉サービス？ etc・・・ 私がアンケート調査の対象に選ばれたのは民生委員がかかわっているのですか。無作為の作為を感じる。走り書き御免！（男性, 60 歳代）

- 人との交流(男性, 60 歳代)
- ボランティア活動も大切ですが特に近所、かお(顔見知り)見知りだと親切とおせっかいのはざまで悩みます その道のプロの方が、お仕事として手だすけした方が受ける方も気が楽だと思います。ボランティアの気持ちだけでは知識、体力的に無理なことが多いと思います。(女性, 60 歳代)
- 町の活性化を通して地域全体の活力を付ける。①住みやすさ。道路整備(入西への道路の拡幅)②支援。子育て支援充実③開発。企業工場誘致(女性, 60 歳代)
- 鳩山町は他に比べれば、福祉に関してしっかりされていると感じました。もちろん障害者、高齢者の住みやすい町づくりも大切ですが、もっと若い方が子育てしやすい明るい町になってほしいと思っています。鳩山で育った方が鳩山でまた暮らしたいと思えるような町になってほしいと願います。(男性, 60 歳代)
- 新型コロナの流行によって生活が変化したと感じているコミュニケーション能力が低いため人とうまく接することが下手である私がどういう形での参加ができるか少し勉強してみたいと考えています(男性, 60 歳代)
- コンパクトな町であるが故の「強み」を町等々と社協で今一度洗い出し、共有した情報を具体的施策として実施してほしい。限られた予算の中ではあるが住民の心に安らぎを与える一筋の光を思い出したい。公共交通機関の自動運転や AI の活用などの先端技術とこれまでのアナログの良さを結びはけるアイデアあふれる町づくりを期待したい(女性, 60 歳代)
- ごく自然に普通のこととして隣人、近所の方々とあいさつし、困ったときや災害時に助け合うことができる「大人」であること。そういう「大人」の姿を子どもたちに見せてゆくことが大切と思う(女性, 60 歳代)
- 災害があってから改善するのではなく災害のない町のために町、県が積極的に行動してほしい(男性, 60 歳代)
- 問 42、45 は何故設問の途中で改ページするのですか？特に問 45 は回答選択の途中で改ページされていて常識的にあり得ません(女性, 60 歳代)
- 予算のない町でどのようにお金を使うか、予算配分を見極め使うところは使う、省くところは省く。援助する人を間違えない。本当に困っている人を見極める。かまわずばらまいても助けたことにはならない。(男性, 60 歳代)
- お互い助け合いは必要なことだと思います。何か出来ることがあればボランティア活動をしたいと思っています。地域の方々と助け合いをするにも人間関係が良好でなければ出来ることではないと思います。気持ちよく笑顔でご挨拶が出来ることは大切だと思います。(男性, 60 歳代)
- 高齢者や障がい者が社会保険完備で働ける場所を提供してほしいです。それが税収に

も結びつくと思います。求人雑誌で「シニア応援」と書かれていても連絡すると60歳までだったりします。ハローワークは遠いので頻繁に通うのは困難です。役場やコミュニティセンターに掲示板でアルバイト、パートを含め求人や役に立つ情報を提供してほしいです。自殺者が増えないように生きがい、健康、栄養、運動につながる講習会の開催をコロナが落ち着いたらしてほしいです。(女性, 60歳代)

- 障害者に接するには、知識が必要だと思います。近所にはいません。高齢の一人暮らしの方には、顔みしりの方なら手助け出来ると思います。(男性, 60歳代)
- 養豚の臭いがすごい改善してほしい。(女性, 60歳代)
- 地域福祉の担い手として民生委員児童委員さんが、困っていそうな家庭があっても、デリケートな人柄なので声掛けや介入が難しいと思う。また、困っている本人や家庭も「困っています」と手をあげづらいと思う。調査内容とは関係ありませんが、アンケートの問の分岐が間違っていないですか？私は、16, 22, 25, 28, 33, 49 で不具合が発生。(女性, 60歳代)

#### ◎70歳代の記述

- 今のところ誰の手もわずらわせないで日々暮らしてはいますが、この先10年、20年先の人生で避けては通れない問題となります。勉強していきたくと思います。(女性, 70歳代)
- デマンドタクシーの件。近々利用させていただきますが利用範囲を広げる事を要望させていただきます。陸の田島鳩山として、深刻で大変重要な事と思います。税金 高かすぎます。人数が少ない町として、助け合わなければならない状況は承知しておりますがそれにしても高すぎます。(女性, 70歳代)
- 若い人達の居住。人口増加(女性, 70歳代)
- 避難行動要支援者支援制度など町の本気度が疑わしい。(男性, 70歳代)
- 鳩山町社会福祉協議会の組織表人員収支をオープンにすべき。(男性, 70歳代)
- リーダー格の人は自己主張が強く動きづらい(女性, 70歳代)
- 鳩山交番は留守が多すぎます(男性, 70歳代)
- 鳩山町も高齢化が進んでいるのでボランティア活動等行いたい気持ちはあっても体がついてゆけず、まずは自分の健康は自分で守ることが大切だと思っています。近所を見ても高齢のお宅が多くお互いに声掛けあって毎日が元気かどうかの安否確認等をしています。若い方に頼るばかりではなく自立した老後でありたいと思っています。(女性, 70歳代)
- 福祉障害に対する調査の気持ちは重々理解できますが、設問項目が多すぎると本来の集計結果に正確さが薄れてしまう気がいたします。(女性, 70歳代)

#### ◎80歳以上の記述

- 町の行政は30代から40代に任せと年寿はリタイア。町長、職員は30代から40代にする。町議員を三分の一に若者が町議員として生活できる収入にする。(行政に専念できること)若者の若者にする活気あふれる町づくり(女性, 80歳代以上)

資料 調査票



---

**重層的支援体制整備事業のための福祉事業等意向調査  
及び第3次鳩山町地域福祉推進プラン策定のための  
アンケート調査 調査結果報告書**

令和5年2月

鳩山町 長寿福祉課

〒350-0392 埼玉県比企郡鳩山町大字大豆戸 184 番地 16  
電話:049-296-1241 FAX:049-296-3390

社会福祉法人 鳩山町社会福祉協議会

〒350-0324 埼玉県比企郡鳩山町大字大豆戸 183 番地 5  
電話:049-296-5296 FAX:049-296-3866

---